

平成 30 年度

市政に関する意識調査

平成 30 年度

福岡市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査の性格	1
4. 標本の構成	2
5. 調査結果利用上の注意	6
6. 適合度の検定	7
II. 調査結果	9
1. 「住みやすさ」に関する調査結果の総括	9
2. 「住みやすさ」に関する調査結果	19
（1）福岡市が好きかどうか	19
（2）総合的な福岡市の住みやすさ	22
（3）福岡市にずっと住み続けたいと思うか	25
（4）福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか	28
（5）福岡市の都市環境等に関する満足度	30
3. 「福岡市の屋台」に関する調査結果の総括	39
4. 「福岡市の屋台」に関する調査結果	46
（1）屋台のイメージ	46
（2）屋台に行ったことがあるか	49
（3）最後に屋台に行った時期	51
（4）屋台の利用頻度	53
（5）屋台を利用したとき	55
（6）屋台で支払う金額	57
（7）屋台に行かなかった理由	59
（8）観光客等に屋台を勧めたいと思うか	61
（9）屋台の良い面	64
（10）屋台の問題点	68
（11）「福岡市屋台基本条例」の認知度	72
（12）「福岡市屋台基本条例」施行後の変化	75
（13）条例施行後の営業状況の変化	78
（14）屋台公募の認知度	79
（15）公募屋台に行ったことがあるか	81
（16）公募屋台の営業開始以降における屋台の利用状況	83
（17）公募屋台の営業開始以降における屋台全体の変化	85

（18）公募屋台の営業開始以降における営業状況の変化	86
（19）公募屋台の営業開始以降における客層の変化	87
（20）屋台に期待すること	88
（21）屋台の将来像達成のため、重要と思う屋台営業者の取り組み	90
（22）屋台営業者に地域への貢献として期待すること	93
（23）屋台の将来像達成のため、重要と思う利用者の取り組み	95
（24）屋台の将来像実現のため、重要と思う市（行政）の取り組み	97
5. 「男女共同参画社会」に関する調査結果の総括	100
6. 「男女共同参画社会」に関する調査結果	109
（1）さまざまな分野における男女の地位の平等感	109
（2）「女性が職業を持つ」ことに対する考え	119
（3）現在、職業を持っているか	123
（4）現在の職場における男女差別	124
（5）生活の中で優先したいもの	127
（6）現実の生活の中で優先しているもの	130
（7）男性が育児休業や子の看護休暇を取得することについて	134
（8）男性が育児休業や子の看護休暇を現実的には取りづらいと思う理由	137
（9）男性が介護休業を取得することについて	139
（10）男性が介護休業を現実的には取りづらいと思う理由	142
（11）男性が女性とともに家事や子育てなどを担っていくために必要なこと	144
（12）現在の配偶関係	146
（13）配偶者（パートナー）がいる家庭の役割分担について	147
（14）「男は仕事、女は家庭を守るべきである」という考え方について	155
（15）子どものしつけや教育について	158
（16）恋人、配偶者、パートナーから暴力を受けた経験	162
（17）暴力を受けて、どう行動したいと思ったか	168
（18）暴力を受けて、実際はどう行動したか	170
（19）恋人、配偶者、パートナーからの暴力について知っている相談窓口	172
（20）セクシュアル・ハラスメントを受けたり、見聞きした経験	174
（21）地域諸団体の活動への参加経験	176
（22）地域活動において女性のリーダーが少ない理由	177
（23）災害時に必要な男女共同参画の視点による対策・対応	180
（24）男女共同参画に関する言葉や施策の認知度	182
（25）男女が社会のあらゆる分野で平等になるために重要なこと	184
（26）「男女共同参画社会」実現のために、市が力を入れていくべきこと	187
Ⅲ. 調査票	189

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の市政についての意見や評価を、科学的、統計的に把握し、今後の市政を推進する上での基礎資料にするもの。

2. 調査項目

- (1) 福岡市の住みやすさについて
- (2) 福岡市の屋台について
- (3) 男女共同参画社会について

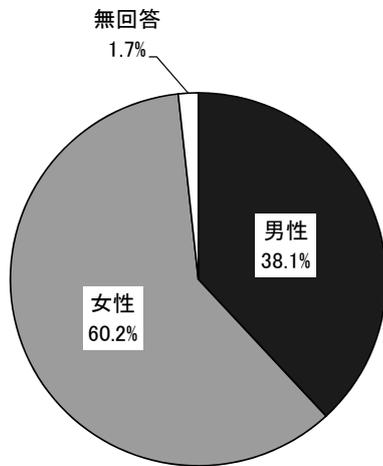
3. 調査の性格

- (1) 調査地域 福岡市全域
- (2) 調査対象者 福岡市内に居住する満 18 歳以上の男女
- (3) 調査対象者数 4,500 サンプル（回収 2,301 サンプル，回収率 51.1%）
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査期間 平成 30 年 6 月 15 日～6 月 30 日
- (7) 調査主体 福岡市 市長室広聴課
- (8) 調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所
- (9) 調査結果分析 総括執筆・各論監修
 - 調査項目(1) 九州産業大学 地域共創学部 地域づくり学科
准教授 山下 永子
 - 調査項目(2) 九州大学大学院 人間環境学研究院 共生社会学講座
教授 高野 和良
 - 調査項目(3) NPO 法人 福岡ジェンダー研究所
理事 倉富 史枝

4. 標本の構成

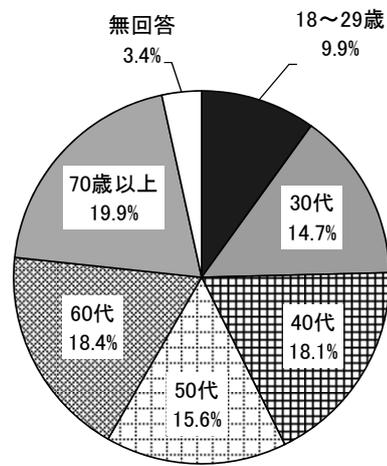
(1) 標本の全体構成

<性別>



全体(N=2,301)

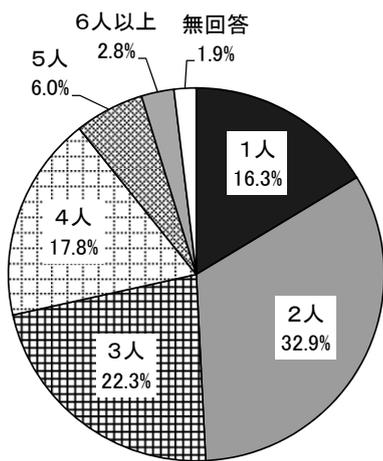
<年代別>



全体(N=2,301)

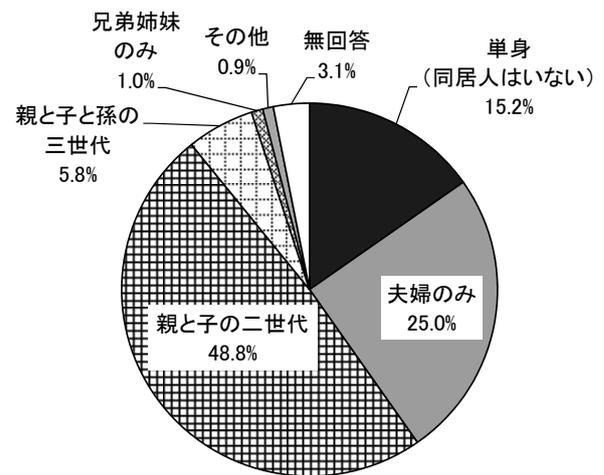
※平均
53.1歳

<家族数別(同居)>



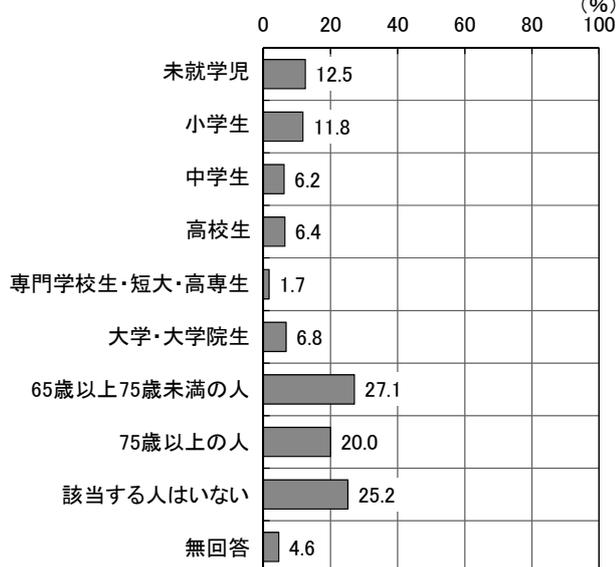
全体(N=2,301)

<家族構成別>



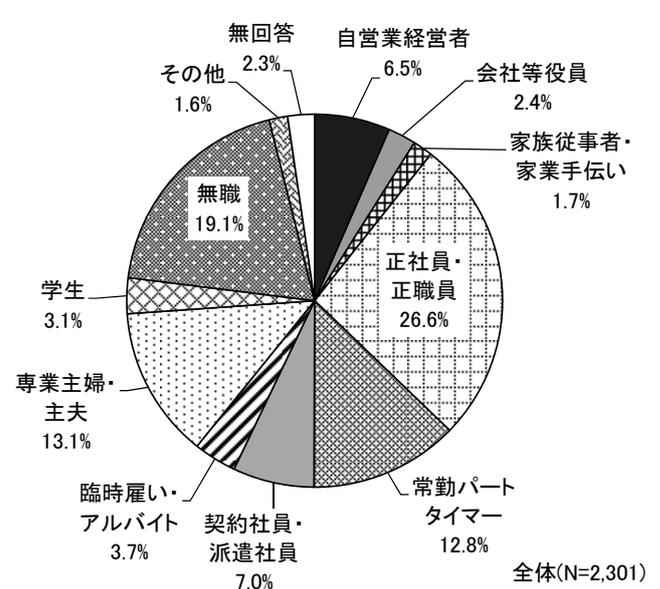
全体(N=2,301)

<同居している家族(複数回答)>



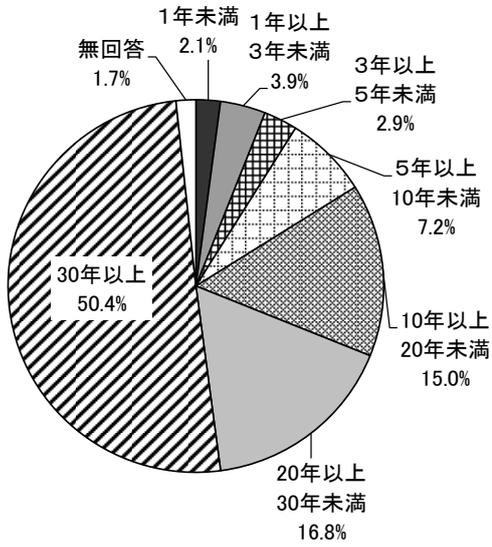
全体(N=2,301)

<職業別>



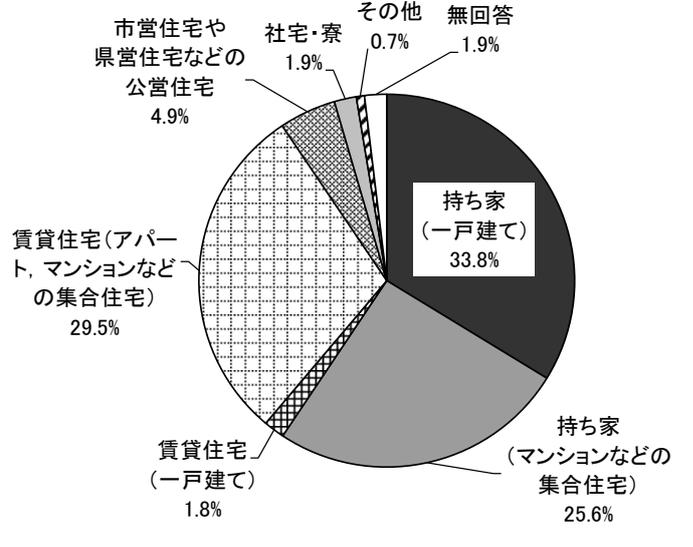
全体(N=2,301)

<居住年数別>



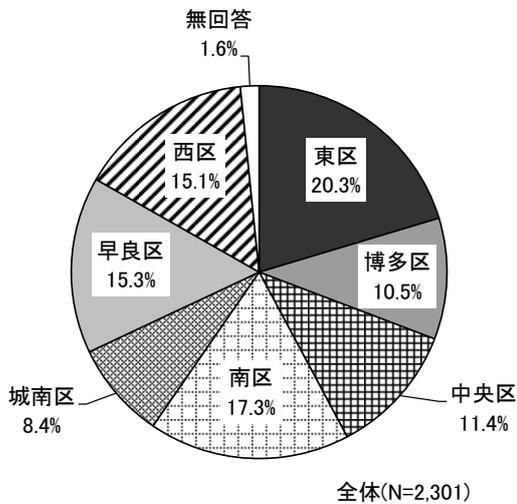
全体(N=2,301)

<住居形態別>



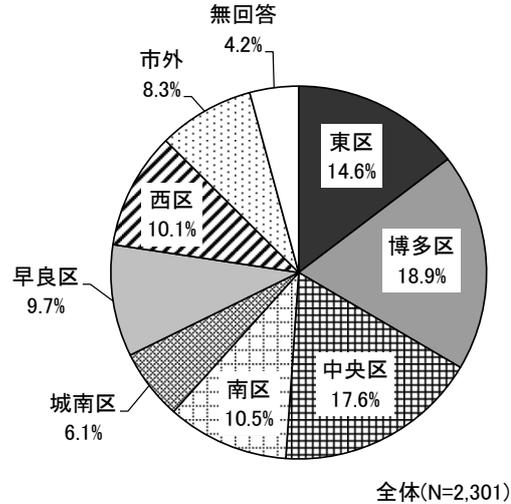
全体(N=2,301)

<行政区別>



全体(N=2,301)

<日中主に活動(勤務先等)している地域>



全体(N=2,301)

<行政区別にみた日中の主な活動地域>

	全 体	日中の主な活動地域別								
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	市 外	無 回 答
全 体 ()は実数を示す	100.0 (2,301)	14.6 (336)	18.9 (435)	17.6 (405)	10.5 (241)	6.1 (141)	9.7 (223)	10.1 (233)	8.3 (191)	4.2 (96)
行 政 区 別										
東区	20.3	63.0	13.7	6.8	0.9	0.2	0.9	0.2	12.6	1.7
博多区	10.5	3.7	72.3	7.9	0.8	0.4	0.4	-	11.6	2.9
中央区	11.4	3.0	14.4	67.3	1.1	1.9	2.7	1.9	4.2	3.4
南区	17.3	1.5	15.6	10.3	54.4	3.0	1.3	1.0	9.6	3.3
城南区	8.4	4.1	9.8	21.1	3.1	49.0	5.7	1.0	2.6	3.6
早良区	15.3	1.7	8.8	15.1	2.0	5.4	52.0	6.0	7.1	2.0
西区	15.1	1.1	13.2	12.1	0.9	2.3	3.4	57.5	7.2	2.3
無回答	1.6	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

(2) 属性別にみた行政区の標本構成

単位：%

	全 体	行政区別							
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	無 回 答
全 体 ()は実数を示す	100.0 (2,301)	20.3 (468)	10.5 (242)	11.4 (263)	17.3 (397)	8.4 (194)	15.3 (352)	15.1 (348)	1.6 (37)
性別									
男性	38.1	21.9	11.1	10.3	16.8	8.0	14.4	17.6	0.1
女性	60.2	19.8	10.5	12.5	18.0	8.9	16.3	14.0	-
無回答	1.7	2.6	-	-	-	2.6	-	-	94.7
年代別									
18～29歳	9.9	19.8	9.7	14.5	17.2	4.4	18.1	16.3	-
30代	14.7	20.4	10.6	9.4	17.7	8.8	13.9	19.2	-
40代	18.1	21.6	11.5	13.2	15.1	8.4	15.8	14.4	-
50代	15.6	21.8	10.9	11.7	18.4	9.8	15.4	12.0	-
60代	18.4	19.1	10.4	10.4	18.0	10.4	16.3	15.4	-
70歳以上	19.9	20.5	11.1	11.8	18.6	8.1	14.2	15.7	-
無回答	3.4	13.9	2.5	3.8	10.1	3.8	11.4	7.6	46.8
家族数別									
1人	16.3	18.4	15.2	22.7	14.7	4.8	12.5	11.7	-
2人	32.9	20.3	10.6	11.5	17.2	10.3	14.6	15.6	-
3人	22.3	22.6	9.7	10.5	18.9	7.2	15.6	15.6	-
4人	17.8	22.7	8.3	6.8	16.4	10.0	18.8	16.9	-
5人	6.0	17.4	8.7	4.3	21.7	11.6	16.7	19.6	-
6人以上	2.8	18.8	10.9	3.1	26.6	6.3	18.8	15.6	-
無回答	1.9	-	4.7	2.3	2.3	-	4.7	-	86.0
家族構成別									
単身(同居人はいない)	15.2	18.0	15.7	22.6	14.9	4.9	12.0	12.0	-
夫婦のみ	25.0	21.4	10.2	12.3	17.2	9.2	14.2	15.5	-
親と子の二世帯	48.8	21.5	9.3	8.4	18.1	9.3	16.8	16.6	-
親と子と孫の三世帯	5.8	20.1	9.7	6.0	21.6	9.0	20.1	13.4	-
兄弟姉妹のみ	1.0	16.7	4.2	12.5	25.0	16.7	-	25.0	-
その他	0.9	9.5	19.0	4.8	14.3	14.3	23.8	14.3	-
無回答	3.1	9.7	8.3	9.7	5.6	1.4	9.7	4.2	51.4
同居家族別									
未就学児	12.5	22.6	7.6	8.0	17.7	6.9	18.8	18.4	-
小学生	11.8	22.1	7.0	8.1	15.4	9.6	19.9	18.0	-
中学生	6.2	22.4	11.9	7.7	16.8	7.7	21.0	12.6	-
高校生	6.4	18.9	9.5	10.8	18.9	8.8	13.5	19.6	-
専門学校生・短大・高専生	1.7	15.0	10.0	5.0	20.0	12.5	10.0	27.5	-
大学・大学院生	6.8	23.1	4.5	9.6	21.8	8.3	18.6	14.1	-
65歳以上75歳未満の人	27.1	18.8	12.2	10.3	17.0	10.9	14.6	16.3	-
75歳以上の人	20.0	22.8	7.6	11.1	18.4	10.2	15.6	14.3	-
該当する人はいない	25.2	18.6	12.7	14.5	18.9	7.1	14.1	14.1	-
無回答	4.6	9.4	12.3	13.2	8.5	3.8	8.5	9.4	34.9

※「同居家族別」は複数回答のため、合計値が100%を超える。

単位：％

	全 体	行政 区 別								
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	無 回 答	
全 体 ()は実数を示す	100.0 (2,301)	20.3 (468)	10.5 (242)	11.4 (263)	17.3 (397)	8.4 (194)	15.3 (352)	15.1 (348)	1.6 (37)	
職業別	自営業経営者	6.5	19.5	15.4	13.4	16.1	7.4	12.1	16.1	-
	会社等役員	2.4	9.1	7.3	14.5	27.3	9.1	12.7	20.0	-
	家族従事者・家業手伝い	1.7	22.5	10.0	12.5	27.5	7.5	7.5	12.5	-
	正社員・正職員	26.6	21.7	10.4	12.1	18.8	7.7	13.7	15.7	-
	常勤パートタイマー	12.8	22.4	12.5	8.5	12.9	9.2	20.0	14.6	-
	契約社員・派遣社員	7.0	19.9	11.8	11.8	14.3	7.5	16.1	18.6	-
	臨時雇い・アルバイト	3.7	22.6	13.1	8.3	10.7	10.7	17.9	16.7	-
	専業主婦・主夫	13.1	17.5	9.3	10.9	21.2	10.3	17.9	12.9	-
	学生	3.1	22.2	2.8	6.9	18.1	8.3	26.4	15.3	-
	無職	19.1	21.6	10.5	12.8	16.6	8.7	13.9	15.9	-
	その他	1.6	24.3	2.7	18.9	21.6	10.8	13.5	8.1	-
無回答	2.3	3.7	5.6	7.4	7.4	1.9	1.9	3.7	68.5	
居住年数別	1年未満	2.1	31.3	8.3	14.6	16.7	2.1	8.3	18.8	-
	1年以上3年未満	3.9	16.7	13.3	22.2	13.3	5.6	16.7	12.2	-
	3年以上5年未満	2.9	24.2	10.6	13.6	13.6	3.0	13.6	21.2	-
	5年以上10年未満	7.2	21.1	10.8	14.5	18.1	7.2	14.5	13.9	-
	10年以上20年未満	15.0	21.2	10.7	12.5	17.7	7.0	15.4	15.7	-
	20年以上30年未満	16.8	20.2	9.8	12.4	17.3	9.3	14.7	16.3	-
	30年以上	50.4	20.3	10.9	9.6	18.0	9.8	16.4	15.0	-
	無回答	1.7	2.5	-	2.5	2.5	-	-	-	92.5
住居形態別	持ち家(一戸建て)	33.8	22.1	7.2	3.3	19.7	11.6	17.6	18.4	-
	持ち家(集合住宅)	25.6	19.5	9.3	18.8	16.3	7.1	13.9	15.1	-
	賃貸住宅(一戸建て)	1.8	17.1	17.1	7.3	22.0	14.6	9.8	12.2	-
	賃貸住宅(集合住宅)	29.5	17.8	15.0	15.0	17.1	6.2	15.2	13.6	-
	公営住宅	4.9	33.9	15.2	8.9	10.7	5.4	13.4	12.5	-
	社宅・寮	1.9	25.6	9.3	16.3	18.6	7.0	18.6	4.7	-
	その他	0.7	17.6	5.9	17.6	17.6	11.8	17.6	11.8	-
	無回答	1.9	2.3	-	2.3	-	7.0	-	2.3	86.0
日中の活動地域別	東区	14.6	87.8	2.7	2.4	1.8	2.4	1.8	1.2	-
	博多区	18.9	14.7	40.2	8.7	14.3	4.4	7.1	10.6	-
	中央区	17.6	7.9	4.7	43.7	10.1	10.1	13.1	10.4	-
	南区	10.5	1.7	0.8	1.2	89.6	2.5	2.9	1.2	-
	城南区	6.1	0.7	0.7	3.5	8.5	67.4	13.5	5.7	-
	早良区	9.7	1.8	0.4	3.1	2.2	4.9	82.1	5.4	-
	西区	10.1	0.4	-	2.1	1.7	0.9	9.0	85.8	-
	市外	8.3	30.9	14.7	5.8	19.9	2.6	13.1	13.1	-
	無回答	4.2	8.3	7.3	9.4	13.5	7.3	7.3	8.3	38.5

5. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を 100%としている。なお、回答率は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 複数の回答を選べる（複数選択）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す N, n は、回答率算出上の基数（標本数）である。
N = 標本全数
n = 該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2 つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 2 つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の割合を合計している。
- (7) 属性別の分析等において、基数（標本数）が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。
- (8) 各属性別の集計結果の最高値には網掛けを行っている。

6. 適合度の検定

本調査の標本は無作為抽出法により抽出されているため、調査結果は調査対象集団（母集団）の縮図になっているはずである。しかしながら、調査の過程で標本の一部には回答を得られなかったものもあり、場合によっては調査対象集団（母集団）の縮図にならないこともあり得る。そこで、得られた対象集団が調査対象集団（母集団）の縮図とみなすことができるかどうかの検討（適合度の検定）を行うため、行政区別、性別、年代別について χ^2 （カイ2乗）検定を行った。

カイ2乗検定では、以下に示す数式で求めた値と、表の自由度(F)と許せる危険率(有意水準と呼ぶこともある)に対応する χ^2 の値を比較し、統計学的な有意性があるかどうかを判定する。

$$\chi^2_{\alpha}(\text{理論と実際の食い違いの測定}) = \frac{(\text{期待値} - \text{実現値})^2}{\text{期待値}} \text{の総和}$$

■ χ^2 の分布表（一部）

P \ F	.99	.98	.95	.90	.80	.50	.20	.10	.05	.02	.01
1	0.000157	0.000628	0.00393	0.0158	0.0642	0.455	1.642	2.706	3.841	5.412	6.635
2	0.0201	0.0404	0.103	0.211	0.446	1.386	3.219	4.605	5.991	7.824	9.210
3	0.115	0.185	0.352	0.584	1.005	2.366	4.642	6.251	7.815	9.837	11.345
4	0.297	0.429	0.711	1.064	1.649	3.357	5.989	7.779	9.488	11.668	13.277
5	0.554	0.752	1.145	1.610	2.343	4.351	7.289	9.236	11.070	13.388	15.086
6	0.872	1.134	1.635	2.204	3.070	5.348	8.558	10.645	12.592	15.033	16.812
7	1.239	1.564	2.167	2.833	3.822	6.346	9.803	12.017	14.067	16.622	18.475
8	1.646	2.032	2.733	3.490	4.594	7.344	11.030	13.362	15.507	18.168	20.090
9	2.088	2.532	3.325	4.168	5.380	8.343	12.242	14.684	16.919	19.679	21.666
10	2.558	3.059	3.940	4.865	6.179	9.342	13.442	15.987	18.307	21.161	23.209

(以下省略)

※P=危険率

F=自由度(カテゴリ数-1)

世論調査では危険率を1%(0.01)、あるいは5%(0.05)とするのが一般的であるが、ここでは危険率を1%に設定し、計算された χ^2_{α} の値がP:0.01に対応する χ^2 の値以下になれば、統計的にみて「危険率1%で有意差がない」とする。

■標本の期待値，実現値

		実現値(回答数)		期待値	住民基本台帳人口 (平成30年7月末日現在)		χ^2_0
		実数	比率		実数	比率	
行政区別	東区	468	20.7	448	255,387	19.8	0.893
	博多区	242	10.7	351	199,597	15.5	33.849
	中央区	263	11.6	285	162,660	12.6	1.698
	南区	397	17.5	383	217,790	16.9	0.512
	城南区	194	8.6	183	104,179	8.1	0.661
	早良区	352	15.5	312	177,790	13.8	5.128
	西区	348	15.4	299	169,627	13.2	8.030
	計	2,264	100.0	2,261	1,287,030	100.0	50.771
性別	男性	877	38.8	1,057	600,634	46.7	30.653
	女性	1,386	61.2	1,206	686,396	53.3	26.866
	計	2,263	100.0	2,263	1,287,030	100.0	57.519
年代別	18～29歳	227	10.2	391	226,273	17.6	68.788
	30代	339	15.3	384	222,654	17.3	5.273
	40代	417	18.8	420	242,645	18.9	0.021
	50代	358	16.1	320	184,869	14.4	4.513
	60代	423	19.0	311	180,224	14.0	40.334
	70歳以上	458	20.6	398	230,365	17.9	9.045
	計	2,222	100.0	2,224	1,287,030	100.0	127.974

検定の結果，行政区別（ $F = 6$ ）の場合， χ^2_0 値は 50.771 で， $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=16.812)$ となり，母集団と本調査の標本は行政区別の構成比と差があると判断される。これは期待値に比べ特に博多区の回答者が少ないためである。また，性別（ $F = 1$ ）の χ^2_0 の値は，57.519 であることから， $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=6.635)$ となり，母集団と本調査の標本は性別の構成比と差があると判断される。これは期待値に比べて男性の回答者が少なく，逆に女性の回答者が多いためである。また，年代別（ $F = 5$ ）においても χ^2_0 の値が 127.974 で $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=15.086)$ となり，母集団と本調査の標本は年代別の構成比と差があると判断される。これは期待値に比べて 18～29 歳を中心に若い年代層のサンプルが少なく，50 代以上のサンプルが多いためである。

以上の検定の結果から，本調査における標本の特性は行政区別，性別，年代別の構成比について調査対象母集団の構成比と差があることになる。今回の調査結果については，この検定内容を踏まえた上での考察であることをあらかじめ注意する必要がある。

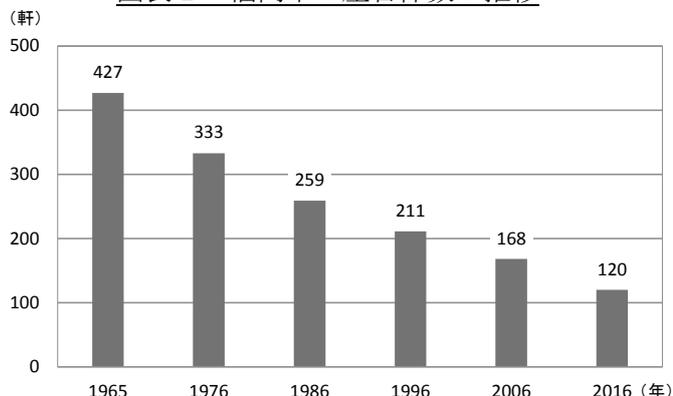
3. 「福岡市の屋台」に関する調査結果の総括

福岡市内の屋台は、およそ 50 年前の 1965 年には 427 軒であったが、2016 年には 120 軒となり、大幅に減少している。このため、福岡市民にとって屋台を見かける機会は減りつつあるといえよう。一方で、国内外からの観光客にとって、福岡市の魅力を語る上で屋台は欠かせない存在にもなっている。

福岡市は「福岡市屋台基本条例」（平成 25 年 9 月 1 日施行）（以下、屋台条例という）に基づいて、さまざまな取り組みを実施してきた。

こうした中で、福岡市民にとって屋台はどのような存在として受け取られているのであろうか。まず、利用実態、イメージなどに関する調査結果から確認したい。

図表 1 福岡市の屋台件数の推移



(1) 屋台の利用経験とイメージ（問6，問7）

そもそも、福岡市民は屋台に行ったことがあるのだろうか。今回の調査では回答者の 7 割強（71.4%）が屋台の利用経験（問 7）を持っていた（以下、利用経験層という）。また、前回平成 26 年度に行った市政に関する意識調査（以下、平成 26 年度調査という）の数値（73.1%）と大きな変化はなく、利用経験層は決して少なくないことがわかる。また先に述べたように、屋台軒数が減少傾向にある中で、屋台利用経験層の割合は維持されているといえるかもしれない。

この利用経験層を、性・年齢階層別でみると、女性（66.7%）よりも男性（79.4%）の方が利用経験を持つ人の割合が大きく、40～60 代の男性では実に 9 割に迫る利用経験を持っている。一方で、性別に関わりなく 18～29 歳では、屋台に行ったことのない人の割合が 4 割を超えており、屋台の利用経験は年齢階層によって異なっている。

次に屋台に対するイメージ（問 6）をみると、「肯定イメージ派」（＝「良いイメージ」＋「どちらかといえば良いイメージ」）が 5 割を超えた（53.7%）。一方で、「否定イメージ派」（＝「悪いイメージ」＋「どちらかといえば悪いイメージ」）は 2 割（20.5%）であった。この割合は、平成 26 年度調査とほぼ変化はなかった（平成 26 年度調査では肯定イメージ派は 50.5%，否定イメージ派は 24.1%）。

屋台に対して明確に良いイメージを持つ年齢階層は、男女を問わず 18～29 歳である。30 代でやや落ち込むものの、男性では 40 代・50 代、女性では 40 代は比較的良いイメージを持つ人の割合が高くなっている。また、年齢の上昇とともに「良いイメージ」を持つ人の割合は減少していく。

また利用経験層の方が、肯定イメージ派の割合がかなり高くなっていることは興味深い（利用経験層 60.8%，未経験層 36.0%）。これは、利用した結果下された判断が肯定的であったことを意味しており、利用することが屋台のイメージを固めること、そして肯定的に捉えることにつな

がることをうかがわせるものである。加えて、最後に屋台に行った時期を『1年以内』と『1年以上前』に分けて肯定イメージ派の割合をみると、1年以内に行った人では7割を超え(75.6%)、1年以上前(57.4%)と比較してかなり高い割合となった。また、明確に「良いイメージ」を持つ人の割合が、1年以内に行った人で3割に迫る(28.5%)ことも注目される。後述するように、平成25年に屋台条例が施行され、また平成29年度からは公募屋台の営業も始まった。1年以内という時期は、屋台条例による改善が進み、公募屋台の営業開始以降と重なる時期でもある。こうした新たな動きが、屋台のイメージを変えつつあるといえるのかもしれない。

(2) 屋台の利用実態(問7-1～問7-5)

次に、屋台の実際の利用実態を確認する(問7-1)。利用経験層は7割を超えていたが、実際に利用した時期は、5年以上前が半数を占めていた(53.2%)。次いで、「1～5年前」(27.0%)となり、『1年以内』に利用した人は2割弱(19.0%)にとどまっている。

また、利用頻度(問7-2)をみても、最も多くの支持を集めたのは「年に数回も行かないが、今までに行ったことがある」人であり、8割を超えている(84.8%、平成26年度調査81.3%)。次いで「年に数回程度行く」(10.5%、同14.8%)となり、月に数回以上利用する人(「1カ月に平均4回以上行く」(0.3%)、「1カ月に平均1～3回行く」(0.9%))の割合は、合わせて1.2%(同1.6%)にすぎなかった。年に数回程度行く人を加えても、屋台を利用する人は1割程度(11.7%)である。

さらに、利用頻度を平成26年度調査と比較しても、「年に数回も行かないが、今まで行ったことがある」人の割合は微増している。

これらのことから福岡市民と屋台との距離は依然として縮まってはいないといえよう。つまり、多くの福岡市民にとって屋台とは、行ったことがないわけではないが、日常的に行く場所とはなっていないのである。

こうした中で、比較的屋台を利用しているのはどのような人々であろうか。性・年齢階層別でみると『年に数回以上行く』人の割合は、女性(7.5%)よりも男性(17.4%)が多い。また、男性の30代・40代で他の性・年齢階層よりも多かった。

また、屋台を利用する機会(問7-3)は、全体としてみると「飲み会の後などの2次会・3次会」(35.4%)が最も多く、次いで「上司や友人などに誘われたとき」(30.3%)、「他都市から訪れた人を案内するとき」(20.8%)、「夕食や晩酌のとき」(15.3%)、「良さそうな屋台の情報を知ったとき」(9.7%)であった。性別では、男性の方が女性よりも「飲み会の後などの2次会・3次会」利用の割合がかなり高くなっている(男性44.4%、女性28.5%)。一方で、性・年齢階層別でみると女性の18～29歳という若い世代で、「夕食や晩酌のとき」に屋台を利用する人の割合が高い(34.4%)ことは興味深い。後述するように、公募屋台の営業開始後の変化として、女性客が増えた印象を持つ人が7割近く認められることから、この世代の女性が他の世代と比べて、屋台との普段からの接点を持ちつつあるのかもしれない。

さらに、屋台に行ったことのない人(全体の27.6%)に対して、屋台に行かなかった理由(問7-5)を確認したところ、多くの支持を集めたのは、「特に理由はない(結果的に行かなかった)」(38.3%)と「行きたいが機会がなかった」(35.3%)であった。一方、明確に行かないという意

思を持つ人（「行きたくなかったから」）は、1割強（12.1%）にとどまった。性・年齢階層別にみると、女性の18～29歳・30代では、「行きたいが機会がなかった」が5割を超えている。先にこの世代の女性が屋台との関係を築きつつある可能性を指摘したが、屋台に行ったことがない人を見ても、潜在的な屋台利用層として捉えることができよう。

こうした中で、福岡市では各種催し物の場に屋台の出店機会を設け、屋台に行くきっかけをつくることに努めている。例えば、福岡マラソン EXPO、博多旧市街ライトアップウォークなどといった場に屋台が出店しており、市民と屋台との接点を増やす取り組みとして評価できよう。

（3）観光資源としての屋台（問8，問9）

福岡市民の利用に加え、観光客にとっても屋台は魅力的な存在である。こうした観光資源として捉えた場合、福岡市民は屋台を観光客に勧めたいと思っているのであろうか（問8）。結果をみると、『勧めたい』（＝「勧めたい」＋「どちらかといえば勧めたい」）人は、ほぼ半数（52.2%）であり、平成26年度調査（51.9%）と変化はなかった。一方で、『勧めたくない』（＝「勧めたくない」＋「どちらかといえば勧めたくない」）人は約2割（21.8%）であり、「わからない」とした人は2割強（24.6%）であった。

屋台の利用経験別にみると、利用経験層の方が観光客等に屋台を勧めたいと考えていることが示されている（58.3%）。この傾向は平成26年度調査でも確認されており、利用経験層は、自身の経験を基に、観光客にとって屋台の利用が良い経験につながると考えているといえよう。また1年以内に屋台に行った人（73.4%）は、1年以上前に行った人（54.6%）と比較して、『勧めたい』人の割合が高く、また、明確に「勧めたい」とする人の割合（36.2%）も高いことがわかる。

次に、屋台の良い面（問9，複数回答）について尋ねたところ、「福岡（博多）らしさがある」（70.2%）が最も多くの支持を集め、次いで「観光客に人気があり、観光で貢献している」（42.5%）、「庶民的で気軽に利用できる」（36.0%）、「知らないもの同士で気軽にコミュニケーションができる」（33.8%）、「屋台のある景観が良い」（30.2%）などとなった。支持の高い順番は平成26年度調査と同様であるが、それぞれを支持する割合は数ポイントずつ増加している。

平成26年度調査でも指摘したが、多くの福岡市民が屋台を日常的に利用しているわけではないにもかかわらず、屋台を福岡（博多）らしいものとして、また、庶民的で気軽に利用できると捉えている。一方で、「料金が安い」（7.9%）、「メニューが豊富でおいしい」（8.9%）といった点は評価されていない。この傾向も平成26年度調査とほぼ同様であった。また未経験層と比較して、利用経験層の方が、総じてそれぞれの項目を支持する割合が高くなっている。利用して初めて屋台の良い面が実感されるのであれば、まずは、未経験層や、以前利用したことはあるが足が遠のいている人々に利用してもらうことが必要となろう。こうした点からも、先の催し物の場などへの屋台出店など、市民と屋台との接点を増やすことは一つの手掛かりとなろう。

(4) 屋台の抱える課題（問 10）

次に屋台の問題点（問 10、複数回答）を尋ねたところ、最も多くの支持を集めたのは「衛生面での問題がある」（70.1%）であり、「トイレがなく放尿の問題がある」（51.9%）が続いている。この2点は平成 26 年度調査でもほぼ同じ割合であった。次いで、「料金が不明瞭」（36.1%）、「屋台の周辺での悪臭や道路が汚い」（36.0%）、「歩道幅が狭くなることにより通行の邪魔となっている」（20.9%）となった。平成 26 年度調査と比較して、「屋台の周辺での悪臭や道路が汚い」、「歩道幅が狭くなることにより通行の邪魔となっている」を問題とする人の割合が小さくなっていることを指摘しておきたい（平成 26 年度調査ではそれぞれ 45.7%、27.8%）。

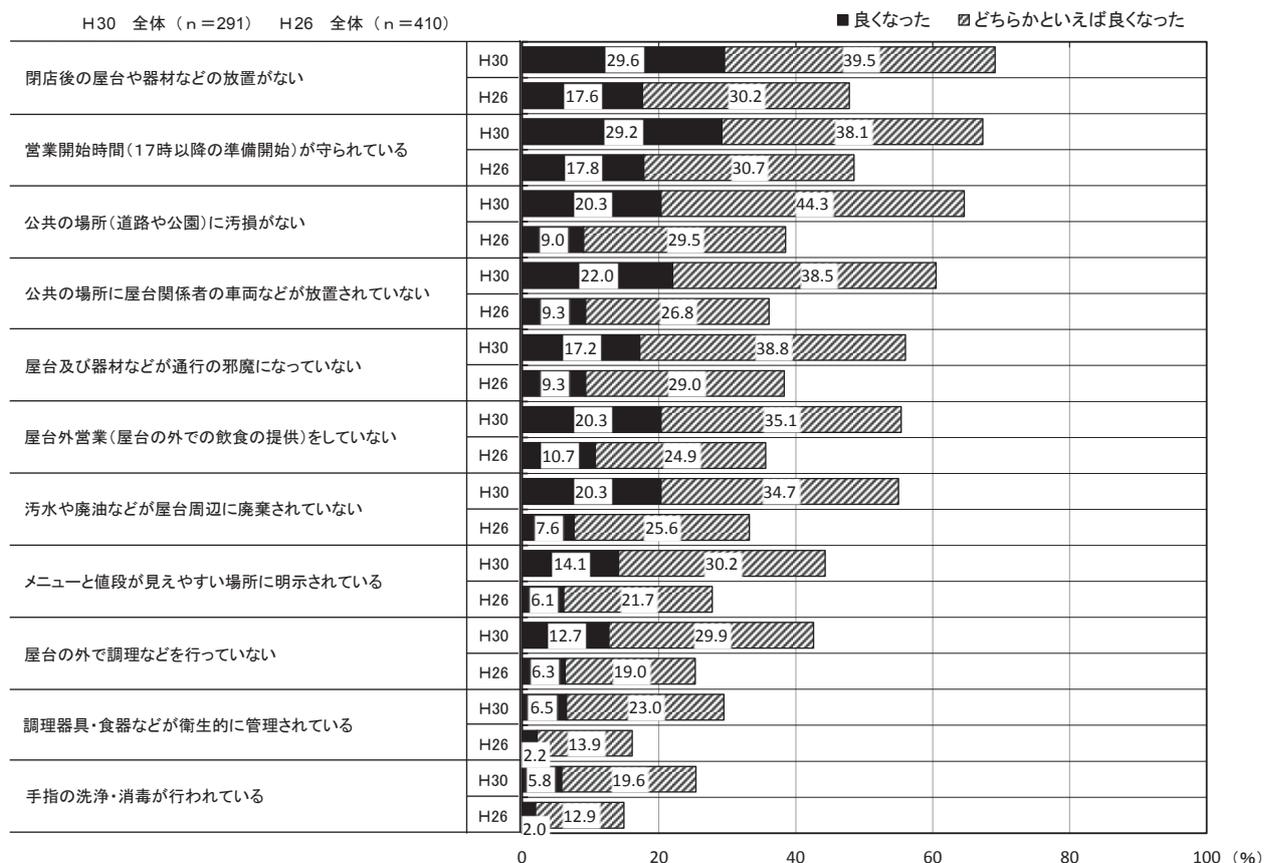
福岡市では、屋台営業のために平成 27、28 年度にかけて給排水設備を整備してきた（給水栓 57 口、汚水枥 31 個。給水栓 1 口で屋台 1 軒分、汚水枥 1 個で屋台 2 軒分）。また、屋台の区画も確保されてきた。水道（給水栓）や排水（汚水枥）が整備される中で、悪臭や汚損の改善が実感されているといえよう。しかし、水道等の整備によって衛生面での改善が進む中で、「衛生面での問題がある」という、屋台は不衛生であるというイメージは、なかなか変化しないことも示されている。加えて「料金が不明瞭」（36.1%）は、平成 26 年度調査（30.9%）と比較してやや割合が高い。当然のことながら、屋台利用経験層の方が衛生面やトイレの問題、料金の不明瞭さを問題ありとする人の割合が高くなっている。実際の利用経験から下されたこうした判断には注意が必要である。

(5) 「福岡市屋台基本条例」「屋台公募」に関する評価（問 11～問 16-2）

福岡市は屋台条例に基づき、さまざまな対策を実施してきたが、屋台条例を認知（問 11）している人は約半数（50.7%）であった。次に、屋台条例施行後の変化（問 12）について「わからない」人が約 8 割（81.7%）であった一方で、変化があったとした人は 1 割強（12.6%）であった。さらに「変化があった」と回答した人に、条例施行後の営業状況の変化（問 12-1）について確認した。「閉店後の屋台や器材などの放置がない」「営業開始時間（17 時以降の準備開始）が守られている」「公共の場所（道路や公園）に汚損がない」「公共の場所に屋台関係者の車両などが放置されていない」などは、条例施行後およそ 1 年後に実施された平成 26 年度調査と比較して、改善されたと評価している人の割合が高くなっている（図表 2）。もちろん「わからない」人の割合も少なくはないが、条例施行後に変化、それも改善傾向にあると捉えられていることは評価されて良い。

図表2 条例施行後の営業状況の変化

【過去の調査との比較：「良くなった」「どちらかといえば良くなった」の割合】



さて、福岡市は平成28年度に屋台公募を実施したが、このことを「知っていた」人は7割(70.4%)に達した(問13)。しかし、平成29年4月に営業を開始した公募屋台の利用経験者の割合はごくわずかであり(4.7%)、利用したことのない人の割合は8割(82.1%)を超えた(問14)。また、公募屋台の営業開始以降に屋台の利用状況が変化したか(問15)を尋ねたところ、増えた人(0.3%)はほとんど認められなかった。このため、公募屋台の営業開始以降の屋台全体の変化(問16)についても「わからない」とした人が9割弱(89.0%)となり、「変化があった」とした人は、ごくわずかな割合(4.4%)であった。「変化があった」としたごく少数の人(102人)に、営業状況の変化(問16-1)を確認したところ、『良くなった』とする人の割合(=「良くなった」+「どちらかといえば良くなった」)は、「店の雰囲気」(72.6%)、「入店のしやすさ」(59.8%)、「ルールの遵守(営業時間、営業場所の清掃など)」(56.9%)、「メニューの多様性」(54.9%)、「清潔感・食品衛生の確保」(54.9%)などとなった。あくまでも参考程度にとどめるべきではあるが、公募屋台の登場による変化は好意的に受けとめられている。さらに客層の変化(問16-2)として、「増えた」と「どちらかといえば増えた」を合わせた割合は、「観光客」(71.6%)、「女性客」(68.7%)、「外国人客」(64.7%)、「若者客(20~30代)」(60.8%)、「地元客」(26.5%)の順となった。増加する外国人客よりも、女性客(もちろん観光客や外国人にも女性は含まれるが)の増加が意識されていることは興味深い。

(6) 屋台の将来像の実現（問 17～問 21）

屋台条例に掲げられた屋台の将来像をもとに、屋台に対する期待（問 17、回答は2つまで）を確認した。最も多くの支持を集めたのは、「市民、地域住民に理解され、愛される」で5割強(54.0%)であり、次いで「人々の交流の場を創出し、まちの魅力を高める」(26.5%)、「観光客に理解され、愛される」(25.7%)、「まちのにぎわいを創出し、まちの魅力を高める」(25.2%)、「観光資源として福岡市を広報することができる」(25.1%)がほぼ同じ割合で並んでいる。この傾向は、平成26年度調査と同様であった。

さらに屋台条例で、屋台営業者は地域への貢献に努めなければならないと定められているが、貢献として期待すること（問 19）について尋ねたところ、地域行事への寄付や子どもの見学受け入れなどではなく、「地域の夜間の安全対策」(43.4%)、「地域の清掃活動」(34.1%)に多くの支持が集まった。夜間に遅くまで営業し街中に明かりをとすため、近くを通行する市民の安心・安全につながるものが、地域貢献として捉えられている。

また、屋台の将来像達成のための重要な取り組みを、屋台営業者、利用者、市（行政）それぞれについて確認した（図表3）（問 18、問 20、問 21）。

図表3 屋台の将来像達成のための重要な取り組み

	屋台営業者	利用者	市（行政）
1位	ルールを守って営業 (38.7%)	マナーを守って利用 (49.8%)	指導や監視の徹底 (34.2%)
2位	利用者の信頼確保 (34.5%)	屋台営業ルールを知る (26.1%)	適正営業の情報発信 (23.7%)
3位	魅力を高める店づくり (7.5%)	ルール違反屋台の通報 (7.0%)	屋台の魅力の情報発信 (16.7%)

屋台営業者、利用者ともに、屋台に関する基本的なルールを知り、守ることが必要であるとの共通理解が示されている。また、市（行政）には、屋台営業状況の指導監視、適正な営業、屋台の魅力の情報発信という役割が期待されていた。これらの傾向は、平成26年度調査とほぼ変わらず、ルールを介した信頼関係を築いていくことが求められているといえよう。

(7) 福岡市民と屋台との関係のあり方

今回の調査から得られた知見の概要を、前回平成26年度の総括報告に倣って整理しておきたい。

- 1) 回答者の約7割(71.4%)は屋台利用経験をもち、5割強(53.7%)は屋台に良いイメージを持っている(平成26年度調査とほぼ同傾向)。
- 2) しかし実際の利用頻度は、一部の回答者以外は、年に数回も行かないがこれまでに行ったことがある程度で、屋台は日常的な利用の場にはなっていない(平成26年度調査とほぼ同傾向)。そうした中で、女性18～29歳では、夕食などの機会といった日常的な利用者の割合が他の性・年齢階層よりも大きい。
- 3) 利用経験の有無で屋台への評価は異なり、利用経験者は屋台に対して肯定的な意識を持っている(平成26年度調査とほぼ同傾向)。さらに利用経験者の中でも、1年以内に行った人の方が肯定的な意識の割合が高い。

- 4) 福岡市の観光資源の一つとして屋台の存在は評価されている(平成 26 年度調査とほぼ同傾向)。
- 5) 屋台の抱える問題点として、衛生面での問題が 7 割 (70.1%) の回答者から指摘されているが、福岡市による給排水施設の整備によって、悪臭や道路、公園の汚れの問題とともに、平成 26 年度調査より改善傾向にある。しかし、トイレ利用の不安感は依然として意識されており、また、料金の不明瞭さも指摘されている。
- 6) 福岡市屋台基本条例は回答者の半数 (50.7%) に認知され、施行後の屋台の変化は、約 8 割 (81.7%) はわからないとしているが、変化を感じている人 (12.6%) は、屋台営業のルールが守られているとしている。
- 7) 屋台公募は 7 割 (70.4%) の回答者に認知されているが、公募屋台の利用経験層はごくわずか (4.7%) であった。
- 8) 屋台条例に示された屋台の将来像実現のために、屋台営業者と利用者は、屋台に関する基本的なルールを守る必要があると考えている人の割合が高く、市(行政)には監視指導を求める人の割合が高い(平成 26 年度調査とほぼ同傾向)。

福岡市による公募屋台などの新たな取り組みの効果は、もう少し時間をかけて評価すべきであるが、今回の調査結果をみる限り、平成 26 年度調査と同様に、回答者である福岡市民にとって屋台は日常的に利用する場にはなっていないことが示された。観光資源としての屋台は十分評価されているが、実際の利用には結び付いていない。多くの福岡市民にとって、屋台は意識面でも行動面でも距離のある存在となっているため、福岡市が水道や排水施設を整備し、屋台の環境改善を進めつつあるにもかかわらず、依然として衛生面での不安を持つなど、いわば古いイメージが残っていると思われる。こうした不安を払拭し、安心して屋台を利用してもらうために、市民と屋台との接点を増やしていくこと、そのためにさまざまな催事の場に屋台に出店していく取り組みなどは、さらに進められても良い。

前回調査でも指摘したことであるが、福岡市民から屋台が離れていくことは、屋台の存在自体を不安定にするであろう。今回の調査結果では、より若い世代で屋台に対する関心が高いことがわかった。若い世代は、一方で他者とのコミュニケーションに距離を取ろうとしつつ、一方で気軽に知らない者同士が知り合えるといった屋台的な雰囲気に関心を持っていることは興味深い。こうした世代の動向を捉えつつ、福岡市民と屋台とをつなぐ取り組みが求められている。

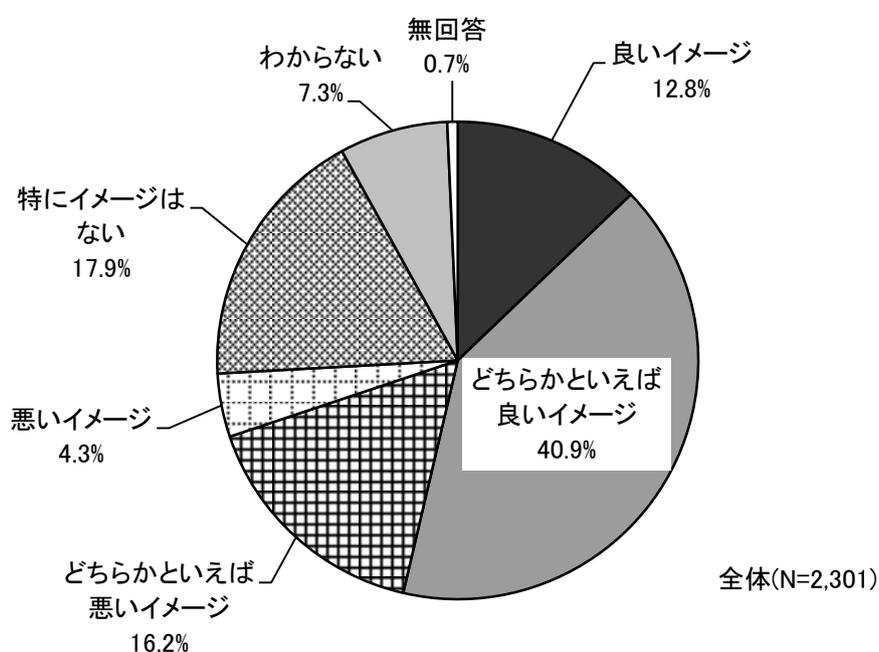
4. 「福岡市の屋台」に関する調査結果

(1) 屋台のイメージ

問6 あなたは、屋台にどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

屋台のイメージについて聞いたところ、『良いイメージ』（＝「良いイメージ」＋「どちらかといえば良いイメージ」）と回答した人は 53.7%となっている。一方、『悪いイメージ』（＝「悪いイメージ」＋「どちらかといえば悪いイメージ」）と回答した人は 20.5%となっている。

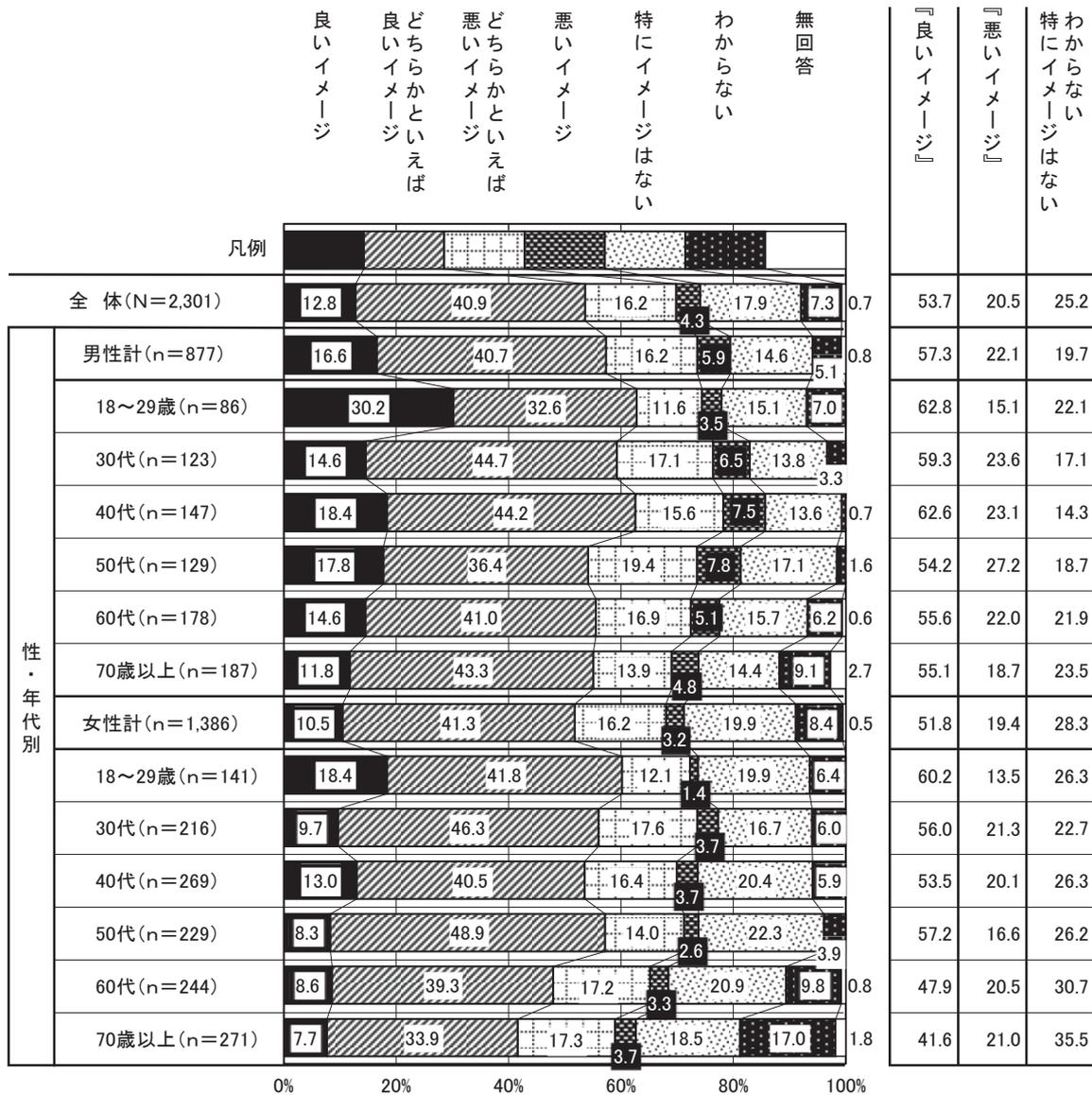
図表 屋台のイメージ【全体】



性別にみると、男性では『良いイメージ』（57.3%）の割合が女性（51.8%）に比べて5.5ポイント高くなっている。

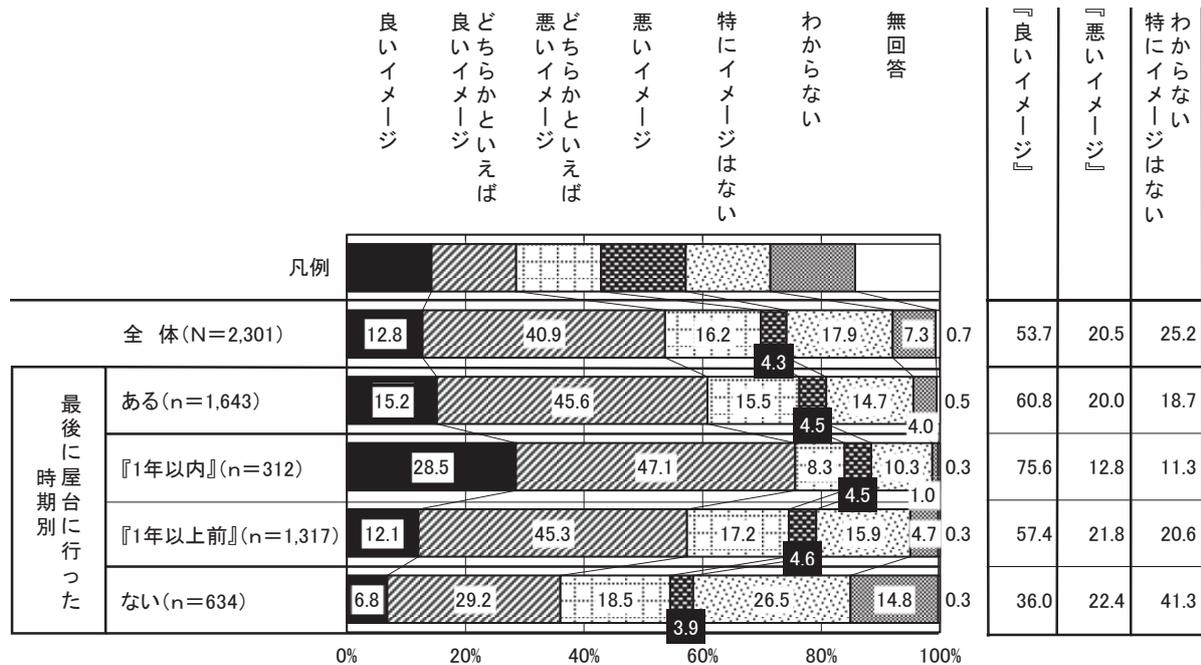
性・年代別にみると、男性18～29歳・40代、女性18～29歳代では『良いイメージ』の割合が6割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台のイメージ【性・年代別】



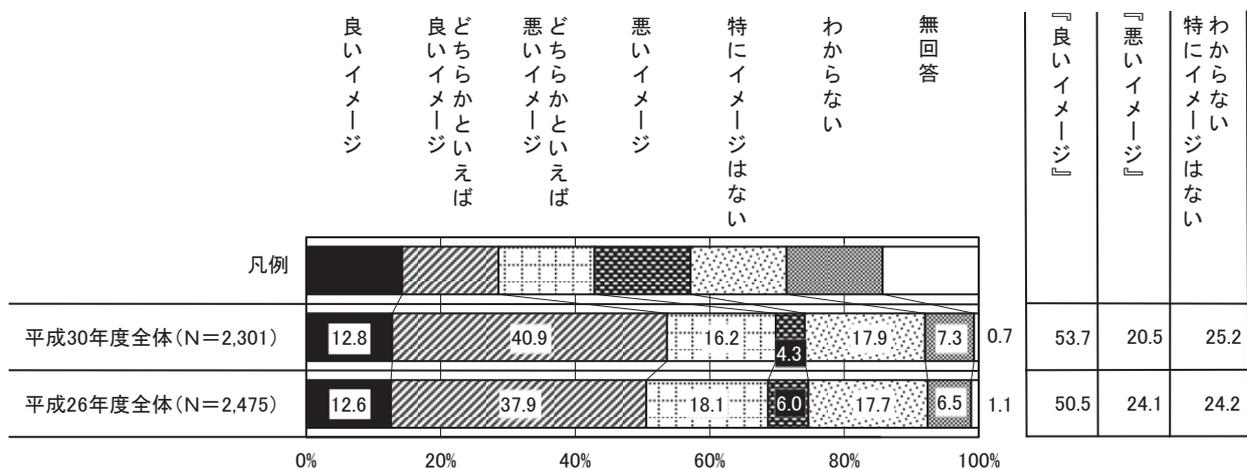
最後に屋台に行った時期（問7-1 51頁参照）別にみると、『1年以内』に屋台に行ったと回答した人では『良いイメージ』（75.6%）の割合が、『1年以上前』（57.4%）、「ない」（36.0%）と回答した人に比べて高くなっている。

図表 屋台のイメージ【最後に屋台に行った時期別】



過去の調査結果をみると、『良いイメージ』（53.7%）は平成26年度調査から3.2ポイント増加し、『悪いイメージ』（20.5%）は3.6ポイント減少している。

図表 屋台のイメージ【過去の調査との比較】

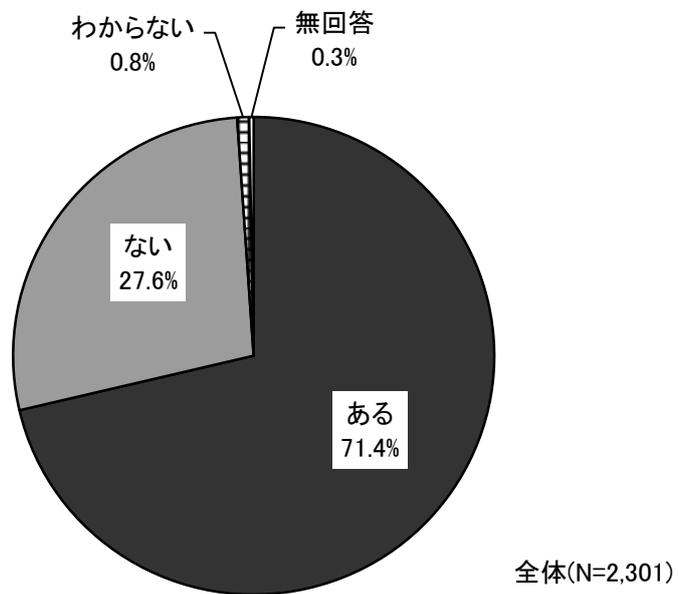


(2) 屋台に行ったことがあるか

問7 あなたは、屋台に行ったことがありますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台に行ったことがあるか聞いたところ、「ある」と回答した人は71.4%、「ない」と回答した人は27.6%となっている。

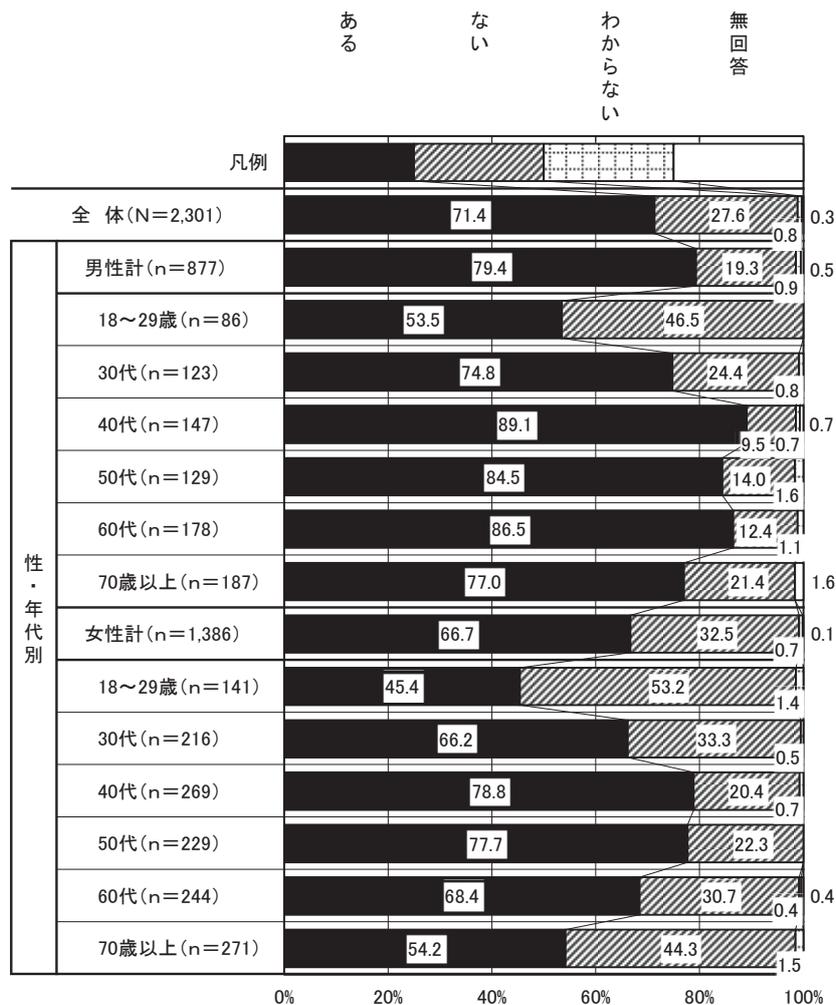
図表 屋台に行ったことがあるか【全体】



性別にみると、男性では屋台に行ったことが「ある」(79.4%)の割合が女性(66.7%)に比べて12.7ポイント高くなっている。

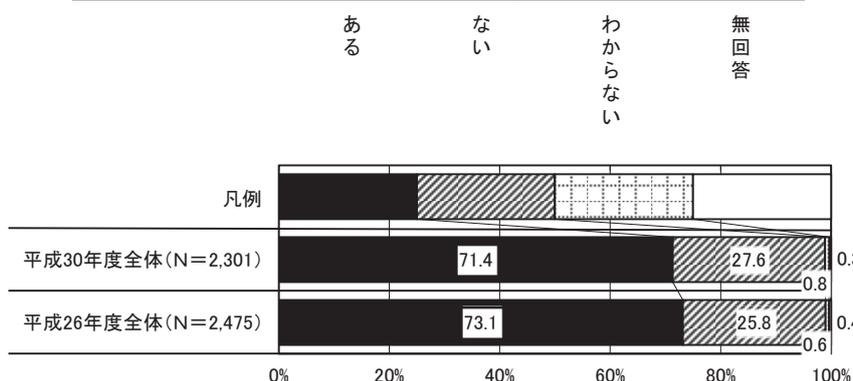
性・年代別にみると、男性40代～60代では屋台に行ったことが「ある」の割合が8割台半ばから8割台後半となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。一方、女性18～29歳では屋台に行ったことが「ない」の割合が53.2%となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台に行ったことがあるか【性・年代別】



過去の調査結果をみると、「ある」(71.4%)は平成26年度調査から1.7ポイント減少し、「ない」(27.6%)は1.8ポイント増加している。

図表 屋台に行ったことがあるか【過去の調査との比較】



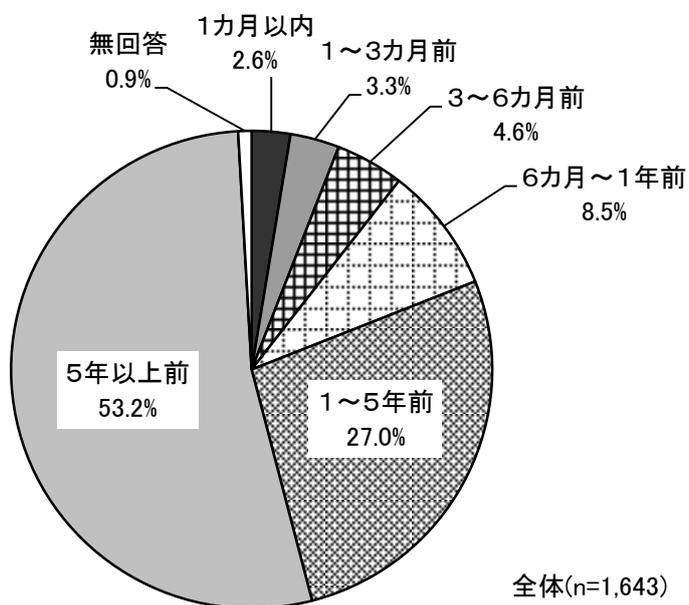
(3) 最後に屋台に行った時期

問7-1 《 問7で「1」と回答した方におたずねします。 》

あなたが最後に屋台に行ったのはいつですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

最後に屋台に行った時期について聞いたところ、「5年以上前」と回答した人が 53.2%と最も多く、次いで「1～5年前」(27.0%)、「6カ月～1年前」(8.5%) となっている。

図表 最後に屋台に行った時期【全体】



性別にみると、女性では「5年以上前」(59.2%)の割合が男性(44.8%)に比べて14.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性30代以下、女性18～29歳では『1年以内』に屋台を利用した人の割合が3割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 最後に屋台に行った時期【性・年代別】

単位：%

	調査数	1 ヵ月 以内	1 ヵ 3 ヵ月 前	3 ヵ 6 ヵ月 前	6 ヵ月 ～ 1 年前	1 ～ 5 年前	5 年 以上 前	無 回 答	最後に屋台に行った時期	
									『1 年 以内』	『1 年 以上 前』
全体	1,643	2.6	3.3	4.6	8.5	27.0	53.2	0.9	19.0	80.2
男性計	696	4.3	6.0	6.8	9.5	28.0	44.8	0.6	26.6	72.8
18～29歳	46	6.5	8.7	6.5	8.7	50.0	19.6	-	30.4	69.6
30代	92	6.5	7.6	6.5	12.0	33.7	33.7	-	32.6	67.4
40代	131	6.1	6.1	8.4	6.1	28.2	45.0	-	26.7	73.2
50代	109	5.5	5.5	8.3	9.2	32.1	37.6	1.8	28.5	69.7
60代	154	1.9	5.8	5.8	11.0	18.2	56.5	0.6	24.5	74.7
70歳以上	144	2.8	4.2	4.9	10.4	25.7	52.1	-	22.3	77.8
女性計	925	1.3	1.4	3.0	7.7	26.3	59.2	1.1	13.4	85.5
18～29歳	64	4.7	3.1	6.3	20.3	43.8	21.9	-	34.4	65.7
30代	143	1.4	-	3.5	7.7	35.7	50.3	1.4	12.6	86.0
40代	212	0.9	2.8	2.8	8.0	24.1	59.9	1.4	14.5	84.0
50代	178	1.7	0.6	5.6	6.7	23.6	61.8	-	14.6	85.4
60代	167	0.6	0.6	-	6.6	23.4	68.3	0.6	7.8	91.7
70歳以上	147	0.7	2.0	1.4	4.8	18.4	70.1	2.7	8.9	88.5

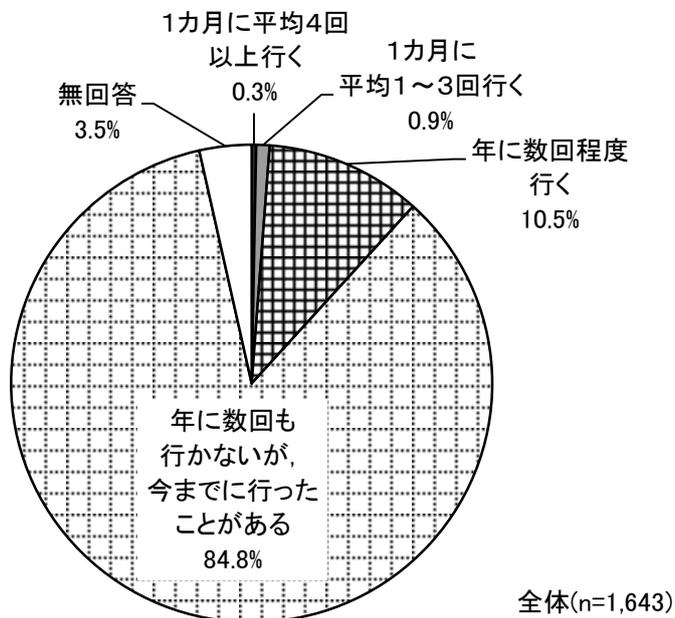
(4) 屋台の利用頻度

問7-2 《 問7で「1」と回答した方におたずねします。 》

あなたは、屋台をどれくらいの頻度で利用しますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台の利用頻度について聞いたところ、「年に数回も行かないが、今までに行ったことがある」と回答した人が 84.8%と最も多く、次いで「年に数回程度行く」(10.5%)、「1カ月に平均1～3回行く」(0.9%)となっている。

図表 屋台の利用頻度【全体】



性別にみると、男性では『年に数回以上行く』（＝「1カ月に平均4回以上行く」＋「1カ月に平均1～3回行く」＋「年に数回程度行く」）（17.4%）の割合が女性（7.5%）に比べ9.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性30代・40代では『年に数回以上行く』の割合が2割前後になっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

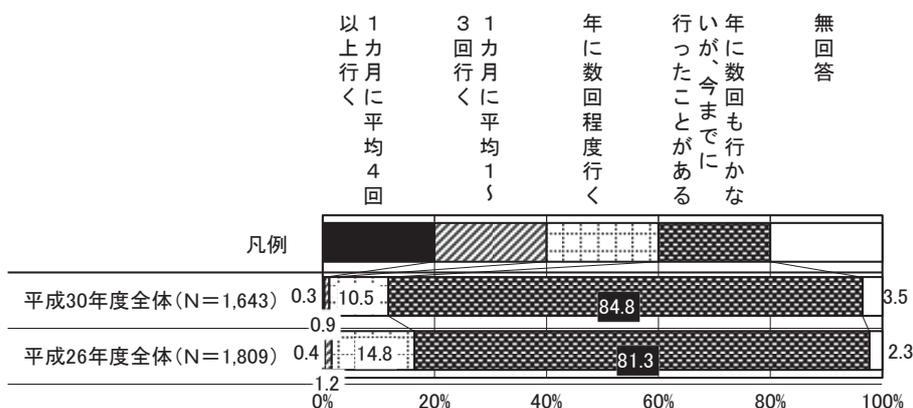
図表 屋台の利用頻度【性・年代別】

単位：%

	調査数	1カ月に平均4回以上行く	1カ月に平均1～3回行く	年に数回程度行く	年までに数回行ったことがないが、今年に行かない	無回答	『年に数回以上行く』
全体	1,643	0.3	0.9	10.5	84.8	3.5	11.7
男性計	696	0.6	1.4	15.4	77.9	4.7	17.4
18～29歳	46	-	2.2	15.2	80.4	2.2	17.4
30代	92	-	1.1	18.5	77.2	3.3	19.6
40代	131	0.8	3.1	17.6	75.6	3.1	21.5
50代	109	0.9	1.8	13.8	77.1	6.4	16.5
60代	154	0.6	1.3	13.6	77.3	7.1	15.5
70歳以上	144	0.7	-	13.9	81.3	4.2	14.6
女性計	925	0.1	0.5	6.9	89.8	2.6	7.5
18～29歳	64	-	1.6	10.9	85.9	1.6	12.5
30代	143	-	-	9.8	88.1	2.1	9.8
40代	212	-	0.5	7.5	88.7	3.3	8.0
50代	178	-	0.6	5.6	91.6	2.2	6.2
60代	167	-	-	4.8	94.0	1.2	4.8
70歳以上	147	0.7	1.4	5.4	87.8	4.8	7.5

過去の調査結果をみると、『年に数回以上行く』（11.7%）は平成26年度調査（16.4%）から4.7ポイント減少している。

図表 屋台の利用頻度【過去の調査との比較】



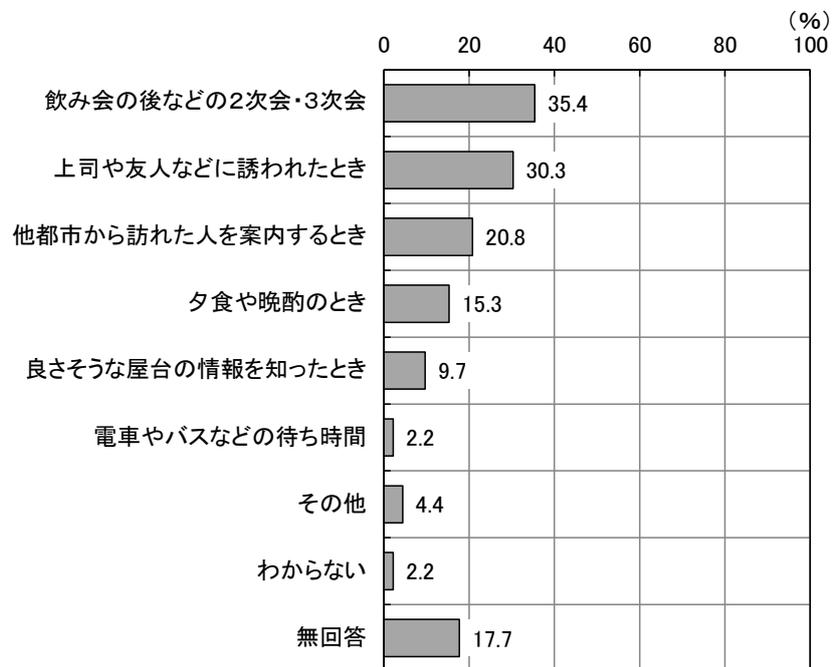
(5) 屋台を利用したとき

問7-3 《 問7で「1」と回答した方におたずねします。 》

あなたが屋台を利用したのはどのようなときでしたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

屋台を利用したときについて聞いたところ、「飲み会の後などの2次会・3次会」と回答した人が35.4%と最も多く、次いで「上司や友人などに誘われたとき」(30.3%)、「他都市から訪れた人を案内するとき」(20.8%)となっている。

図表 屋台を利用したとき【全体】※複数回答



全体(n=1,643)

性別にみると、男性では「飲み会の後などの2次会・3次会」(44.4%)の割合が女性(28.5%)に比べて15.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、女性18～29歳では「夕食や晩酌のとき」の割合が34.4%となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台を利用したとき【性・年代別】※複数回答

単位：%

	調査数	3次会 飲み会の後 などの2次会・ 3次会	上司や友人 などに誘われ たとき	他都市から 訪れた人を 案内するとき	夕食や晩酌 のとき	良さそうな 屋台の情報 を知ったとき	電車やバス などの待ち 時間	その他	わからない	無回答
全体	1,643	35.4	30.3	20.8	15.3	9.7	2.2	4.4	2.2	17.7
男性計	696	44.4	30.9	21.7	12.6	8.2	3.0	3.6	1.7	15.2
18～29歳	46	43.5	30.4	17.4	17.4	2.2	-	6.5	-	8.7
30代	92	38.0	44.6	20.7	19.6	8.7	1.1	-	-	14.1
40代	131	48.9	35.9	19.8	13.7	9.2	4.6	2.3	0.8	17.6
50代	109	46.8	26.6	23.9	15.6	9.2	2.8	1.8	0.9	13.8
60代	154	46.8	28.6	22.1	9.1	5.8	2.6	5.8	3.9	14.9
70歳以上	144	41.0	25.0	25.0	6.9	9.0	4.2	3.5	2.1	17.4
女性計	925	28.5	30.1	20.3	17.6	10.8	1.4	5.1	2.5	19.6
18～29歳	64	26.6	32.8	14.1	34.4	12.5	-	6.3	1.6	17.2
30代	143	30.1	32.2	19.6	19.6	7.0	1.4	5.6	0.7	17.5
40代	212	33.5	31.6	22.2	20.3	9.0	0.5	2.8	0.9	20.8
50代	178	32.0	34.3	23.6	15.2	12.4	1.7	2.8	-	22.5
60代	167	26.9	24.6	17.4	15.0	13.2	2.4	9.6	3.6	21.6
70歳以上	147	18.4	25.9	19.7	12.2	11.6	2.0	4.8	8.2	15.6

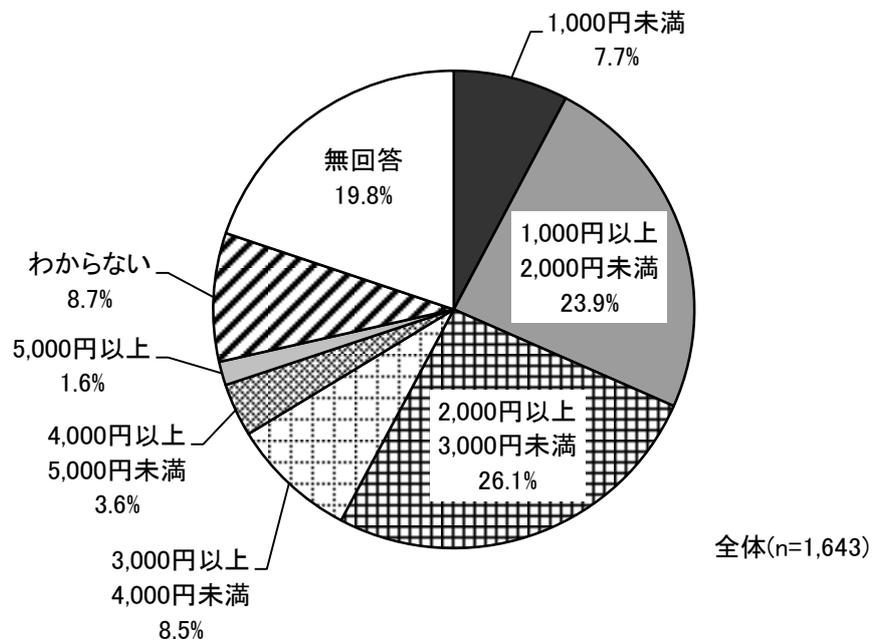
(6) 屋台で支払う金額

問7-4 《 問7で「1」と回答した方におたずねします。 》

あなたが屋台で支払う金額は一回・一人あたり、いくらぐらいですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台で支払う金額について聞いたところ、「2,000円以上3,000円未満」と回答した人が26.1%と最も多く、次いで「1,000円以上2,000円未満」(23.9%),「3,000円以上4,000円未満」(8.5%)となっている。

図表 屋台で支払う金額【全体】



性別にみると、男性では「2,000円以上3,000円未満」(29.5%)、女性では「1,000円以上2,000円未満」(24.6%)の割合が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性18～29歳では「1,000円以上2,000円未満」の割合が43.5%となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台で支払う金額【性・年代別】

単位：%

	調査数	1 0 0 0 円未 満	2 1 0 0 0 0 円未 満上	3 2 0 0 0 0 円未 満上	4 3 0 0 0 0 円未 満上	5 4 0 0 0 0 円未 満上	5 0 0 0 円以 上	わ か ら な い
全 体	1,643	7.7	23.9	26.1	8.5	3.6	1.6	8.7
男性計	696	6.5	23.3	29.5	11.4	4.5	1.4	6.5
18～29歳	46	13.0	43.5	15.2	8.7	-	-	10.9
30代	92	8.7	22.8	26.1	14.1	3.3	2.2	8.7
40代	131	1.5	25.2	29.0	12.2	6.9	0.8	4.6
50代	109	4.6	21.1	36.7	14.7	2.8	0.9	4.6
60代	154	6.5	22.7	29.9	9.7	5.8	1.3	5.8
70歳以上	144	8.3	20.8	29.2	8.3	4.2	2.1	7.6
女性計	925	8.6	24.6	23.2	6.3	2.8	1.8	10.5
18～29歳	64	10.9	18.8	28.1	4.7	1.6	-	17.2
30代	143	6.3	28.0	21.7	7.7	5.6	0.7	9.1
40代	212	5.7	19.8	30.7	11.3	2.8	0.9	8.0
50代	178	6.2	24.7	20.2	6.2	3.9	4.5	7.9
60代	167	9.0	25.7	23.4	3.6	1.2	3.0	9.0
70歳以上	147	16.3	28.6	15.0	2.0	1.4	0.7	17.0

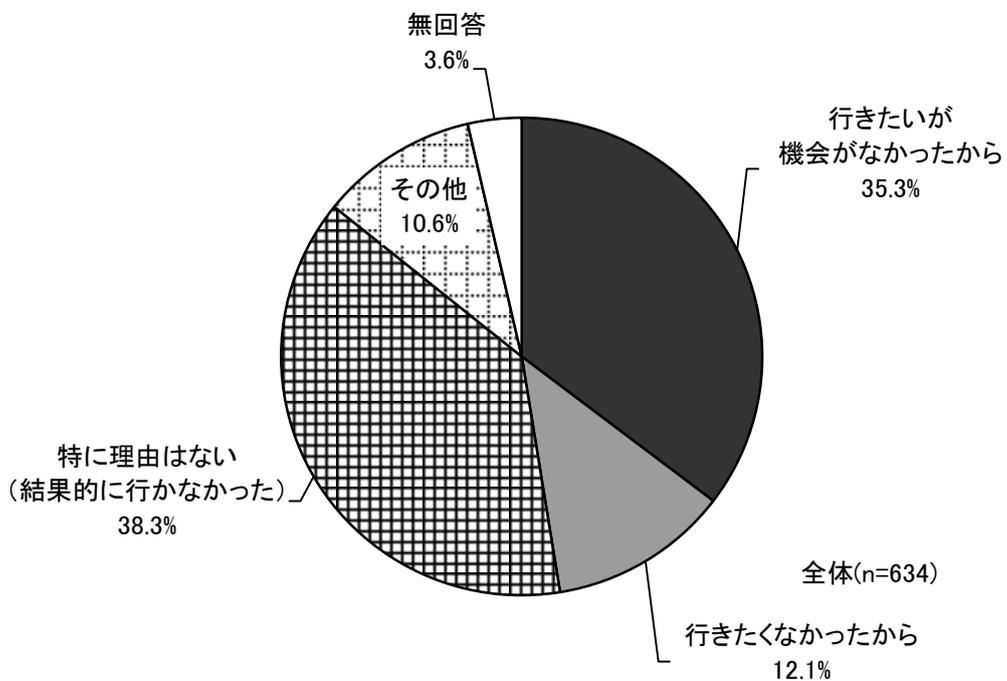
(7) 屋台に行かなかった理由

問7-5 《 問7で「2」と回答した方におたずねします。 》

あなたが屋台に行かなかった理由について、あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台に行かなかった理由について聞いたところ、「特に理由はない（結果的に行かなかった）」と回答した人が 38.3%と最も多く、次いで「行きたいが機会がなかったから」(35.3%)、「行きたくなかったから」(12.1%) となっている。

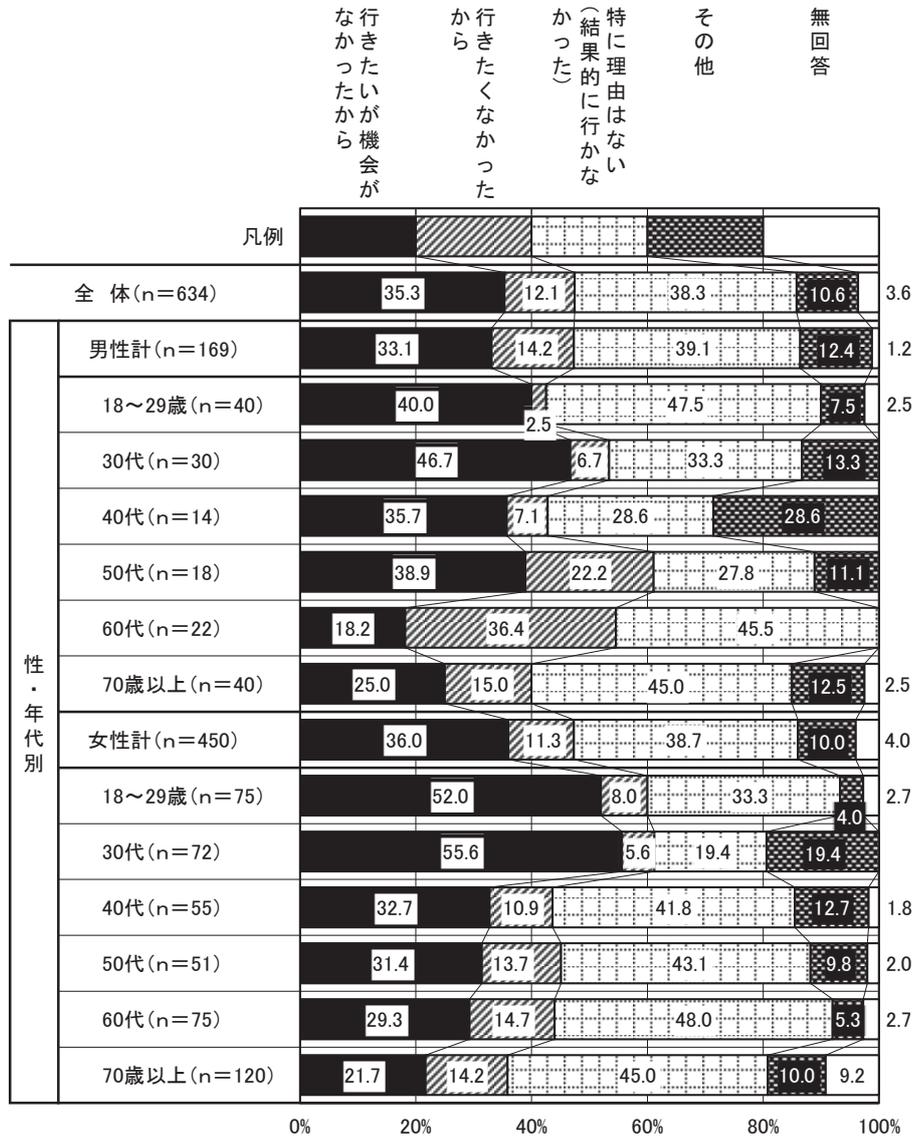
図表 屋台に行かなかった理由【全体】



性別にみた場合、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、女性 18～29 歳・30 代では「行きたいが機会がなかったから」の割合が 5 割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台に行かなかった理由【性・年代別】

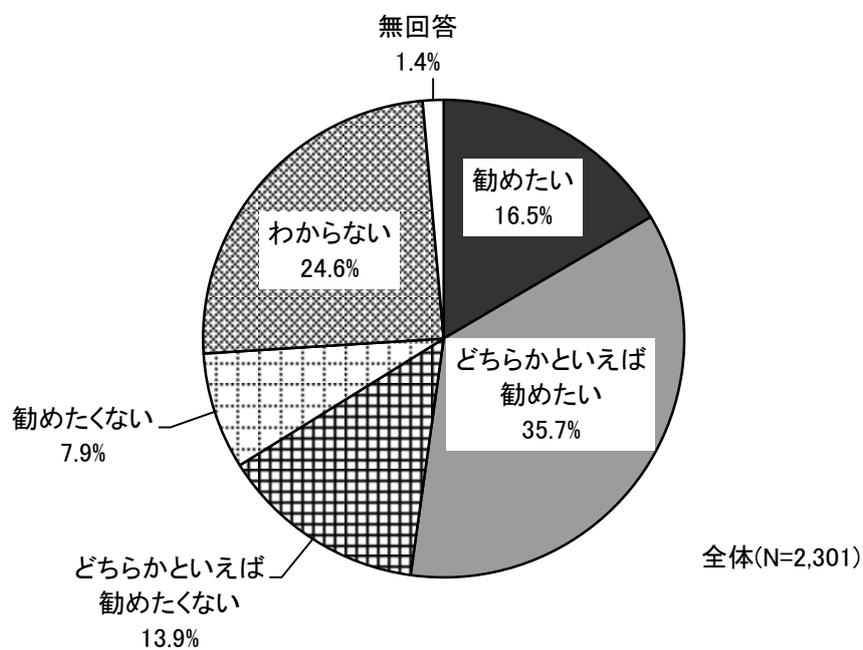


(8) 観光客等に屋台を勧めたいと思うか

問8 福岡を訪れた人や観光客に屋台に行くことを勧めたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

観光客等に屋台を勧めたいと思うかについて聞いたところ、『勧めたい』(=「勧めたい」+「どちらかといえば勧めたい」)と回答した人は52.2%となっている。一方、『勧めたくない』(=「勧めたくない」+「どちらかといえば勧めたくない」)と回答した人は21.8%となっている。

図表 観光客等に屋台を勧めたいと思うか【全体】



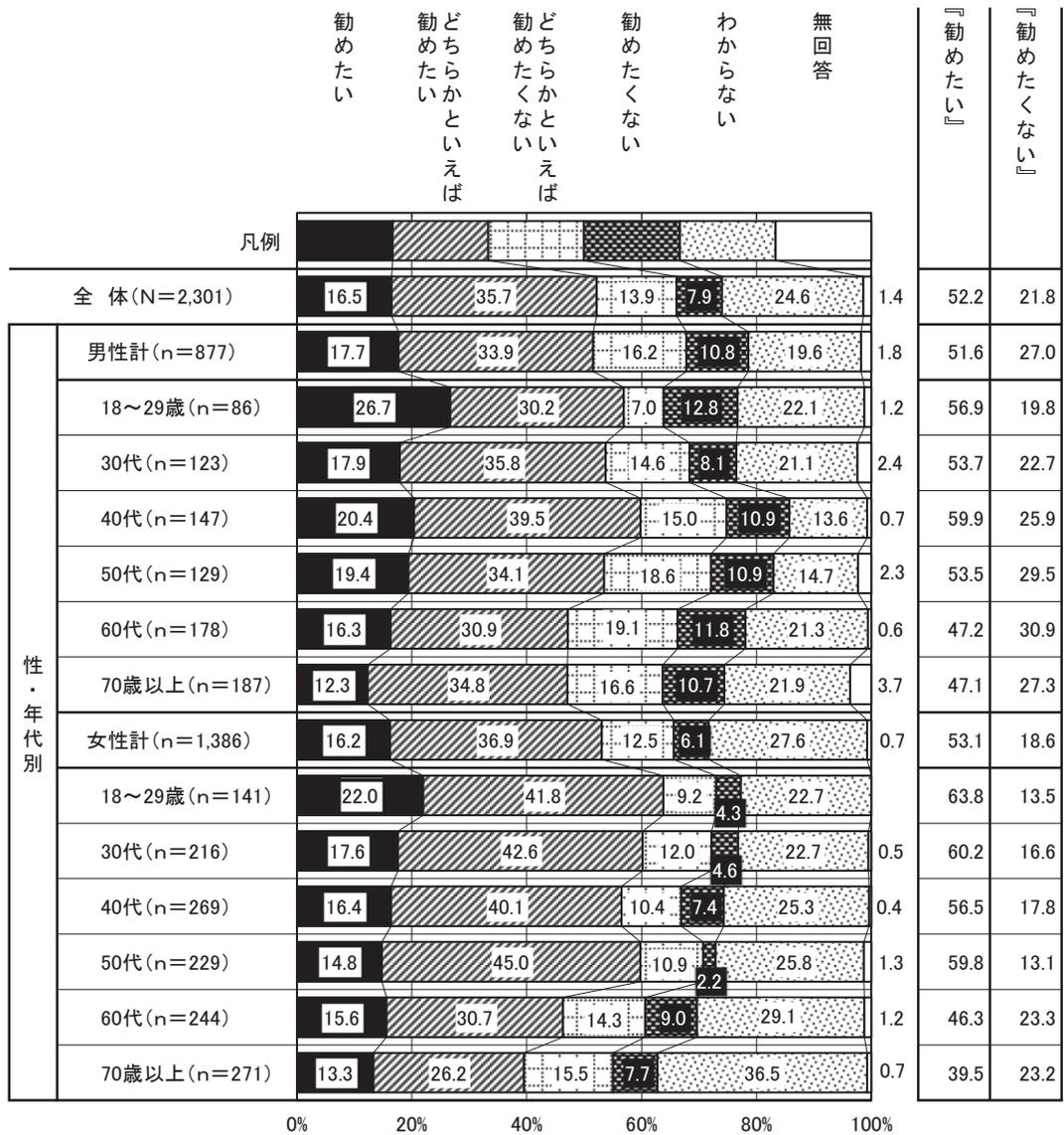
全体(N=2,301)

『勧めたい』	52.2%
『勧めたくない』	21.8%

性別にみると、男性では『勧めたくない』(27.0%)の割合が女性(18.6%)に比べて8.4ポイント高くなっている。

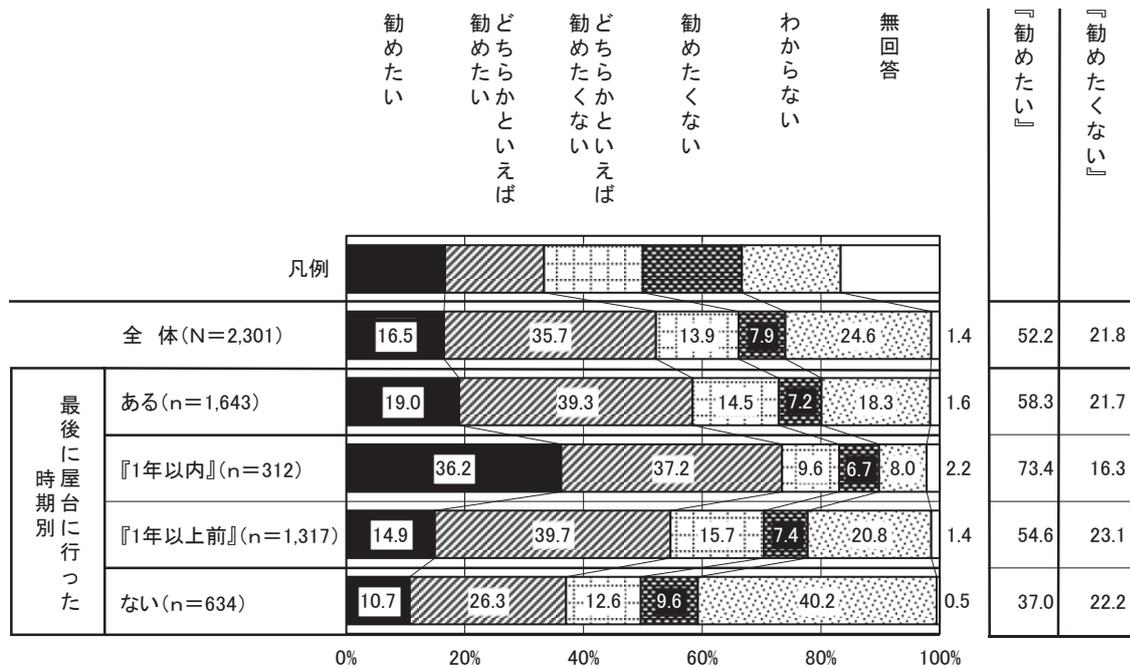
性・年代別にみると、男性40代、女性18~29歳・30代・50代では『勧めたい』割合が6割前後となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 観光客等に屋台を勧めたいと思うか【性・年代別】



最後に屋台に行った時期（問 7-1 51 頁参照）別にみると、『勧めたい』の割合は、『1年以内』では 73.4%となっており、『1年以上前』（54.6%）、「ない」（37.0%）と回答した人に比べて高くなっている。

図表 観光客等に屋台を勧めたいと思うか【最後に屋台に行った時期別】

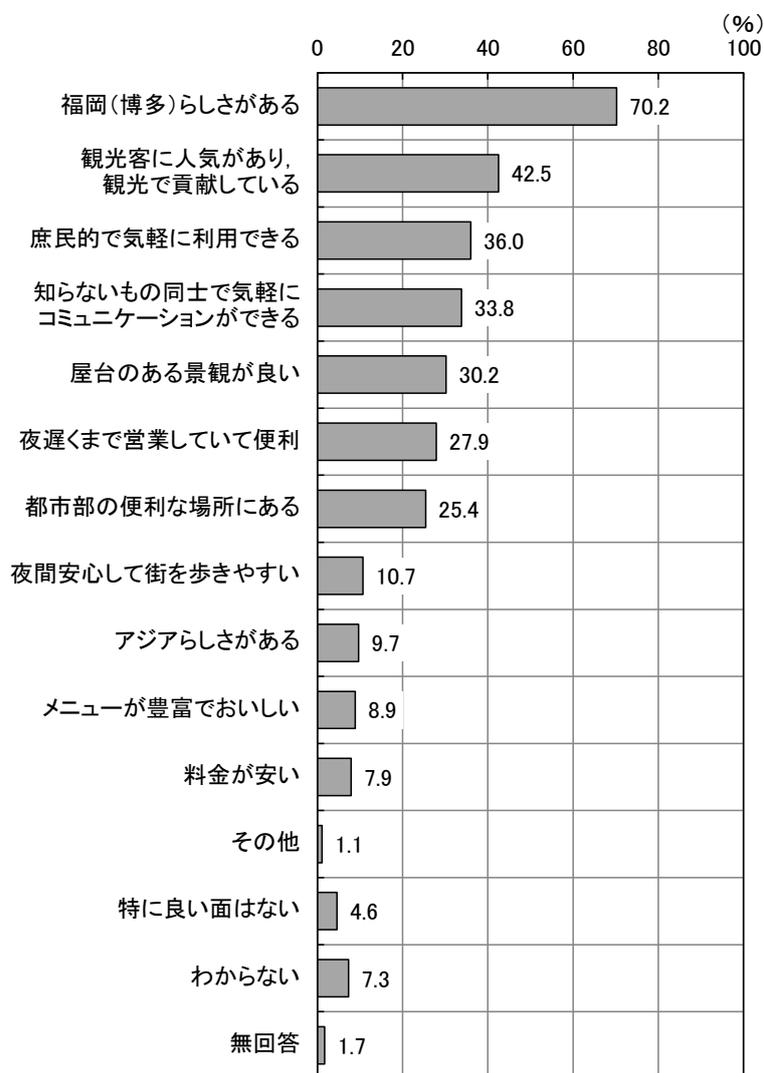


(9) 屋台の良い面

問9 あなたは、屋台のどのようなところが良い面だと思いますか。あなたの考えに近いものを**すべて**選び、番号に○をつけてください。

屋台の良い面について聞いたところ、「福岡（博多）らしさがある」と回答した人が70.2%と最も多く、次いで「観光客に人気があり、観光で貢献している」(42.5%)、「庶民的で気軽に利用できる」(36.0%)となっている。

図表 屋台の良い面【全体】※複数回答



全体(N=2,301)

性別にみると、女性では「観光客に人気があり、観光で貢献している」(44.7%)の割合が男性(39.3%)に比べて5.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性18～29歳・40代では「屋台のある景観が良い」の割合が4割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台の良い面【性・年代別】※複数回答

単位：％

	調査数	福岡(博多)らしさがある	観光客に人気があり、観光で貢献している	庶民的で気軽に利用できる	知らないものも同様に気軽にできる	屋台のある景観が良い	夜遅くまで営業している	都市部の便利な場所にある
全体	2,301	70.2	42.5	36.0	33.8	30.2	27.9	25.4
男性計	877	68.5	39.3	35.0	31.0	33.5	29.3	26.1
18～29歳	86	86.0	44.2	29.1	33.7	45.3	20.9	19.8
30代	123	75.6	43.1	28.5	23.6	39.8	31.7	19.5
40代	147	82.3	51.7	30.6	39.5	42.2	29.9	29.9
50代	129	67.4	38.8	31.0	29.5	34.1	26.4	23.3
60代	178	65.2	37.6	39.3	34.8	29.2	32.6	29.8
70歳以上	187	52.4	28.3	44.4	26.2	21.4	31.0	29.9
女性計	1,386	72.0	44.7	36.8	35.9	28.6	27.3	25.3
18～29歳	141	80.9	51.1	34.8	36.9	36.9	34.8	22.0
30代	216	82.4	49.5	35.6	34.7	39.8	31.5	24.5
40代	269	81.8	52.4	35.3	40.1	30.5	27.1	26.4
50代	229	78.2	50.2	42.4	43.7	26.2	27.5	29.3
60代	244	65.2	40.2	40.6	36.1	27.5	24.6	26.2
70歳以上	271	50.9	30.3	32.5	25.8	17.3	23.2	23.2

や す い	夜 間 安 心 し て 街 を 歩 き	ア ジ ア ら し さ が あ る	メ ニ ュ ー が 豊 富 で お い し い	料 金 が 安 い	そ の 他	特 に 良 い 面 は な い	わ か ら な い	無 回 答	
10.7	9.7	8.9	7.9	1.1	4.6	7.3	1.7		全体
10.5	10.3	8.8	8.8	1.3	5.5	6.2	2.4		男性計
4.7	10.5	10.5	9.3	2.3	-	7.0	1.2		18～29歳
8.1	7.3	9.8	8.1	-	4.1	3.3	2.4		30代
9.5	15.6	12.2	6.8	2.0	4.1	2.0	0.7		40代
16.3	13.2	7.0	4.7	1.6	5.4	5.4	2.3		50代
11.2	12.4	6.7	9.6	1.7	5.1	7.3	1.1		60代
11.2	4.3	8.6	12.8	0.5	10.7	9.1	5.9		70歳以上
10.9	9.4	8.8	7.3	1.0	3.9	8.0	0.9		女性計
15.6	4.3	5.7	7.1	-	2.1	6.4	0.7		18～29歳
10.2	10.6	7.4	8.8	1.4	2.8	4.2	0.5		30代
8.2	11.2	8.9	4.1	1.1	4.5	3.7	-		40代
11.8	11.8	11.8	6.6	1.3	1.3	3.9	0.9		50代
12.3	10.2	11.5	7.8	0.4	5.7	7.0	1.6		60代
10.0	6.6	6.6	9.6	1.5	5.9	19.6	1.5		70歳以上

最後に屋台に行った時期（問 7-1 51 頁参照）別にみると、『1 年以内』では「庶民的で気軽に利用できる」（49.0%）、「屋台のある景観が良い」（45.2%）の割合が他と比べて高くなっている。

図表 屋台の良い面【最後に屋台に行った時期別】※複数回答

単位：%

	調査数	福岡（博多）らしさがある	で観光客に人気があり、観光で貢献している	庶民的で気軽に利用できる	知らないもの同士で気軽にコミュニケーションができる	屋台のある景観が良い	夜遅くまで営業していて便利	都市部の便利な場所にある
全体	2,301	70.2	42.5	36.0	33.8	30.2	27.9	25.4
ある	1,643	73.7	44.1	40.0	37.4	34.4	31.3	27.7
『1年以内』	312	81.1	45.8	49.0	46.2	45.2	38.5	32.4
『1年以上前』	1,317	72.1	43.6	38.0	35.5	32.0	29.8	26.7
ない	634	62.1	39.1	26.2	25.4	19.7	19.4	20.0

夜間安心して街を歩きやす	アジアらしさがある	メニューが豊富でおいしい	料金が安い	その他	特に良い面はない	わからない	無回答	
10.7	9.7	8.9	7.9	1.1	4.6	7.3	1.7	全体
11.6	10.6	11.1	9.3	1.3	4.2	3.7	1.2	ある
15.4	10.3	17.9	11.2	1.9	2.6	0.3	1.9	『1年以内』
10.5	10.5	9.5	8.8	1.1	4.6	4.3	1.1	『1年以上前』
8.8	7.4	3.3	4.6	0.6	5.8	15.9	2.2	ない

過去の調査結果をみると、「屋台のある景観が良い」(30.2%)、「都市部の便利な場所にある」(25.4%)は平成26年度調査から8.1ポイント増加している。

図表 屋台の良い面【過去の調査との比較】※複数回答

単位：%

	調査数	福岡(博多)らしさがある	観光客に人気があり、 観光で貢献している	庶民的で気軽に利用できる	知らないもの同士で気軽に コミュニケーションができる	屋台のある景観が良い	夜遅くまで営業していて 便利	都市部の便利な場所にある
平成30年度	2,301	70.2	42.5	36.0	33.8	30.2	27.9	25.4
平成26年度	2,475	64.0	39.5	34.6	26.6	22.1	20.4	17.3

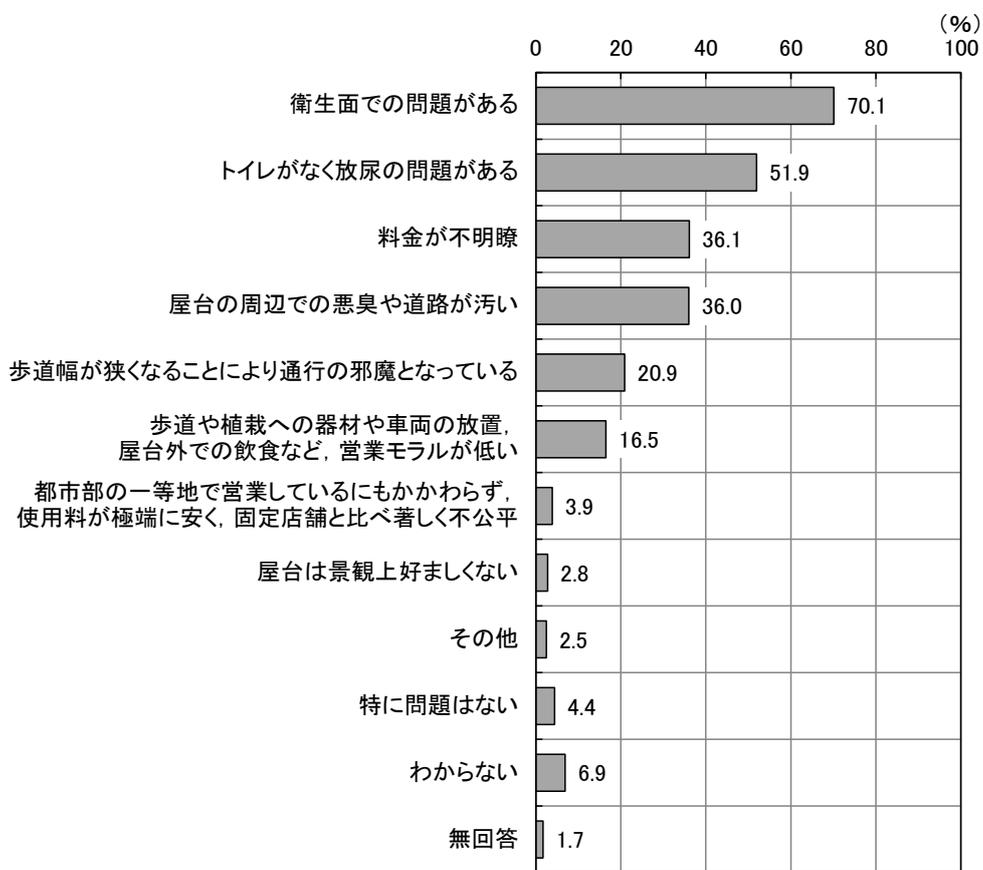
や す い	夜 間 安 心 し て 街 を 歩 き	ア ジ ア ら し さ が あ る	メ ニ ュ ー が 豊 富 で お い し い	料 金 が 安 い	そ の 他	特 に 良 い 面 は な い	わ か ら な い	無 回 答	
10.7	9.7	8.9	7.9	1.1	4.6	7.3	1.7	平成30年度	
7.4	5.9	6.5	7.0	1.0	7.4	7.8	1.9	平成26年度	

(10) 屋台の問題点

問10 あなたは、屋台にはどのような問題があると思いますか。あなたの考えに近いものを**すべて**選び、番号に○をつけてください。

屋台の問題点について聞いたところ、「衛生面での問題がある」と回答した人が70.1%と最も多く、次いで「トイレがなく放尿の問題がある」(51.9%)、「料金が不明瞭」(36.1%)となっている。

図表 屋台の問題点【全体】※複数回答



全体(N=2,301)

性別にみると、男性では「歩道や植栽への器材や車両の放置、屋台外での飲食など、営業モラルが低い」（21.4％）の割合が女性（13.3％）に比べて8.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性60代以上、女性60代では「トイレがなく放尿の問題がある」の割合が他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台の問題点【性・年代別】※複数回答

単位：％

	調査数	衛生面での問題がある	トイレがなく放尿の問題がある	料金が不明瞭	屋台の周辺での悪臭や道路が汚い	歩道幅の狭くなることにより通行の邪魔となつて	歩道や植栽への器材や車両の放置、営業モラルが低い
全体	2,301	70.1	51.9	36.1	36.0	20.9	16.5
男性計	877	66.1	54.7	38.3	37.2	22.9	21.4
18～29歳	86	65.1	37.2	38.4	33.7	20.9	10.5
30代	123	68.3	47.2	43.1	39.8	22.0	22.8
40代	147	71.4	55.1	49.7	35.4	21.1	16.3
50代	129	65.9	55.8	42.6	45.0	30.2	24.0
60代	178	62.9	62.4	38.2	36.0	23.0	23.0
70歳以上	187	62.6	59.9	22.5	33.2	21.9	25.1
女性計	1,386	73.1	50.1	35.1	35.6	19.5	13.3
18～29歳	141	75.2	31.9	34.8	35.5	16.3	12.1
30代	216	75.0	51.4	39.8	37.0	19.0	9.7
40代	269	71.4	50.2	44.6	40.1	19.0	10.4
50代	229	76.4	55.5	38.4	33.2	21.0	11.8
60代	244	77.5	59.8	41.4	35.7	20.5	16.0
70歳以上	271	66.1	46.9	13.7	32.1	20.7	19.2

店舗使用料に比べて著しく安く、不公平	都市部か等地で営業して	屋台は景観上好ましくない	その他	特に問題はない	わからない	無回答	
3.9	2.8	2.5	4.4	6.9	1.7	全体	
5.2	3.6	2.7	5.8	6.2	2.1	男性計	
1.2	2.3	4.7	4.7	8.1	1.2	18～29歳	
4.9	0.8	4.1	8.1	3.3	3.3	30代	
6.1	-	3.4	5.4	5.4	0.7	40代	
6.2	3.9	2.3	3.1	3.9	2.3	50代	
4.5	2.8	3.9	6.2	7.3	1.1	60代	
6.4	8.0	-	7.0	8.0	3.7	70歳以上	
3.0	2.3	2.3	3.5	7.4	1.1	女性計	
1.4	0.7	3.5	2.1	5.7	0.7	18～29歳	
4.2	2.8	2.8	2.8	2.8	0.5	30代	
2.6	1.5	2.2	2.6	5.9	0.4	40代	
1.7	0.9	3.5	5.2	3.9	1.3	50代	
2.9	2.9	2.9	2.9	6.1	1.2	60代	
4.4	4.4	-	4.4	16.2	2.2	70歳以上	

最後に屋台に行った時期（問 7-1 51 頁参照）別にみると、屋台に行ったことが「ある」と回答した人では「トイレがなく放尿の問題がある」（54.5%）、「料金が不明瞭」（39.8%）の割合が「ない」と回答した人に比べて高くなっている。また、『1年以内』では「衛生面での問題がある」（63.8%）、「屋台の周辺での悪臭や道路が汚い」（33.0%）が『1年以上前』と比べて低くなっている。

図表 屋台の問題点【最後に屋台に行った時期別】※複数回答

単位：%

	調査数	衛生面での問題がある	トイレがなく放尿の問題がある	料金が不明瞭	屋台の周辺での悪臭や道路が汚い	歩道幅が狭くなることによる邪魔となる	歩道や植栽への器材や車の放物やモラルが低い
全体	2,301	70.1	51.9	36.1	36.0	20.9	16.5
ある	1,643	71.2	54.5	39.8	38.0	20.9	17.2
『1年以内』	312	63.8	50.3	41.7	33.0	19.2	17.9
『1年以上前』	1,317	73.2	55.5	39.5	39.5	21.5	17.1
ない	634	68.0	45.6	27.1	31.4	21.0	15.0

と料都 比が市 べ極に 著端部 しくか しくか くわ 不公、 平固、 定業 店使 舗用	屋台は景観上好ましくない	その他	特に問題はない	わからない	無回答	
3.9	2.8	2.5	4.4	6.9	1.7	全体
3.9	2.4	3.0	4.8	4.0	1.5	ある
5.1	1.6	3.8	6.7	2.6	2.6	『1年以内』
3.6	2.7	2.9	4.4	4.2	1.2	『1年以上前』
3.9	3.6	0.9	3.3	13.7	1.6	ない

過去の調査結果をみると、「料金が不明瞭」(36.1%)は平成26年度調査から5.2ポイント増加し、「屋台の周辺での悪臭や道路が汚い」(36.0%)は9.7ポイント減少している。

図表 屋台の問題点【過去の調査との比較】※複数回答

単位：%

	調査数	衛生面での問題がある	トイレがなく放尿の問題がある	料金が不明瞭	屋台の周辺での悪臭や道路が汚い	歩道幅が狭くなることにより通行の邪魔となつて	歩道や植栽への器材や車両の放置、屋台外での飲食など、営業モラルが低い
平成30年度	2,301	70.1	51.9	36.1	36.0	20.9	16.5
平成26年度	2,475	73.1	52.6	30.9	45.7	27.8	20.9

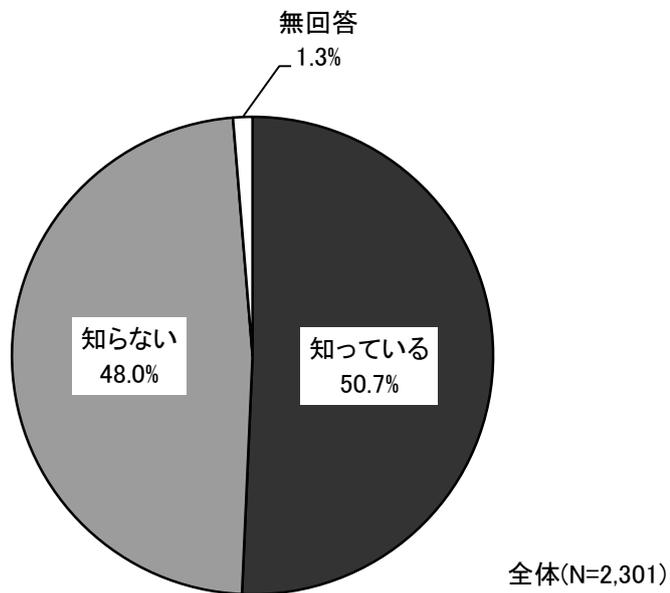
店舗と比べ著しく安く、公平に	使用する部材が極端に安く、固定	都市部や一等地で営業して	屋台は景観上好ましくない	その他	特に問題はない	わからない	無回答	
3.9	2.8	2.5	4.4	6.9	1.7	平成30年度		
6.7	4.0	2.6	2.7	5.5	1.5	平成26年度		

(11) 「福岡市屋台基本条例」の認知度

問11 福岡市では、福岡のまちと屋台が共生していくことを目指して、「福岡市屋台基本条例」（平成25年9月1日施行）を制定しました。あなたはこの条例のことを知っていますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

「福岡市屋台基本条例」の認知度について聞いたところ、平成30年6月の調査時点で「知っている」と回答した人は50.7%、「知らない」と回答した人は48.0%となっている。

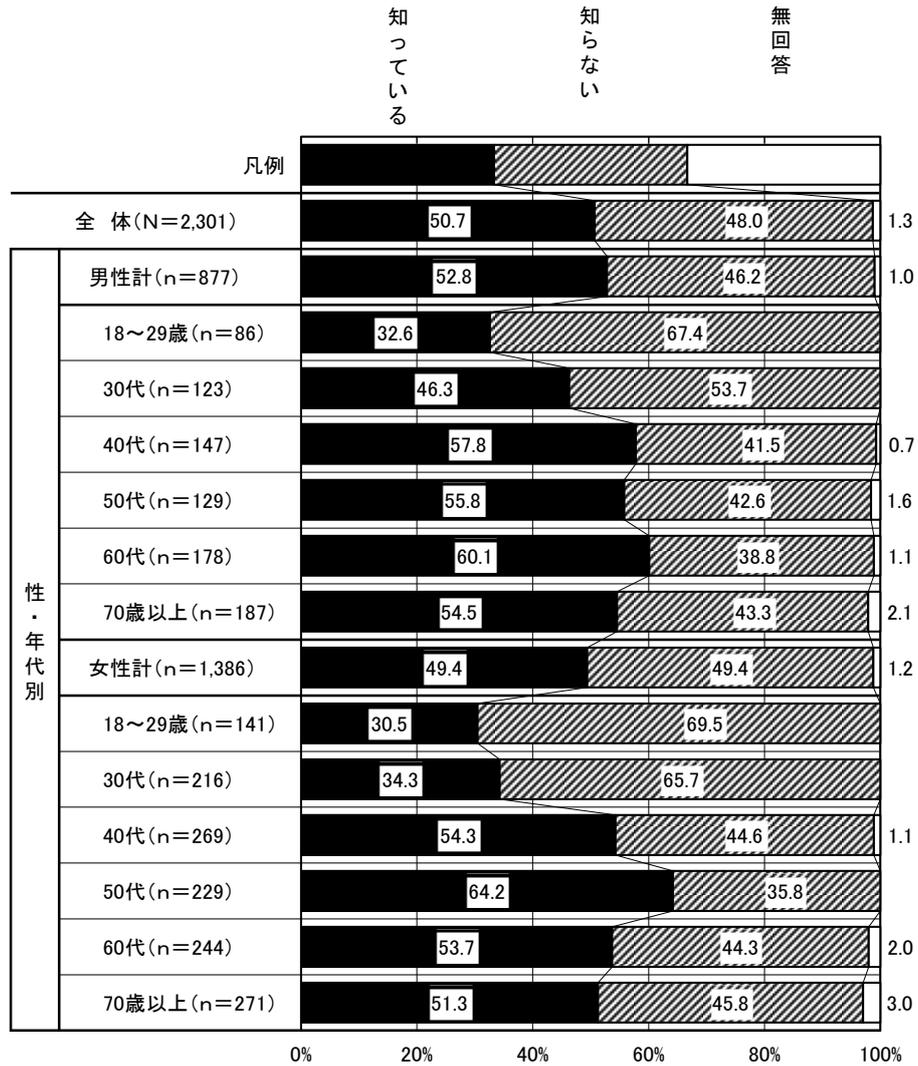
図表 「福岡市屋台基本条例」の認知度【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

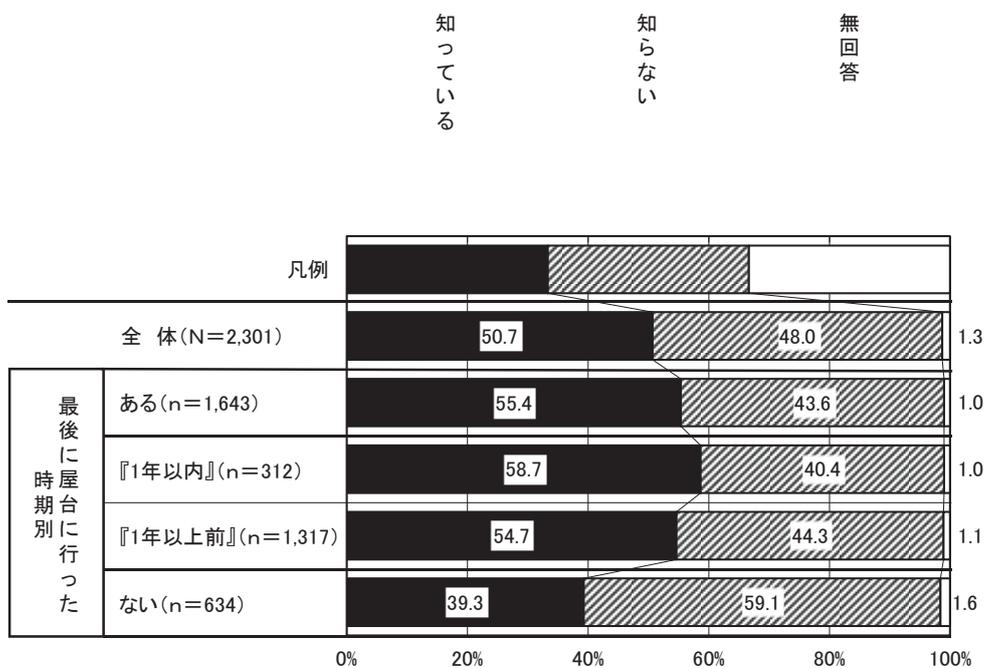
性・年代別にみると、男性 18～29 歳、女性 18 歳～30 代では「知っている」の割合が 3 割台となっており、他の性・年代に比べて低くなっている。

図表 「福岡市屋台基本条例」の認知度【性・年代別】



最後に屋台に行った時期（問 7-1 51 頁参照）別にみると、「知っている」の割合は、『1年以内』が 58.7%となっており、「ない」（39.3%）と回答した人に比べて高くなっている。

図表 「福岡市屋台基本条例」の認知度【最後に屋台に行った時期別】

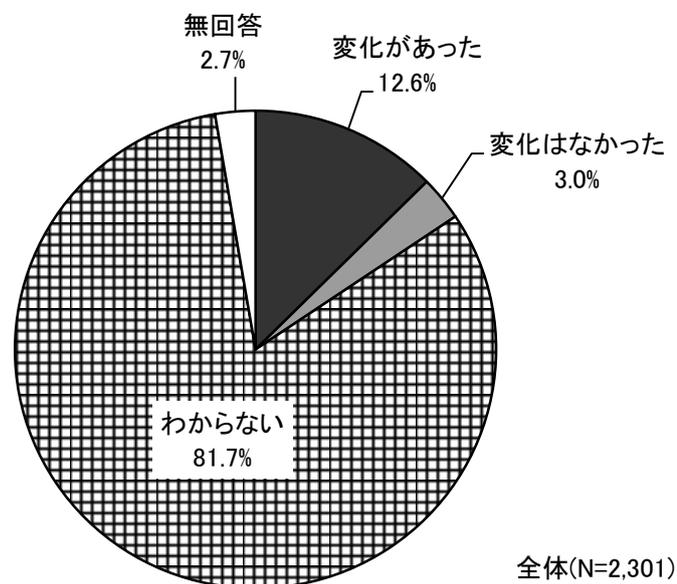


(12)「福岡市屋台基本条例」施行後の変化

問12 あなたは「福岡市屋台基本条例」が平成25年9月1日（概ね5年前）に施行されてから、問12-1のような屋台の営業状況に変化があったと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

「福岡市屋台基本条例」施行後の変化について聞いたところ、「変化があった」と回答した人は12.6%、「変化はなかった」と回答した人は3.0%となっている。また、「わからない」と回答した人は81.7%となっている。

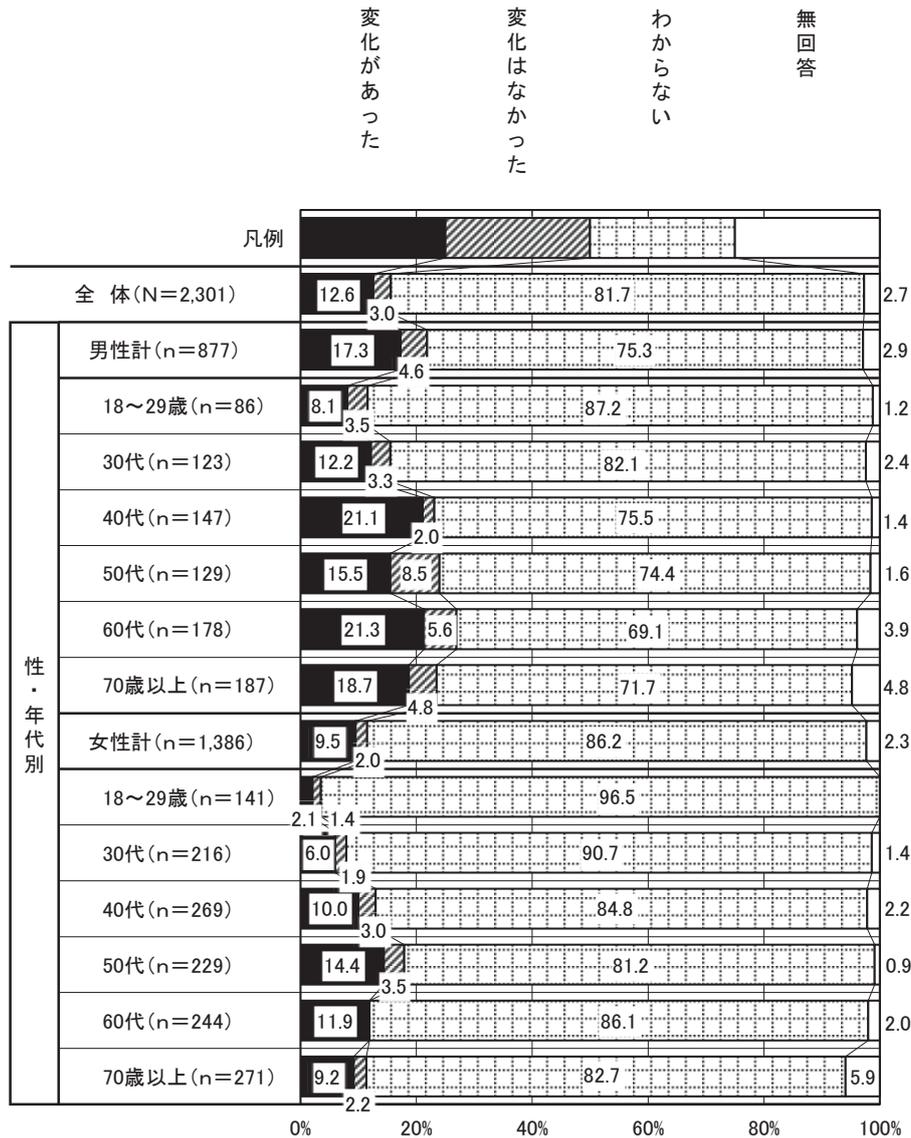
図表 「福岡市屋台基本条例」施行後の変化【全体】



性別にみると、女性では「わからない」(86.2%)の割合が男性(75.3%)に比べて10.9ポイント高くなっている。

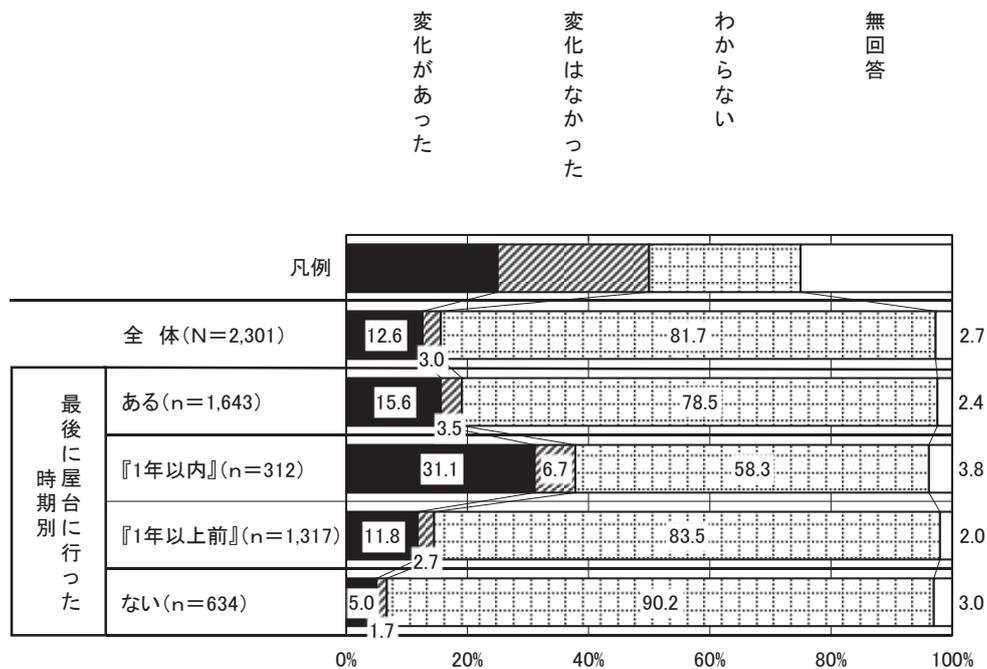
性・年代別にみると、男性40代・60代では「変化があった」の割合が2割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 「福岡市屋台基本条例」施行後の変化【性・年代別】



最後に屋台に行った時期（問 7-1 51 頁参照）別にみると、『1年以内』では「変化があった」の割合は31.1%となっており、『1年以上前』（11.8%）、「ない」（5.0%）と回答した人に比べて高くなっている。

図表 「福岡市屋台基本条例」施行後の変化【最後に屋台に行った時期別】



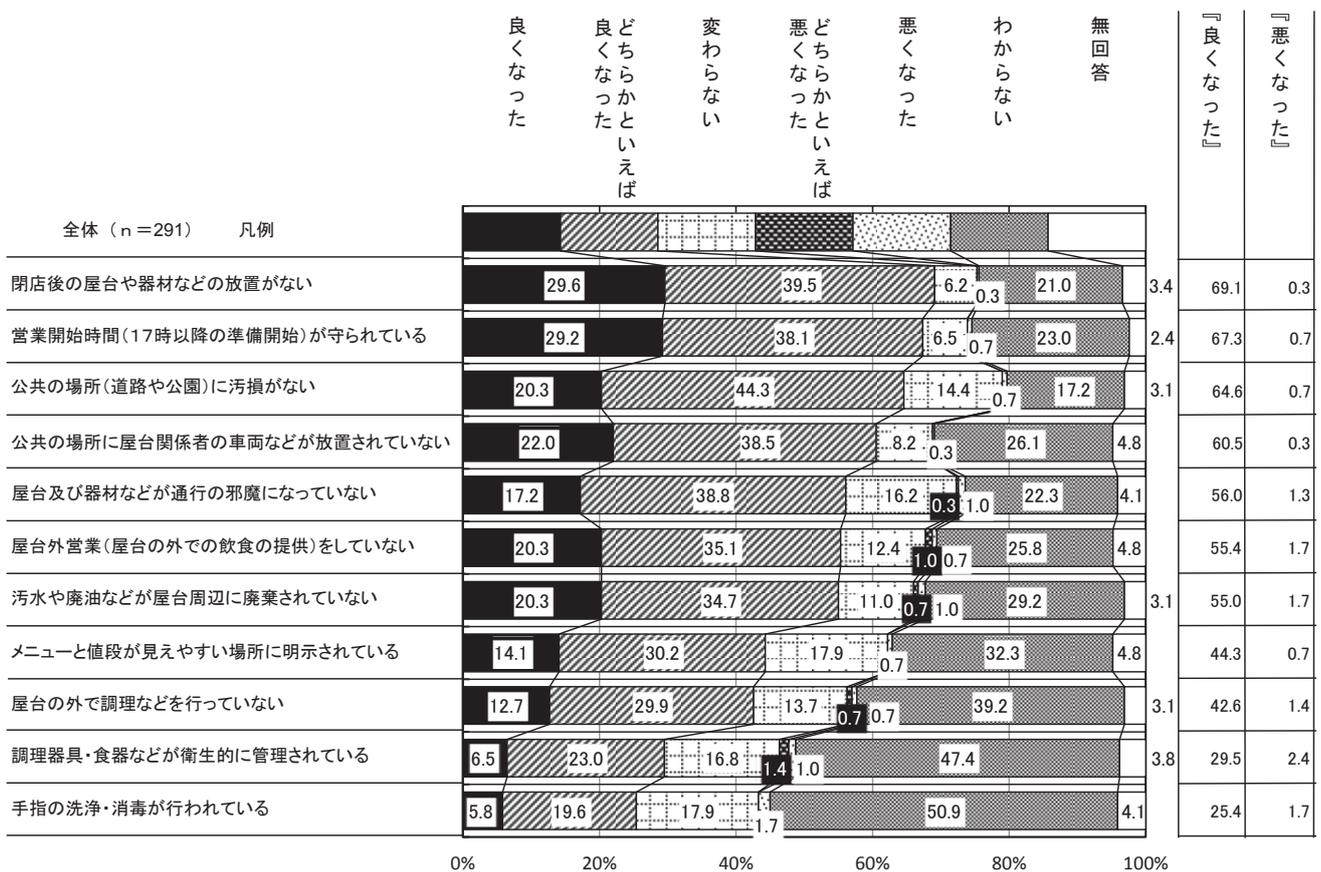
(13) 条例施行後の営業状況の変化

問12-1 《 問12で「1」と回答した方におたずねします。 》

どのような変化を感じますか。次の(1)～(11)のそれぞれの項目について、あてはまるものを**1つつ**選び、番号に○をつけてください。

「福岡市屋台基本条例」施行後の屋台営業状況について「変化があった」と回答した人に、項目別にどのように変化したかを聞いたところ、『良くなった』(=「良くなった」+「どちらかといえば良くなった」)と回答した人の割合は、「閉店後の屋台や器材などの放置がない」が69.1%と最も高く、次いで「営業開始時間(17時以降の準備開始)が守られている」(67.3%)、「公共の場所(道路や公園)に汚損がない」(64.6%)となっている。

図表 条例施行後の営業状況【全体】

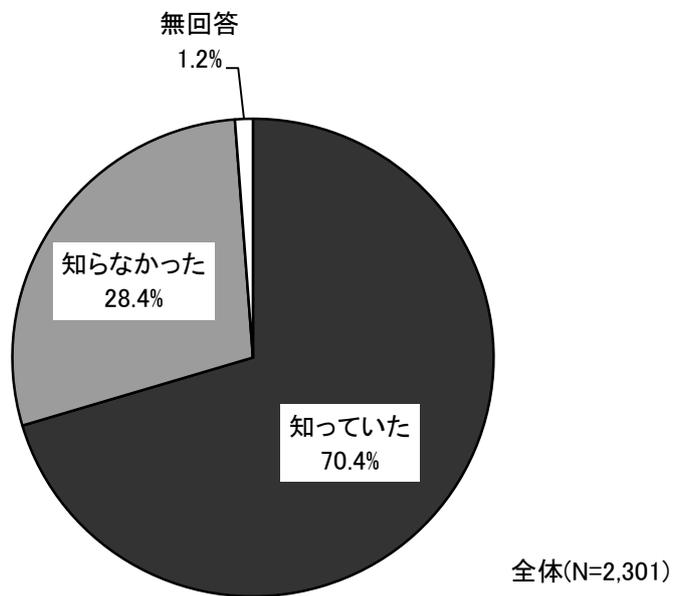


(14) 屋台公募の認知度

問13 福岡市では、平成28年度に初めて屋台の公募（新規屋台の募集）を実施しました。あなたは、屋台の公募が行われたことを知っていましたか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台公募の認知度について聞いたところ、「知っていた」と回答した人は70.4%、「知らなかった」と回答した人は28.4%となっている。

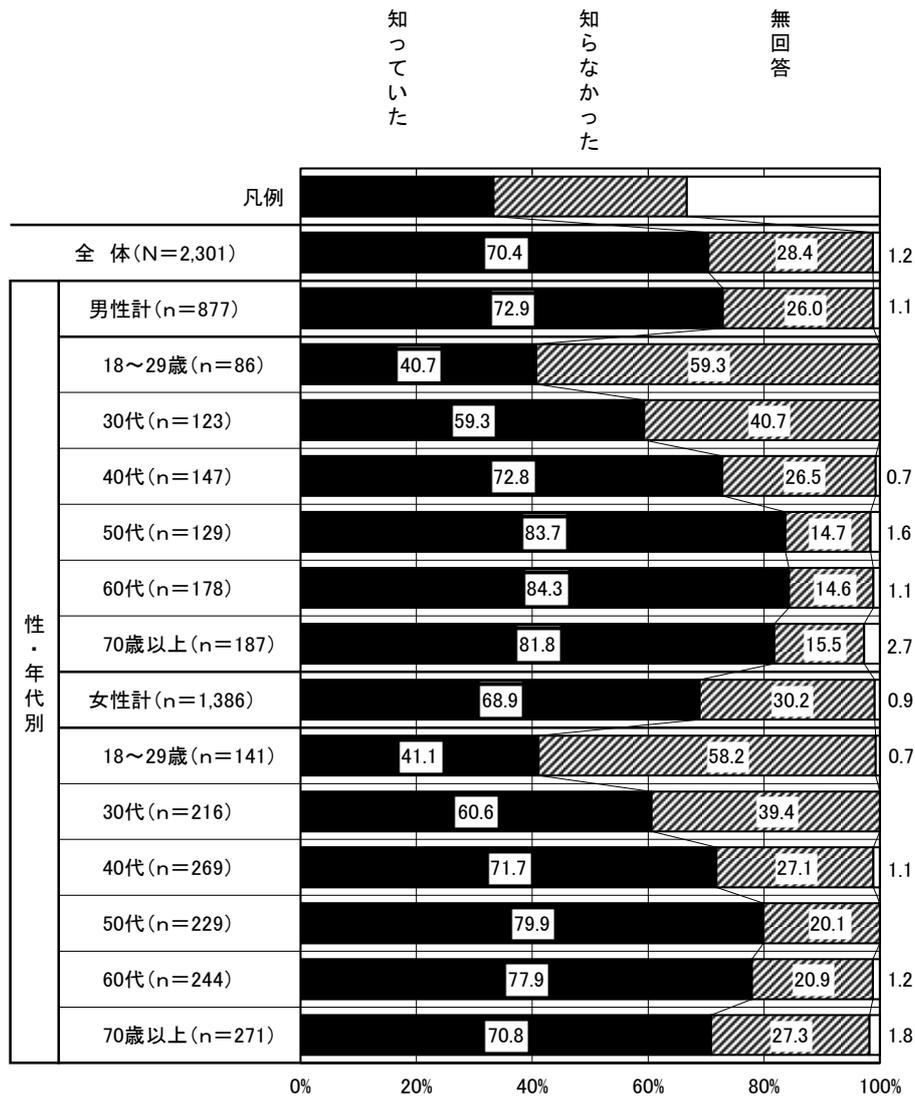
図表 屋台公募の認知度【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 50 代以上では「知っていた」の割合が 8 割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。また、男女ともに 18～29 歳では「知らなかった」の割合が約 6 割となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台公募の認知度【性・年代別】

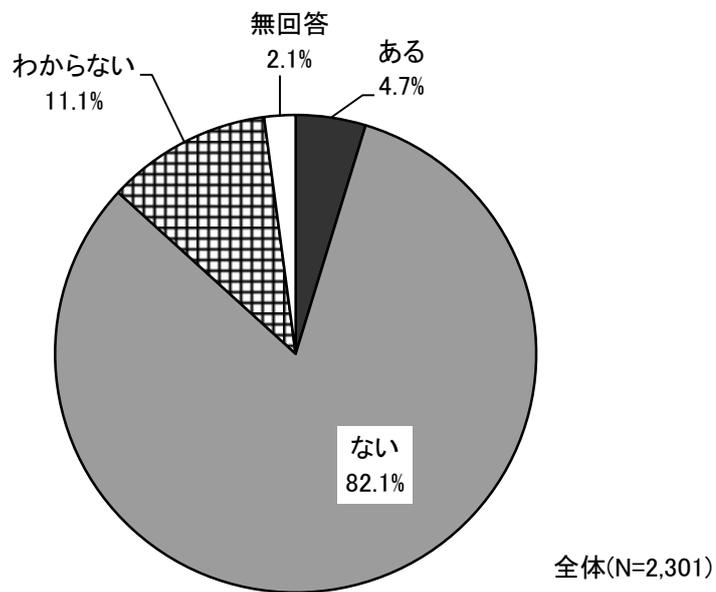


(15) 公募屋台に行ったことがあるか

問14 公募で選定された屋台（以下、「公募屋台」という。）に行ったことがありますか。
あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

公募屋台に行ったことがあるかについて聞いたところ、「ある」と回答した人は4.7%、「ない」と回答した人は82.1%となっている。また、「わからない」と回答した人は11.1%となっている。

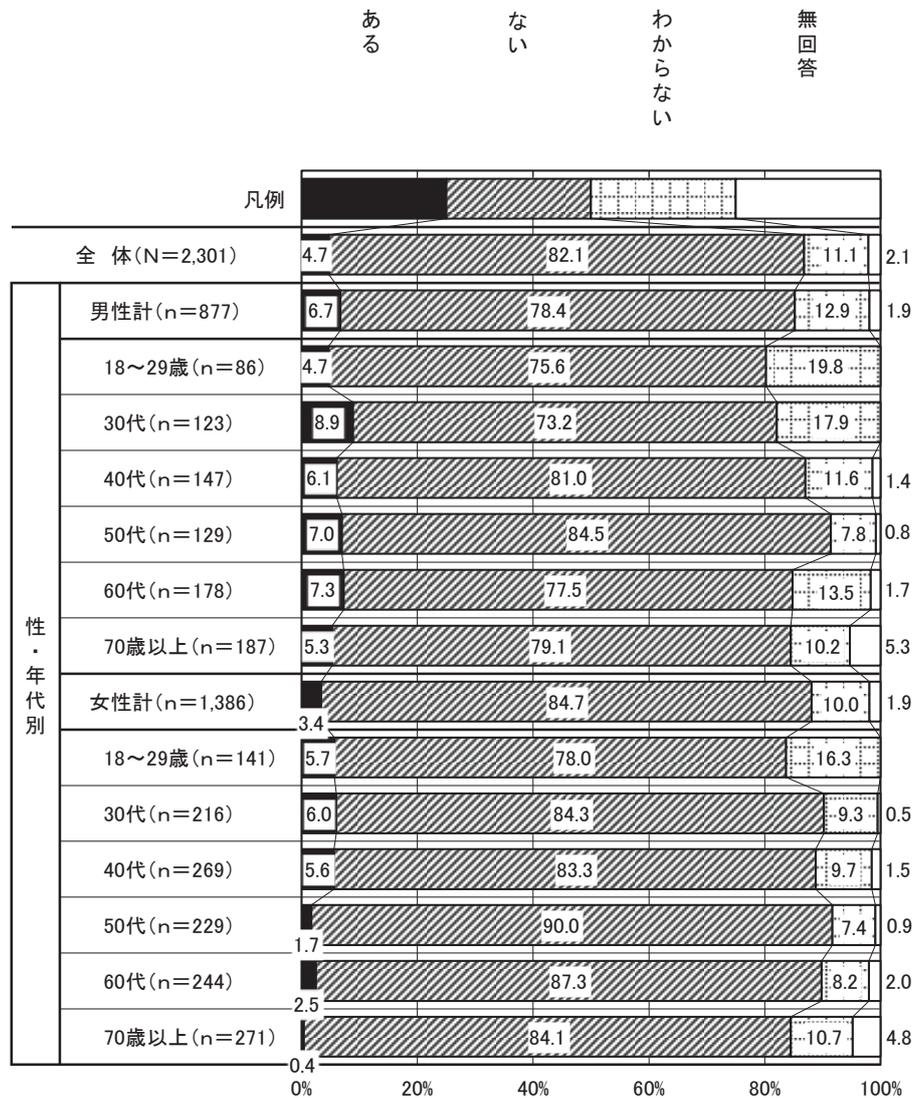
図表 公募屋台に行ったことがあるか【全体】



性別にみると、女性では「ない」(84.7%)の割合が男性(78.4%)に比べて6.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、女性50代以上で「ある」の割合が他の年代に比べて低くなっている。

図表 公募屋台に行ったことがあるか【性・年代別】

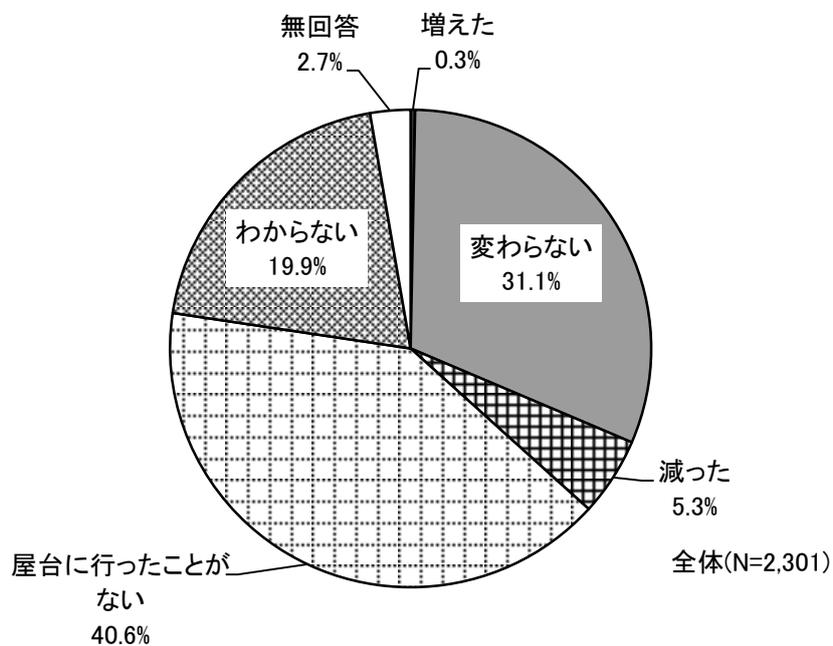


(16) 公募屋台の営業開始以降における屋台の利用状況

問15 公募屋台が営業開始した昨年（平成29年）4月以前と比べ、屋台（公募屋台に限らない）に行く回数は増えましたか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

公募屋台の営業開始以降における屋台の利用状況について聞いたところ、「屋台に行ったことがない」と回答した人が40.6%と最も多く、次いで「変わらない」(31.1%),「わからない」(19.9%)となっている。

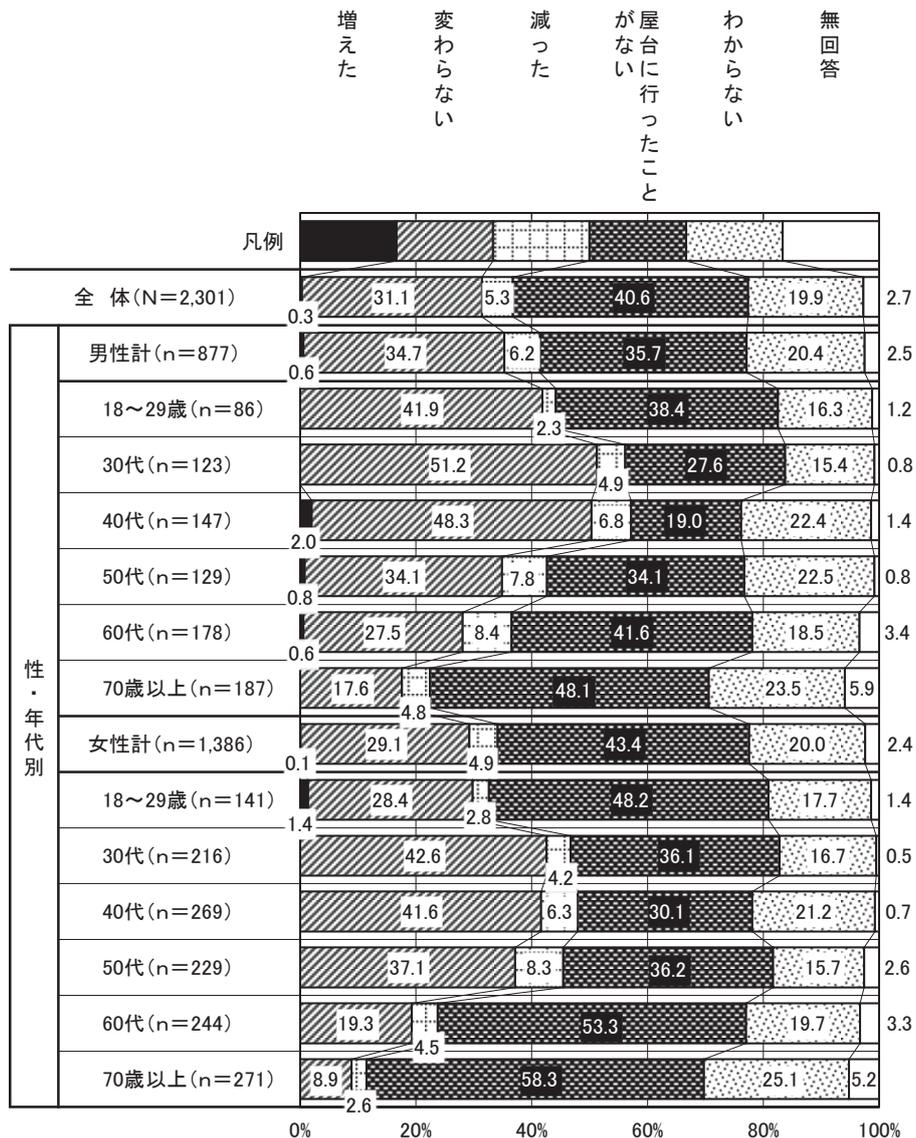
図表 公募屋台の営業開始以降における屋台の利用状況【全体】



性別にみると、女性では「屋台に行っていない」(43.4%)の割合が男性(35.7%)に比べて7.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性30代・40代では「変わらない」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 公募屋台の営業開始以降における屋台の利用状況【性・年代別】

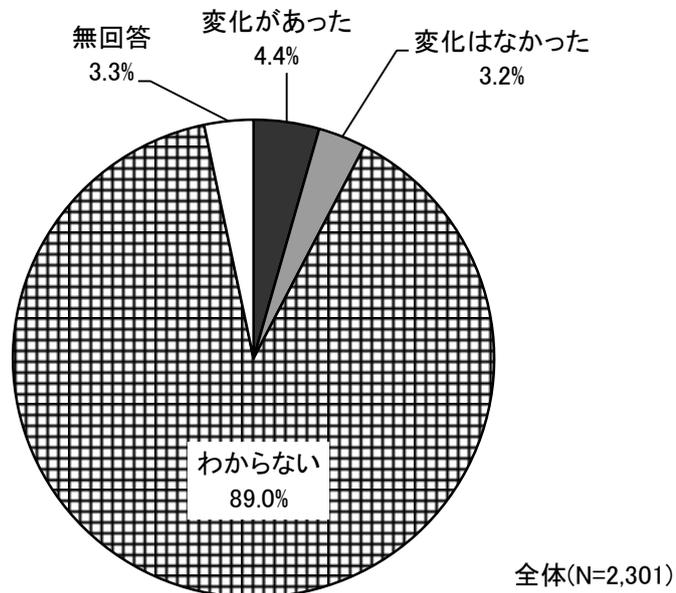


(17) 公募屋台の営業開始以降における屋台全体の変化

問16 公募屋台が営業を開始した昨年（平成29年）4月以降，屋台（公募屋台に限らない）の営業状況や雰囲気，客層などに変化があったと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び，番号に○をつけてください。

公募屋台の営業開始以降における屋台全体の変化について聞いたところ，「変化があった」と回答した人は4.4%，「変化はなかった」と回答した人は3.2%となっている。また，「わからない」と回答した人は89.0%となっている。

図表 公募屋台の営業開始以降における屋台全体の変化【全体】



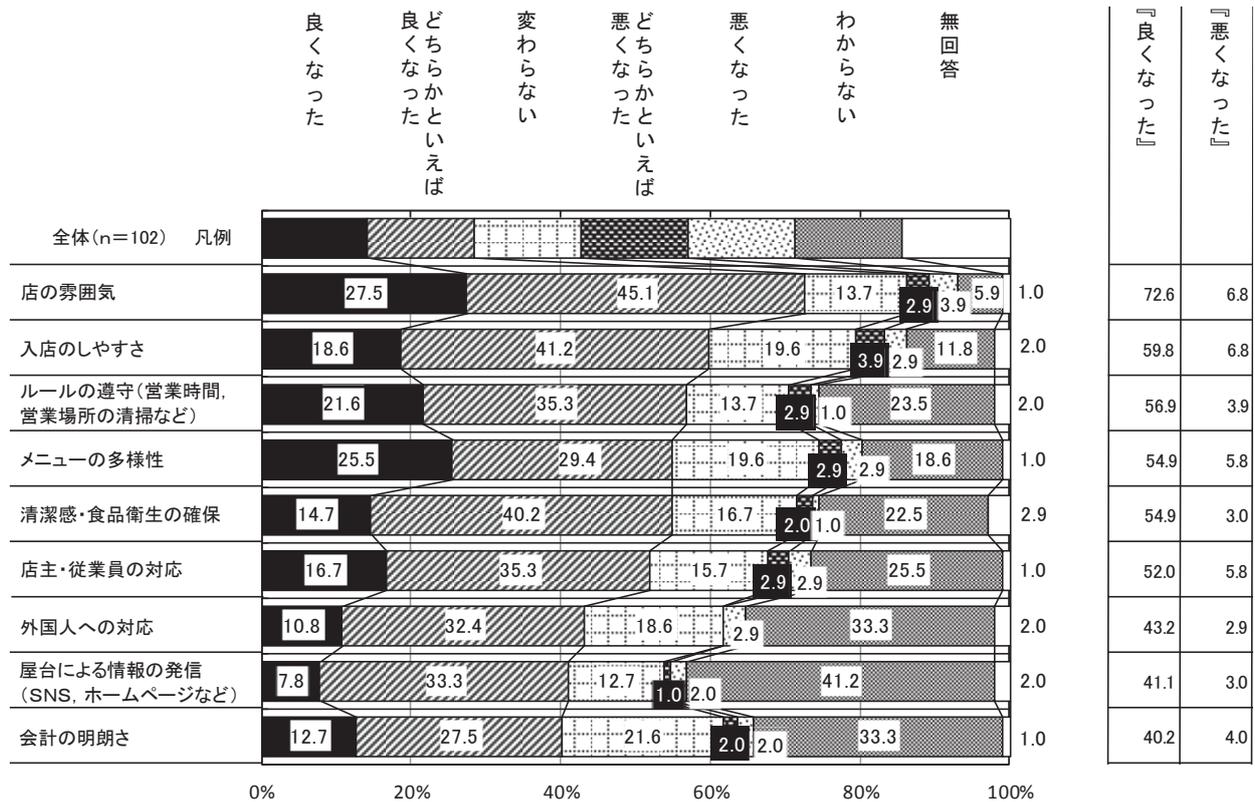
(18) 公募屋台の営業開始以降における営業状況の変化

問16-1 《 問16で「1」と回答した方におたずねします。 》

営業状況などについて、どのような変化を感じますか。次の(1)～(9)のそれぞれの項目について、あてはまるものを**1つつ**選び、番号に○をつけてください。

公募屋台の営業開始以降における営業状況の変化について聞いたところ、『良くなった』(=「良くなった」+「どちらかといえば良くなった」)と回答した人の割合は、「店の雰囲気」が72.6%と最も高く、次いで「入店のしやすさ」(59.8%)、「ルールの遵守(営業時間, 営業場所の清掃など)」(56.9%)となっている。

図表 公募屋台の営業開始以降における営業状況の変化【全体】



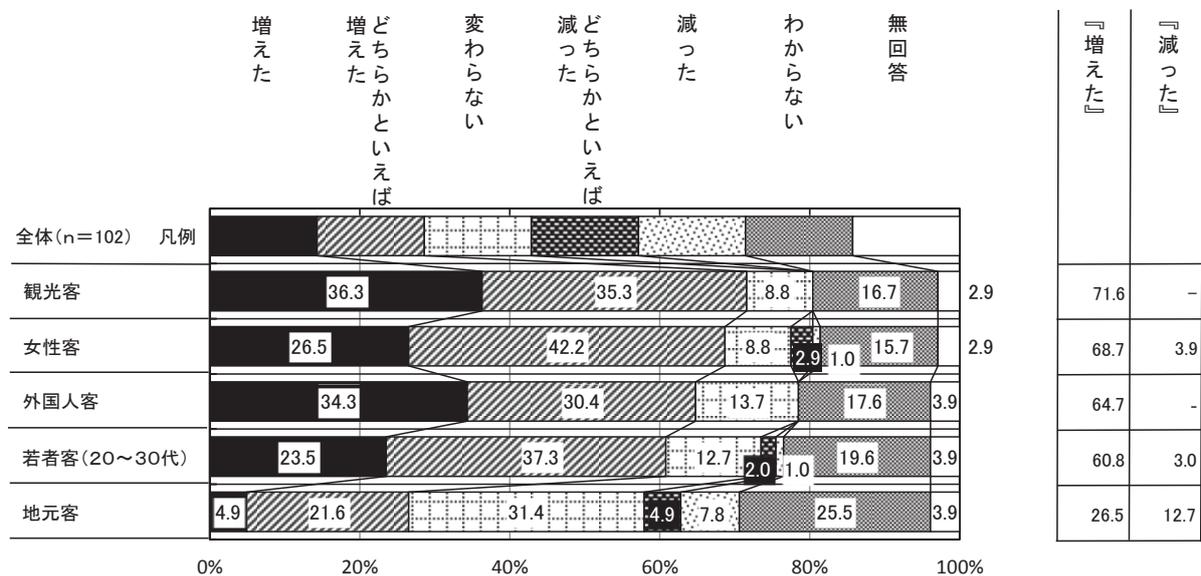
(19) 公募屋台の営業開始以降における客層の変化

問16-2 《 問16で「1」と回答した方におたずねします。 》

客層について、どのような変化を感じますか。次の(1)～(5)のそれぞれの項目について、あてはまるものを**1つつ**選び、番号に○をつけてください。

公募屋台の営業開始以降における客層の変化について聞いたところ、『増えた』(=「増えた」+「どちらかといえば増えた」と回答した人の割合は、「観光客」が71.6%と最も高く、次いで「女性客」(68.7%)、「外国人客」(64.7%)となっている。

図表 公募屋台の営業開始以降における客層の変化【全体】

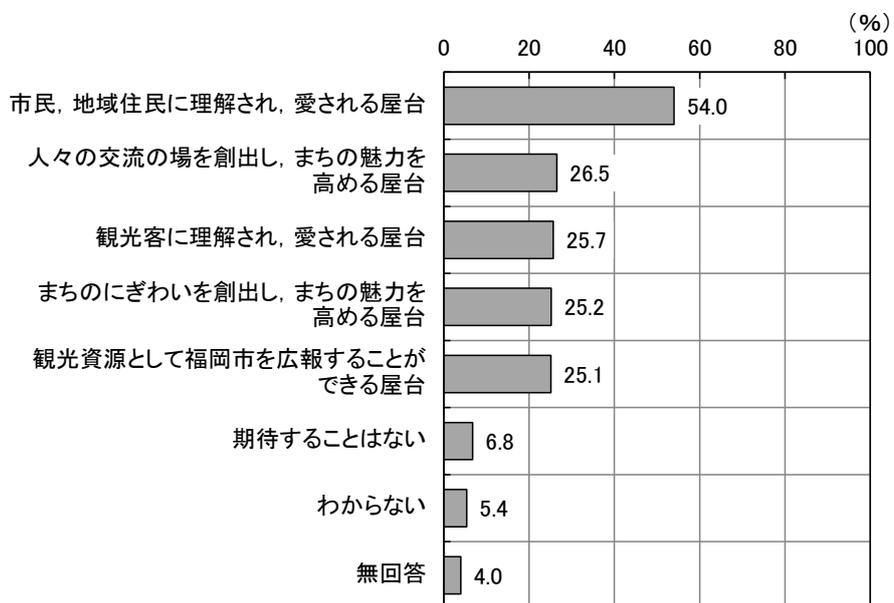


(20) 屋台に期待すること

問17 「福岡市屋台基本条例」では、以下の「1」～「5」のような将来像を掲げています。これらの中であなたが期待することは何ですか。あてはまるものを**2つまで**選び、番号に○をつけてください。

屋台に期待することについて聞いたところ、「市民、地域住民に理解され、愛される屋台」と回答した人が 54.0%と最も多く、次いで「人々の交流の場を創出し、まちの魅力を高める屋台」(26.5%)、「観光客に理解され、愛される屋台」(25.7%) となっている。

図表 屋台に期待すること【全体】※複数回答（2つまで）



全体(N=2,301)

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 60 代では「観光客に理解され、愛される屋台」の割合が 32.0%となっており、他の性・年代と比べて高くなっている。また、男性 30 代、女性 18～29 歳では「まちなぎわいを創出し、まちの魅力を高める屋台」の割合が 3 割台後半となっており、他の性・年代と比べて高くなっている。

図表 屋台に期待すること【性・年代別】※複数回答（2つまで）

単位：%

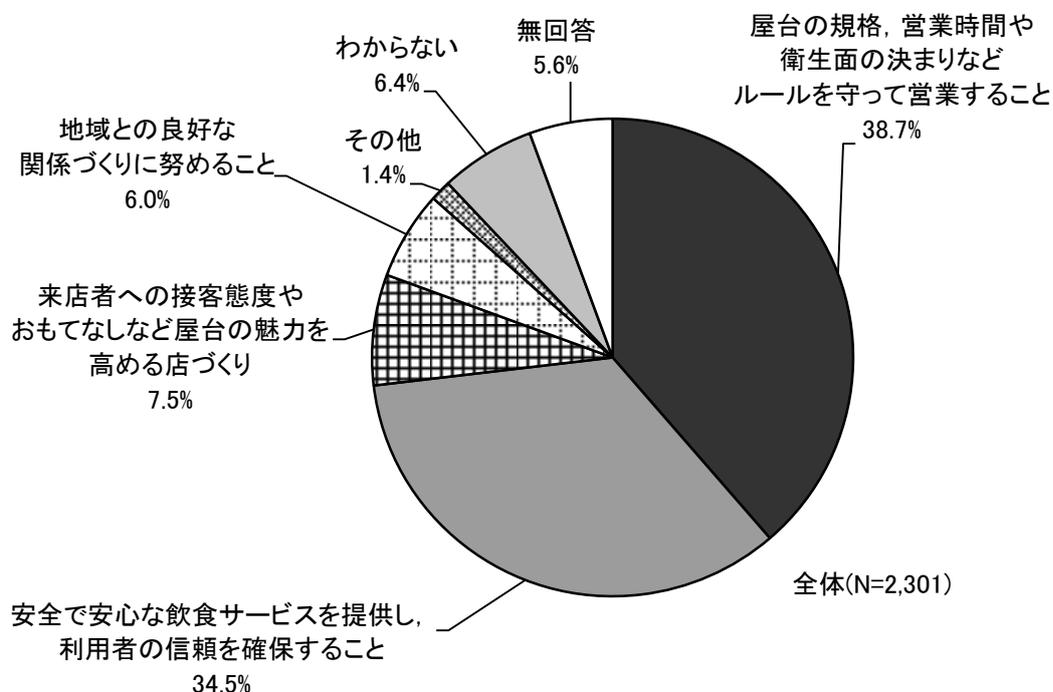
	調査数	市民、地域住民に理解され、愛される屋台	人々の交流の場を創出し、まちの魅力を高める屋台	観光客に理解され、愛される屋台	まちなぎわいを創出し、まちの魅力を高める屋台	観光資源として福岡市を広く紹介できる屋台	期待することはない	わからない	無回答
全体	2,301	54.0	26.5	25.7	25.2	25.1	6.8	5.4	4.0
男性計	877	52.2	24.6	26.1	25.9	24.7	8.6	5.0	4.0
18～29歳	86	47.7	33.7	20.9	31.4	26.7	5.8	7.0	1.2
30代	123	54.5	21.1	24.4	37.4	30.9	5.7	2.4	1.6
40代	147	57.8	25.9	28.6	34.7	22.4	4.1	2.7	4.8
50代	129	47.3	21.7	26.4	22.5	29.5	13.2	3.1	4.7
60代	178	51.7	25.8	32.0	23.0	23.0	7.3	7.3	3.4
70歳以上	187	54.0	21.9	24.1	15.0	21.9	11.8	5.3	7.0
女性計	1,386	55.8	27.9	25.5	25.0	25.3	5.6	5.6	3.5
18～29歳	141	56.0	26.2	28.4	38.3	17.7	3.5	6.4	1.4
30代	216	56.0	28.7	27.8	29.6	23.1	5.1	3.7	3.2
40代	269	51.3	27.1	23.4	29.4	29.7	4.8	3.7	3.7
50代	229	62.4	31.9	25.3	25.8	27.5	2.2	4.4	1.3
60代	244	56.1	30.3	26.6	18.9	25.8	7.0	5.7	4.1
70歳以上	271	54.2	23.2	24.0	14.4	24.4	8.9	9.2	5.9

(21) 屋台の将来像達成のため、重要と思う屋台営業者の取り組み

問18 屋台の将来像の達成のために、屋台営業者のどのような取り組みが特に重要だと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台の将来像達成のため、重要と思う屋台営業者の取り組みについて聞いたところ、「屋台の規格、営業時間や衛生面の決まりなどルールを守って営業すること」と回答した人が38.7%と最も多く、次いで「安全で安心な飲食サービスを提供し、利用者の信頼を確保すること」(34.5%)となっている。

図表 屋台の将来像達成のため、重要と思う屋台営業者の取り組み【全体】



性別にみると、女性では「屋台の規格、営業時間や衛生面の決まりなどルールを守って営業すること」(41.8%)の割合が男性(34.5%)に比べて7.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性18～29歳では「来店者への接客態度やおもてなしなど屋台の魅力を高める店づくり」の割合が16.3%となっており、他の性・年代と比べて高くなっている。

図表 屋台の将来像達成のため、重要と思う屋台営業者の取り組み【性・年代別】

単位：%

	調査数	衛生面の決まりなど営業すること	屋台の規格、営業時間や	確保すること	安全で安心な飲食サービスの信頼を	おもてなしなど接客態度や魅力	来店者への接客態度や魅力	地域との良好な関係づくり	その他	わからない	無回答
全体	2,301	38.7	34.5	7.5	6.0	1.4	6.4	5.6			
男性計	877	34.5	34.9	8.6	7.9	2.2	5.7	6.3			
18～29歳	86	40.7	22.1	16.3	8.1	1.2	8.1	3.5			
30代	123	33.3	34.1	8.9	13.0	0.8	5.7	4.1			
40代	147	36.1	33.3	10.9	9.5	2.0	1.4	6.8			
50代	129	27.9	42.6	7.0	7.8	3.9	3.9	7.0			
60代	178	31.5	39.3	10.1	5.1	2.2	6.2	5.6			
70歳以上	187	37.4	34.2	3.7	5.9	1.6	8.0	9.1			
女性計	1,386	41.8	34.3	6.9	4.8	0.9	6.6	4.6			
18～29歳	141	43.3	31.2	9.9	2.8	0.7	6.4	5.7			
30代	216	39.4	37.0	7.9	5.6	1.9	5.6	2.8			
40代	269	43.5	32.0	7.8	4.8	1.5	4.1	6.3			
50代	229	44.5	38.0	8.3	4.4	0.4	3.1	1.3			
60代	244	40.2	38.9	4.1	4.1	0.8	6.6	5.3			
70歳以上	271	41.3	28.4	5.2	6.6	0.4	12.2	5.9			

最後に屋台に行った時期（問 7-1 51 頁参照）別にみると、「屋台の規格、営業時間や衛生面の決まりなどルールを守って営業すること」について、『1年以内』が 29.5%となっており、他と比べて低くなっている。一方、「安全で安心な飲食サービスを提供し、利用者の信頼を確保すること」について、屋台に行ったことが「ある」と回答した人で 37.5%となっており、「ない」（27.3%）と回答した人に比べて高くなっている。

図表 屋台の将来像達成のため、重要と思う屋台営業者の取り組み

【最後に屋台に行った時期別】

単位：%

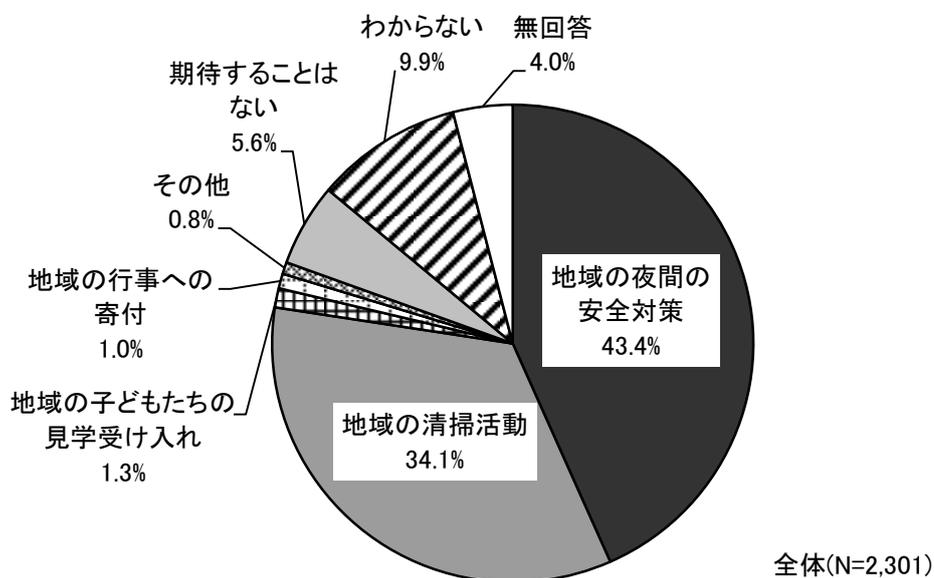
	調査数	衛生面の決まりなど営業すること	屋台の規格、営業時間や	確保すること	安全で安心な飲食サービスの信頼を	おもてなしなど接客態度や魅力	来店者への接客態度や魅力	地域との良好な関係づくり	その他	わからない	無回答
全体	2,301	38.7	34.5	7.5	6.0	1.4	6.4	5.6			
ある	1,643	36.9	37.5	8.0	6.3	1.6	4.1	5.5			
『1年以内』	312	29.5	39.1	13.5	8.7	2.6	0.6	6.1			
『1年以上前』	1,317	38.7	37.3	6.8	5.5	1.4	4.8	5.4			
ない	634	43.5	27.3	6.5	4.9	0.8	11.7	5.4			

(22) 屋台営業者に地域への貢献として期待すること

問19 「福岡市屋台基本条例」では、屋台営業者は地域への貢献に努めなければならないと定めています。屋台営業者の地域への貢献として、あなたが特に期待することはどのようなことですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台営業者に地域への貢献として期待することについて聞いたところ、「地域の夜間の安全対策」と回答した人が43.4%と最も多く、次いで「地域の清掃活動」(34.1%)となっている。

図表 屋台営業者に地域への貢献として期待すること【全体】



性別にみると、女性では「地域の夜間の安全対策」（46.3％）の割合が男性（39.7％）に比べて6.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性30代では「地域の清掃活動」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台営業者に地域への貢献として期待すること【性・年代別】

単位：％

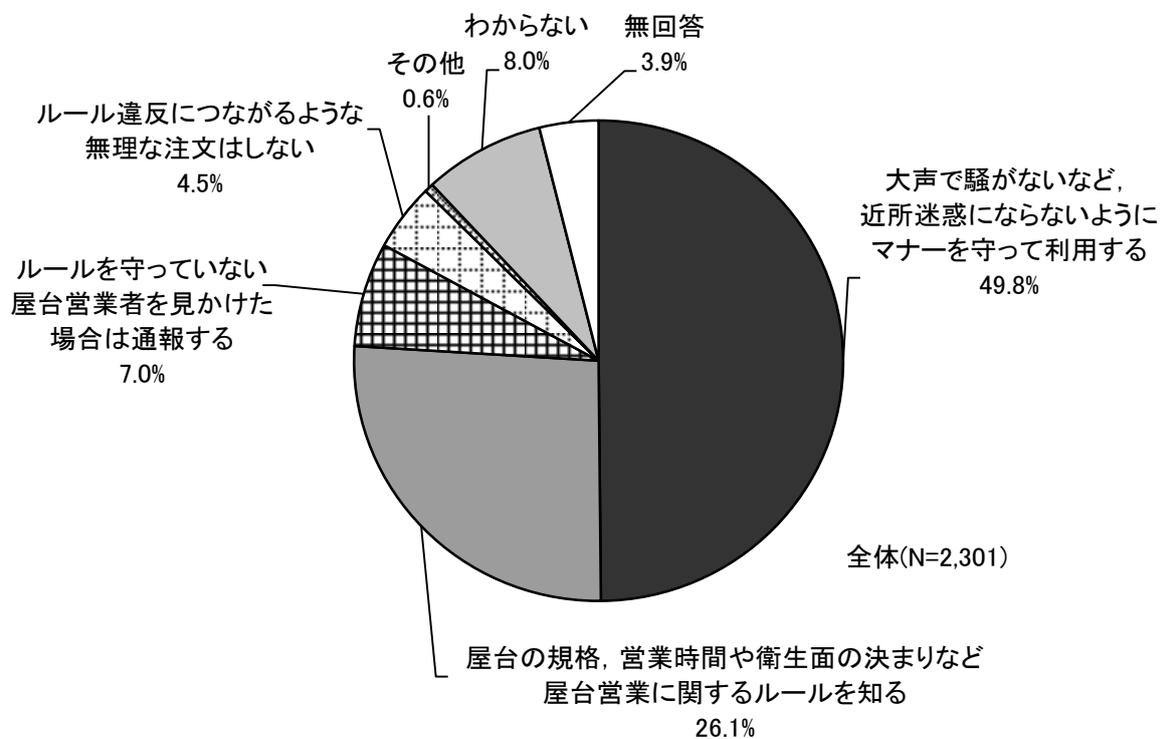
	調査数	地域の夜間の安全対策	地域の清掃活動	地域の子どもたちの見学受け入れ	地域の行事への寄付	その他	期待することはない	わからない	無回答
全体	2,301	43.4	34.1	1.3	1.0	0.8	5.6	9.9	4.0
男性計	877	39.7	35.1	1.4	1.0	1.3	7.8	9.6	4.2
18～29歳	86	36.0	39.5	2.3	2.3	1.2	4.7	11.6	2.3
30代	123	32.5	47.2	0.8	1.6	0.8	8.9	4.9	3.3
40代	147	44.9	31.3	4.1	-	1.4	8.2	6.8	3.4
50代	129	41.9	36.4	0.8	0.8	1.6	7.0	10.1	1.6
60代	178	39.9	33.7	0.6	2.2	1.7	7.3	10.7	3.9
70歳以上	187	41.2	29.4	0.5	-	1.1	7.5	11.2	9.1
女性計	1,386	46.3	33.6	1.2	0.9	0.6	4.1	10.0	3.2
18～29歳	141	48.2	32.6	1.4	1.4	-	4.3	9.9	2.1
30代	216	44.9	36.6	2.8	2.3	0.5	4.2	6.9	1.9
40代	269	42.4	40.9	1.5	0.7	1.5	4.8	4.8	3.3
50代	229	49.8	38.4	0.9	-	0.4	2.2	8.3	-
60代	244	52.0	29.9	-	0.8	0.4	3.7	10.2	2.9
70歳以上	271	42.4	24.7	1.1	-	0.4	5.5	18.5	7.4

(23) 屋台の将来像達成のため、重要と思う利用者の取り組み

問20 屋台の将来像の達成のために、利用者のどのような取り組みが特に重要だと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台の将来像達成のため、重要と思う利用者の取り組みについて聞いたところ、「大声で騒がないなど、近所迷惑にならないようにマナーを守って利用する」と回答した人が49.8%と最も多く、次いで「屋台の規格、営業時間や衛生面の決まりなど屋台営業に関するルールを知る」(26.1%)となっている。

図表 屋台の将来像達成のため、重要と思う利用者の取り組み【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、女性 50 代・60 代では「屋台の規格、営業時間や衛生面の決まりなど屋台営業に関するルールを知る」の割合が3割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台の将来像達成のため、重要と思う利用者の取り組み【性・年代別】

単位：%

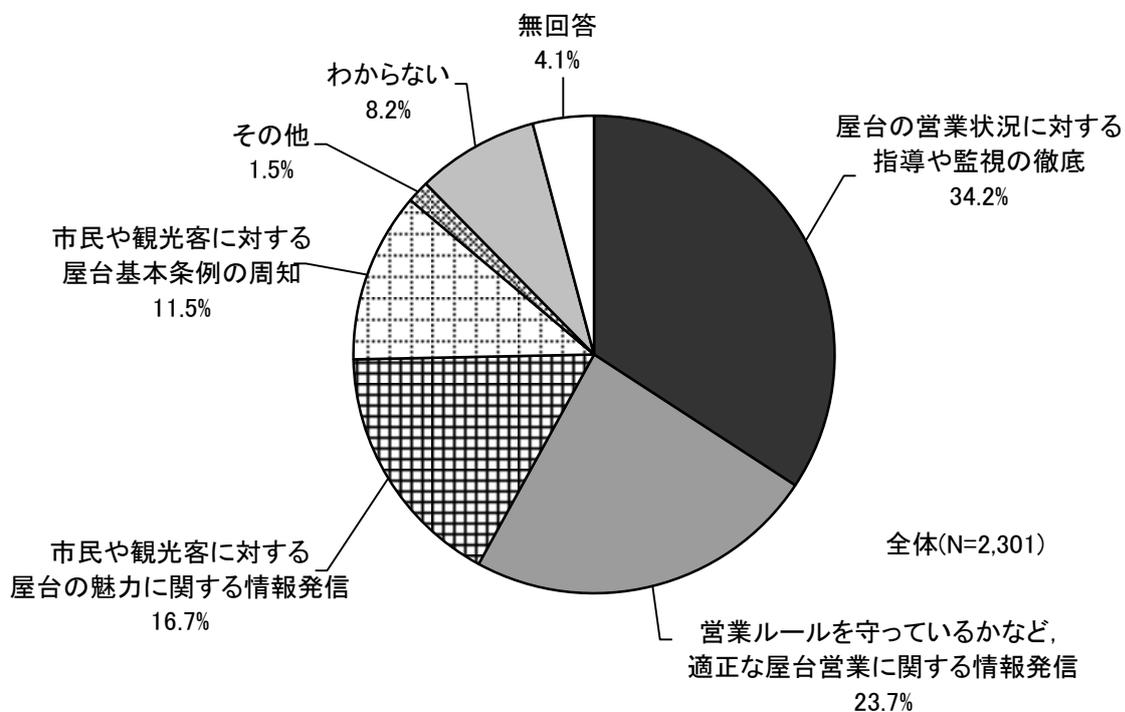
	調査数	迷惑にならないようにする	大声で騒がないようにする	衛生面の決まりなどを知る	屋台の規格、営業時間や衛生面の決まりなどを知る	報告者を見かけた場合は通報する	ルールを守っていない場合は通	な無理な注文はしないよう	その他	わからない	無回答
全体	2,301	49.8	26.1	7.0	4.5	0.6	8.0	3.9			
男性計	877	51.1	23.5	6.3	5.1	1.1	8.4	4.4			
18～29歳	86	57.0	17.4	7.0	7.0	-	9.3	2.3			
30代	123	50.4	25.2	4.1	7.3	2.4	6.5	4.1			
40代	147	49.7	28.6	7.5	3.4	2.0	6.8	2.0			
50代	129	55.8	20.9	6.2	5.4	1.6	7.0	3.1			
60代	178	55.1	23.6	3.4	5.6	0.6	7.9	3.9			
70歳以上	187	46.0	21.4	8.0	4.3	0.5	11.2	8.6			
女性計	1,386	49.9	27.9	7.4	4.2	0.3	7.5	2.9			
18～29歳	141	50.4	25.5	7.1	6.4	-	9.2	1.4			
30代	216	56.0	28.7	5.6	2.8	0.5	4.2	2.3			
40代	269	53.5	23.8	8.6	3.3	1.1	6.3	3.3			
50代	229	55.5	31.4	4.4	5.7	-	3.1	-			
60代	244	47.5	32.4	6.6	3.7	-	7.4	2.5			
70歳以上	271	39.1	26.2	11.1	3.7	-	13.7	6.3			

(24) 屋台の将来像実現のため、重要と思う市（行政）の取り組み

問21 屋台の将来像の実現のために、市（行政）はどのように取り組んでいくことが特に重要だと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

屋台の将来像実現のため、重要と思う市（行政）の取り組みについて聞いたところ、「屋台の営業状況に対する指導や監視の徹底」と回答した人が34.2%と最も多く、次いで「営業ルールを守っているかなど、適正な屋台営業に関する情報発信」(23.7%)、「市民や観光客に対する屋台の魅力に関する情報発信」(16.7%)となっている。

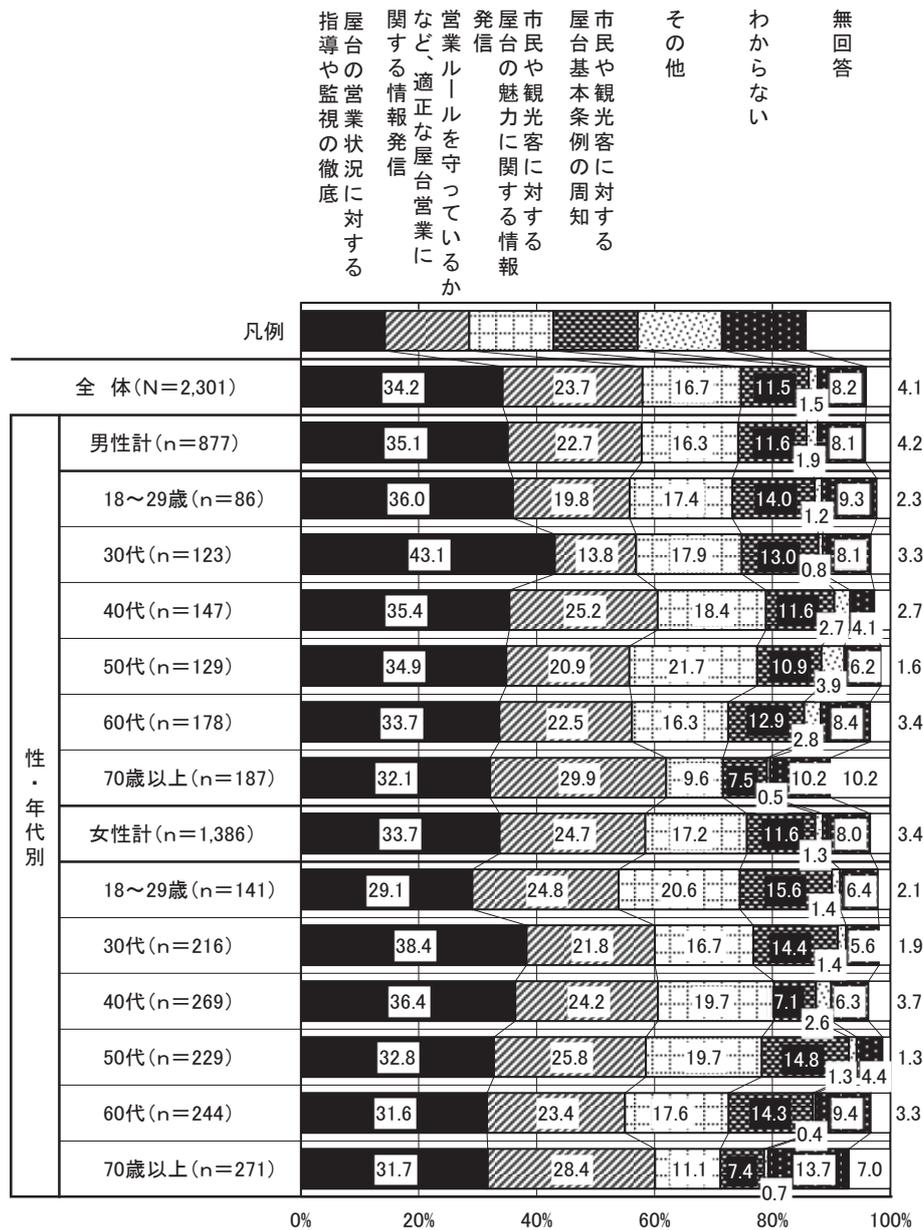
図表 屋台の将来像実現のため、重要と思う市（行政）の取り組み【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 30 代では「屋台の営業状況に対する指導や監視の徹底」の割合が 43.1%となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 屋台の将来像実現のため、重要と思う市（行政）の取り組み【性・年代別】



最後に屋台に行った時期（問 7-1 51 頁参照）別にみると、『1 年以内』では「市民や観光客に対する屋台の魅力に関する情報発信」の割合が 25.6%と、他と比べ高くなっている。

図表 屋台の将来像実現のため、重要と思う市（行政）の取り組み

【最後に屋台に行った時期別】

単位：%

	調査数	屋台の営業状況に対する指導や監視の徹底	営業適正な屋台営業に関する情報発信	市民や観光客に関する情報発信	市民や観光客の周知	その他	わからない	無回答
全体	2,301	34.2	23.7	16.7	11.5	1.5	8.2	4.1
ある	1,643	34.4	23.3	18.6	12.4	1.8	6.3	3.2
『1年以内』	312	32.1	21.5	25.6	13.1	1.6	1.6	4.5
『1年以上前』	1,317	35.2	23.8	17.0	12.1	1.8	7.2	3.0
ない	634	34.7	24.8	12.1	9.3	0.9	12.3	5.8

Ⅲ. 調査票

市政に関する意識調査

時下、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

福岡市では、市民の皆さまに市政についての意見や要望をおたずねし、市政推進上の基礎資料とするため、昭和51年から「市政に関する意識調査」を毎年実施しています。

43回目の今回は、毎年おたずねしている「福岡市の住みやすさ」のほか、「福岡市の屋台」「男女共同参画社会」について調査いたします。

今回の調査の対象者は、福岡市内にお住まいの18歳以上の男女4,500人の方を住民基本台帳から無作為に抽出いたしました。対象者に選定されたことに特別な理由はありません。

お忙しいところ誠に申し訳ありませんが、記入上の注意をよくお読みの上、アンケート調査票に回答し、ご返信くださいますようお願いいたします。

平成30年 6月

福岡市長 高島 宗一郎

【記入上の注意】

1. このアンケート調査票は必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. 回答の記入は、黒・青のボールペンまたは鉛筆などをお願いいたします。
3. 各質問の回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問文に「1つだけ」「すべて」などの指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
4. 質問によっては回答する方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
5. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですが、その内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
6. アンケート調査票・返信用封筒には、住所、氏名を記入する必要はありません。

[回答内容および調査結果の公表について]

回答の内容は「このようなご意見の方は全体の何パーセント」など、すべて統計的に処理しますので、皆さまのご意見を個人が特定されるような形で公表することはありませんし、この調査以外の目的に使用することはありません。

この調査の結果は、とりまとめ後に、市政だよりやパンフレットなどで市民の皆さまにお知らせする予定です。

ぜひ、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

<調査主体>

福岡市市長室広聴課

電話 092-711-4067

Fax 092-733-5580

<調査実施>

株式会社サーベイリサーチセンター

電話 092-411-8816

九州事務所

Fax 092-411-8851

【アンケート調査票の回収について】

アンケート調査票は、記入後、同封しております封筒（切手不要）に入れて、

6月30日（土）までに郵便ポストに投函してください。

《 福岡市の住みやすさについておたずねします 》

問1 あなたは福岡市が好きですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|------------|------|---------|
| 1 | 好き | 78.9 | |
| 2 | どちらかといえば好き | 18.9 | |
| 3 | どちらかといえば嫌い | 0.6 | |
| 4 | 嫌い | 0.3 | |
| | | | 無回答 1.3 |

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------|------|---------|
| 1 | 住みやすい | 72.8 | |
| 2 | どちらかといえば住みやすい | 24.3 | |
| 3 | どちらかといえば住みにくい | 0.8 | |
| 4 | 住みにくい | 0.2 | |
| 5 | わからない | 0.6 | |
| | | | 無回答 1.3 |

問3 あなたは事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------|------|---------|
| 1 | 住み続けたい | 72.9 | |
| 2 | どちらかといえば住み続けたい | 19.9 | |
| 3 | どちらかといえば移りたい | 2.1 | |
| 4 | 移りたい | 1.0 | |
| 5 | わからない | 2.7 | |
| | | | 無回答 1.3 |

問4 あなたは福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------|------|---------|
| 1 | そう思う | 33.2 | |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 46.2 | |
| 3 | どちらかといえばそう思わない | 6.7 | |
| 4 | そう思わない | 3.8 | |
| 5 | わからない | 8.8 | |
| | | | 無回答 1.3 |

問5 以下の福岡市の都市環境等についてどの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。
 (1)～(18)のそれぞれの項目について、あてはまるものを**1つつ**選び、番号に○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満がある	わからない	無回答
(例) (1) ○○○○○	1	②	3	4	5	
(1) 自然環境の豊かさ	29.7	54.5	7.7	2.4	3.2	2.5
(2) 住宅事情	20.3	54.0	14.0	5.3	4.3	2.2
(3) 交通の便	35.1	41.4	13.5	7.8	0.7	1.4
(4) 買い物の便利さ	43.3	44.5	8.1	2.1	0.4	1.5
(5) 物価の安さ	15.6	56.1	16.5	3.8	6.2	1.8
(6) 新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	47.9	42.8	5.1	1.0	1.8	1.3
(7) 芸術・文化水準	14.8	49.2	13.3	4.9	15.6	2.2
(8) 教育環境	12.6	47.5	13.2	5.1	19.4	2.2
(9) 子育てのしやすさ	11.1	42.6	13.1	3.8	27.1	2.3
(10) 就業機会の多さ	8.5	39.7	18.5	6.0	24.5	2.8
(11) 医療機関の充実	23.3	54.3	11.9	3.1	5.5	1.9
(12) 福祉の充実	9.3	38.8	19.3	5.6	25.1	2.0
(13) 人の親切や人情味	19.7	58.0	9.4	2.7	8.3	2.0
(14) 地域住民の連帯感の強さ	8.5	43.3	18.8	4.6	22.6	2.2
(15) 自然災害の少なさ	20.5	54.1	9.3	2.9	11.1	2.0
(16) 犯罪の少なさ	5.0	29.1	29.6	20.3	14.3	1.7
(17) 市民のマナー	4.4	40.4	28.9	14.5	9.9	1.8
(18) レジャー・レクリエーション施設の充実	7.4	43.5	24.7	7.7	15.2	1.6

《 福岡市の屋台についておたずねします 》

問6 あなたは、屋台にどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------|------|---------|
| 1 | 良いイメージ | 12.8 | |
| 2 | どちらかといえば良いイメージ | 40.9 | |
| 3 | どちらかといえば悪いイメージ | 16.2 | |
| 4 | 悪いイメージ | 4.3 | |
| 5 | 特にイメージはない | 17.9 | |
| 6 | わからない | 7.3 | 無回答 0.7 |

問7 あなたは、屋台に行ったことがありますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|---|-------|------|-------------|---------|
| 1 | ある | 71.4 | ⇒問7-1～問7-4へ | |
| 2 | ない | 27.6 | ⇒問7-5へ | |
| 3 | わからない | 0.8 | ⇒問8へ | 無回答 0.3 |

問7-1 《 問7で「1」と回答した方におたずねします。 》 [n=1,643]

あなたが最後に屋台に行ったのはいつですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------|------|---------|
| 1 | 1カ月以内 | 2.6 | |
| 2 | 1～3カ月前 | 3.3 | |
| 3 | 3～6カ月前 | 4.6 | |
| 4 | 6カ月～1年前 | 8.5 | |
| 5 | 1～5年前 | 27.0 | |
| 6 | 5年以上前 | 53.2 | 無回答 0.9 |

問7-2 《 問7で「1」と回答した方におたずねします。 》 [n=1,643]

あなたは、屋台をどれくらいの頻度で利用しますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------------|------|---------|
| 1 | 1カ月に平均4回以上行く | 0.3 | |
| 2 | 1カ月に平均1～3回行く | 0.9 | |
| 3 | 年に数回程度行く | 10.5 | |
| 4 | 年に数回も行かないが、今までに行ったことがある | 84.8 | 無回答 3.5 |

問9 あなたは、屋台のどのようなところが良い面だと思いますか。あなたの考えに近いものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 福岡（博多）らしさがある 70.2
- 2 庶民的で気軽に利用できる 36.0
- 3 アジアらしさがある 9.7
- 4 メニューが豊富でおいしい 8.9
- 5 夜遅くまで営業していて便利 27.9
- 6 都市部の便利な場所にある 25.4
- 7 観光客に人気があり、観光で貢献している 42.5
- 8 料金が安い 7.9
- 9 夜間安心して街を歩きやすい 10.7
- 10 屋台のある景観が良い 30.2
- 11 知らないもの同士で気軽にコミュニケーションができる 33.8
- 12 その他（具体的に:) 1.1
- 13 特に良い面はない 4.6
- 14 わからない 7.3

無回答 1.7

問10 あなたは、屋台にはどのような問題があると思いますか。あなたの考えに近いものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 歩道幅が狭くなることにより通行の邪魔となっている 20.9
- 2 衛生面での問題がある 70.1
- 3 屋台の周辺での悪臭や道路が汚い 36.0
- 4 料金が不明瞭 36.1
- 5 トイレがなく放尿の問題がある 51.9
- 6 都心部の一等地で営業しているにもかかわらず、使用料が極端に安く、固定店舗と比べ著しく不公平 3.9
- 7 屋台は景観上好ましくない 2.8
- 8 歩道や植栽への器材や車両の放置、屋台外での飲食など、営業モラルが低い 16.5
- 9 その他（具体的に:) 2.5
- 10 特に問題はない 4.4
- 11 わからない 6.9

無回答 1.7

問 11 福岡市では、福岡のまちと屋台が共生していくことを目指して、「福岡市屋台基本条例」(平成 25 年 9 月 1 日施行)を制定しました。あなたはこの条例のことを知っていますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

1 知っている 50.7	2 知らない 48.0	無回答 1.3
--------------	-------------	---------

問 12 あなたは「福岡市屋台基本条例」が平成 25 年 9 月 1 日(概ね 5 年前)に施行されてから、問 12-1 のような屋台の営業状況に変化があったと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

1 変化があった 12.6	⇒問 12-1 へ	
2 変化はなかった 3.0	} ⇒問 13 へ	
3 わからない 81.7		
		無回答 2.7

問 12-1 《 問 12 で「1」と回答した方におたずねします。 》 [n=291]

どのような変化を感じますか。次の(1)～(11)のそれぞれの項目について、あてはまるものを**1つずつ**選び、番号に○をつけてください。

	良くなった	良くなった どちらかといえば	変わらない	悪くなった どちらかといえば	悪くなった	わからない	無回答
(1) 営業開始時間(17時以降の準備開始)が守られている	29.2	38.1	6.5	0.0	0.7	23.0	2.4
(2) 閉店後の屋台や器材などの放置がない	29.6	39.5	6.2	0.0	0.3	21.0	3.4
(3) 公共の場所(道路や公園)に汚損がない	20.3	44.3	14.4	0.0	0.7	17.2	3.1
(4) 屋台外営業(屋台の外での飲食の提供)をしていない	20.3	35.1	12.4	1.0	0.7	25.8	4.8
(5) 公共の場所に屋台関係者の車両などが放置されていない	22.0	38.5	8.2	0.0	0.3	26.1	4.8
(6) 汚水や廃油などが屋台周辺に廃棄されていない	20.3	34.7	11.0	0.7	1.0	29.2	3.1
(7) メニューと値段が見えやすい場所に明示されている	14.1	30.2	17.9	0.0	0.7	32.3	4.8
(8) 屋台及び器材などが通行の邪魔になっていない	17.2	38.8	16.2	0.3	1.0	22.3	4.1
(9) 手指の洗浄・消毒が行われている	5.8	19.6	17.9	0.0	1.7	50.9	4.1
(10) 調理器具・食器などが衛生的に管理されている	6.5	23.0	16.8	1.4	1.0	47.4	3.8
(11) 屋台の外で調理などを行っていない	12.7	29.9	13.7	0.7	0.7	39.2	3.1

問 15 公募屋台が営業開始した昨年（平成29年）4月以前と比べ、屋台（公募屋台に限らない）に行く回数は増えましたか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

1 増えた 0.3	
2 変わらない 31.1	
3 減った 5.3	
4 屋台に行ったことがない 40.6	
5 わからない 19.9	無回答 2.7

問 16 公募屋台が営業を開始した昨年（平成29年）4月以降、屋台（公募屋台に限らない）の営業状況や雰囲気、客層などに変化があったと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

1 変化があった 4.4	⇒問 16-1, 16-2へ	
2 変化はなかった 3.2	} ⇒問 17へ	無回答 3.3
3 わからない 89.0		

問 16-1 《 問 16 で「1」と回答した方におたずねします。 》 [n=102]

営業状況などについて、どのような変化を感じますか。次の(1)～(9)の**それぞれの項目**について、あてはまるものを**1つずつ**選び、番号に○をつけてください。

	良くなった	良くなった どちらかといえば	変わらない	悪くなった どちらかといえば	悪くなった	わからない	無回答
(1) 店の雰囲気	27.5	45.1	13.7	2.9	3.9	5.9	1.0
(2) 入店のしやすさ	18.6	41.2	19.6	3.9	2.9	11.8	2.0
(3) メニューの多様性	25.5	29.4	19.6	2.9	2.9	18.6	1.0
(4) 会計の明朗さ	12.7	27.5	21.6	2.0	2.0	33.3	1.0
(5) 清潔感・食品衛生の確保	14.7	40.2	16.7	2.0	1.0	22.5	2.9
(6) ルールの遵守（営業時間、営業場所の清掃など）	21.6	35.3	13.7	2.9	1.0	23.5	2.0
(7) 店主・従業員の対応	16.7	35.3	15.7	2.9	2.9	25.5	1.0
(8) 外国人への対応	10.8	32.4	18.6	0.0	2.9	33.3	2.0
(9) 屋台による情報の発信（SNS、ホームページなど）	7.8	33.3	12.7	1.0	2.0	41.2	2.0

問 16-2 《 問 16 で「1」と回答した方におたずねします。 》 [n=102]

客層について、どのような変化を感じますか。次の(1)～(5)のそれぞれの項目について、あてはまるものを**1つつ**選び、番号に○をつけてください。

	増えた	どちらかといえば増えた	変わらない	どちらかといえば減った	減った	わからない	無回答
(1) 若者客 (20～30代)	23.5	37.3	12.7	2.0	1.0	19.6	3.9
(2) 女性客	26.5	42.2	8.8	2.9	1.0	15.7	2.9
(3) 地元客	4.9	21.6	31.4	4.9	7.8	25.5	3.9
(4) 観光客	36.3	35.3	8.8	0.0	0.0	16.7	2.9
(5) 外国人客	34.3	30.4	13.7	0.0	0.0	17.6	3.9

《 すべての方におたずねします。 》

問 17 「福岡市屋台基本条例」では、以下の「1」～「5」のような将来像を掲げています。これらの中であなたが期待することは何ですか。あてはまるものを**2つまで**選び、番号に○をつけてください。

1 市民、地域住民に理解され、愛される屋台	54.0	
2 観光客に理解され、愛される屋台	25.7	
3 観光資源として福岡市を広報することができる屋台	25.1	
4 まちのにぎわいを創出し、まちの魅力を高める屋台	25.2	
5 人々の交流の場を創出し、まちの魅力を高める屋台	26.5	
6 期待することはない	6.8	
7 わからない	5.4	無回答 4.0

問 18 屋台の将来像の達成のために、屋台営業者のどのような取り組みが特に重要だと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

1 屋台の規格、営業時間や衛生面の決まりなどルールを守って営業すること	38.7	
2 安全で安心な飲食サービスを提供し、利用者の信頼を確保すること	34.5	
3 来店者への接客態度やおもてなしなど屋台の魅力を高める店づくり	7.5	
4 地域との良好な関係づくりに努めること	6.0	
5 その他(具体的に:)	1.4	
6 わからない	6.4	無回答 5.6

《 男女共同参画社会についておたずねします 》

問 22 あなたは、下表の(1)～(7)の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (1)～(7)のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、
 番号に○をつけてください。

	男性の方が 優遇されている	どちらかといえば 男性が優遇されている	平 等	どちらかといえば 女性が優遇されている	女性の方が 優遇されている	わからない	無 回 答
(1) 家庭生活	13.8	34.1	29.5	6.5	1.7	11.3	3.1
(2) 職場	18.8	38.5	19.7	5.0	1.1	13.4	3.5
(3) 学校教育の場	3.4	11.3	48.7	2.7	0.5	29.2	4.2
(4) 政治の場	35.3	35.8	9.6	0.9	0.4	14.6	3.5
(5) 法律や制度上	13.1	26.3	30.9	5.6	1.2	18.9	4.1
(6) 社会通念・慣習 ・しきたりなど	26.4	44.7	11.3	2.2	0.4	11.3	3.7
(7) 社会全体で 見た場合	19.5	49.7	13.0	4.0	0.7	9.7	3.3

問 23 一般的に「女性が職業を持つ」ことについて、あなたはどうかお考えですか。あなたの考えに
 最も近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1	ずっと職業を持っている方がよい	41.2	
2	結婚するまでは職業を持ち、あとは持たない方がよい	2.5	
3	子どもができるまで職業を持ち、あとは持たない方がよい	2.3	
4	子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい	43.1	
5	女性は職業を持たない方がよい	0.3	
6	その他(具体的に：)	7.5	無回答 3.1

《 すべての方におたずねします。 》

問 28 家族の介護を行うために、法律に基づき介護休業を取得できる制度があります。あなたは、男性が、この制度を活用することについてどう思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------------------------|------|------------|
| 1 | 男性も介護休業を積極的に取るべきである | 35.5 | |
| 2 | 男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う | 54.4 | ⇒ 問 28-1 へ |
| 3 | 男性が介護休業を取る必要はない | 1.3 | |
| 4 | その他（具体的に： _____) | 1.3 | |
| 5 | わからない | 6.0 | 無回答 1.3 |

問 28-1 《 問 28 で「2」と回答した方におたずねします。 》 [n=1,252]

その理由は何だと思えますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---|------------------------|------|---------|
| 1 | 周囲に取った男性がいないから | 8.5 | |
| 2 | 職場に取りやすい雰囲気がないから | 24.4 | |
| 3 | 仕事が忙しいから | 9.2 | |
| 4 | 取ると仕事上周圍の人に迷惑がかかるから | 31.9 | |
| 5 | 取ると人事評価や昇給などに悪い影響があるから | 5.8 | |
| 6 | 取ると経済的に困るから | 15.6 | |
| 7 | その他（具体的に： _____) | 1.4 | |
| 8 | わからない | 1.3 | 無回答 2.1 |

問 30 あなたの現在の配偶関係（事実婚を含む）はどれに該当しますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

1 未婚	20.6	} ⇒ 問 30-1へ
2 配偶者（パートナー）がいて、共働きである	31.5	
3 配偶者（パートナー）がいて、共働きでない	29.3	
4 配偶者（パートナー）と離婚した	7.5	
5 配偶者（パートナー）と死別した	7.6	無回答 3.5

問 30-1 《 問 30 で「2」「3」と回答した方におたずねします。 》 [n=1,398]

あなたの家庭では次の事柄を、主にどなたが行っていますか。（1）～（8）のそれぞれの項目について、あてはまるものを**1つずつ**選び、番号に○をつけてください。

	主に自分	自分と配偶者（パートナー）が同じくらい	主に配偶者（パートナー）	主に配偶者（パートナー）以外の家族	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答
(1) 炊事，掃除，洗濯などの家事	49.5	12.1	35.3	1.1	0.3	0.8	1.0
(2) 育児や子どものしつけ	29.5	20.4	19.1	0.4	0.1	27.4	3.1
(3) 子どもの教育方針や進学目標を決める	15.4	43.1	9.9	0.4	0.1	27.7	3.4
(4) 家計支出の管理	40.8	21.2	35.5	0.4	0.1	0.9	1.2
(5) 高額な商品や土地，家屋の購入	17.0	47.9	23.5	0.6	0.0	9.2	1.9
(6) 将来の生活設計を立てる	18.1	58.2	14.6	0.4	0.1	6.6	2.1
(7) 親や家族の介護	15.7	30.3	9.7	1.2	1.2	39.8	2.1
(8) 町内会，自治会，PTAなどの会合への参加	36.5	17.7	24.1	0.9	0.5	18.7	1.6

《 すべての方におたずねします。 》

問 31 「男は仕事，女は家庭を守るべきである」という考え方について，あなたはどのように思いますか。
あてはまるものを1つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	そう思う	5.9
2	どちらかといえばそう思う	31.7
3	どちらかといえばそう思わない	23.6
4	そう思わない	37.1
	無回答	1.7

問 32 あなたは，子どものしつけや教育について，どのように考えていますか。

次の(1)～(5)までのそれぞれの項目について，あなたの考えに最も近いものを1つだけ選び，番号に○をつけてください。

※子どものいない方は，一般的にどう思うかお答えください

	賛成	賛成 どちらかといえば	反対 どちらかといえば	反対	わからない	無回答
(1)女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる方がよい	71.1	22.6	1.1	0.1	2.3	2.8
(2)男の子にも炊事・掃除・洗濯など，生活に必要な技術を身につけさせる方がよい	65.4	27.6	1.4	0.2	2.1	3.3
(3)学校では出席簿の順番などを「男子が先」という習慣をなくし男女混合に変える方がよい	36.1	21.7	8.0	5.2	25.6	3.5
(4)進路は，理系，文系を性別にとらわれることなく選択する方がよい	68.6	18.5	1.3	0.8	7.4	3.4
(5)女の子は女の子らしく，男の子は男の子らしく育てる方がよい	20.0	35.8	13.2	12.4	15.3	3.2

問 33 あなたは恋人、配偶者、パートナーから次のような行為をされたことがありますか。次の(1)～(14)までのそれぞれの項目についてあてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。 ※(11)のみ[n=1,386]

		さ何 れ度 たも	さ1 れ・ た2 度	全 く な い	無 回 答
精神的に追い詰めること	(1)あなたが話しかけても長い間無視する	8.0	19.3	67.1	5.5
	(2)あなたを大声で怒鳴る	11.7	20.9	62.3	5.2
	(3)あなたに「誰のおかげで生活できるんだ」、「かい性なし」などと言う	4.1	9.0	81.5	5.4
	(4)あなたが大切にしている物を捨てたり、壊したりする	2.0	6.2	86.5	5.3
	(5)生活費を渡さない	3.7	3.3	87.4	5.5
身体への直接の攻撃など	(6)命の危険を感じるぐらいの暴力を振るう	0.9	2.0	91.5	5.5
	(7)命の危険を感じる程ではないが何らかの暴力を振るう	2.2	7.6	85.2	5.0
性に関すること	(8)あなたの意に反して性行為を強要する	4.0	6.8	83.1	6.0
	(9)あなたが見たくないのに、ポルノ雑誌・ビデオを見せる	0.4	2.1	91.6	5.9
	(10)避妊に協力しない	2.8	3.7	86.7	6.8
	(11)中絶を強要する ＜女性のみお答えください＞	0.6	3.0	89.5	7.0
その他、行動の束縛など	(12)あなたの外出先や携帯電話、メール、郵便物などを細かくチェックする	2.6	6.6	85.3	5.6
	(13)あなたが社会活動や仕事をすることを嫌がる(させない)	2.7	5.2	86.4	5.8
	(14)あなたに借金をさせる	1.8	2.9	89.5	5.8

1つでも「1」「2」と回答した方
⇒ 問 33-1, 問 33-2へ

問 39 下記の(1)～(11)の言葉や施策について、あなたはどの程度知っていますか。
 (1)～(11)のそれぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

		内容を知っている	聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
言葉	(1) 男女共同参画社会	30.0	45.0	20.9	4.0
	(2) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	28.1	34.8	32.5	4.7
	(3) 性的マイノリティ	37.0	30.6	27.7	4.7
	(4) マタニティ・ハラスメント	59.5	24.5	12.0	4.0
	(5) デートDV	27.4	24.0	43.3	5.3
法律	(6) DV防止法 (配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護などに関する法律)	35.4	42.0	18.5	4.1
	(7) 女性活躍推進法 (女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)	13.9	40.6	40.9	4.7
条例・市の施策など	(8) 福岡市男女共同参画を推進する条例	6.6	39.2	49.9	4.3
	(9) 福岡市男女共同参画基本計画	5.5	36.9	53.3	4.3
	(10) みんなで参画ウィーク(福岡市男女共同参画週間)	3.1	24.9	67.7	4.3
	(11) 男女共同参画推進センター・アミカス	12.1	37.6	46.1	4.1

《 最後に、あなたやあなたのご家族のことについておたずねします 》

問 42 あなたの性別は (○は1つだけ)

1 男性 38.1	2 女性 60.2	無回答 1.7
-----------	-----------	---------

問 43 あなたの年齢は 平均
53.1 歳 (数字をご記入ください)

問 44 あなたの家族数(同居人数)は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つだけ)

1 1人 16.3	4 4人 17.8	無回答 1.9
2 2人 32.9	5 5人 6.0	
3 3人 22.3	6 6人以上 2.8	

問 45 家族構成は (○は1つだけ)

1 単身(同居人はいない) 15.2	4 親と子と孫の三世代 5.8	無回答 3.1
2 夫婦のみ 25.0	5 兄弟姉妹のみ 1.0	
3 親と子の二世代 48.8	6 その他(具体的に:) 0.9	

問 46 あなたが同居している家族についておたずねします。あなた自身も含めて、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください(単身の方はご自身についてお選びください)。

1 未就学児 12.5	6 大学・大学院生 6.8	無回答 4.6
2 小学生 11.8	7 65歳以上75歳未満の人 27.1	
3 中学生 6.2	8 75歳以上の人 20.0	
4 高校生 6.4	9 「1」～「8」までに該当する人はいない 25.2	
5 専門学校生・短大・高専生 1.7		

問 47 あなたのお住まいは (○は1つだけ)

1 東区 20.3	5 城南区 8.4	無回答 1.6
2 博多区 10.5	6 早良区 15.3	
3 中央区 11.4	7 西区 15.1	
4 南区 17.3		

問 48 あなたの職業は (○は1つだけ)

1 自営業経営者 6.5	7 臨時雇い・アルバイト 3.7
2 会社等役員 2.4	8 専業主婦・主夫 13.1
3 家族従事者・家業手伝い 1.7	9 学生 3.1
4 正社員・正職員 26.6	10 無職 19.1
5 常勤パートタイマー 12.8	11 その他(具体的に:) 1.6
6 契約社員・派遣社員 7.0	無回答 2.3

問 49 あなたが、日中主に活動している地域(勤務先等)は (○は1つだけ)

1 東区 14.6	5 城南区 6.1
2 博多区 18.9	6 早良区 9.7
3 中央区 17.6	7 西区 10.1
4 南区 10.5	8 市外 8.3
	無回答 4.2

問 50 あなたが福岡市に住んでいる年数は通算で何年になりますか。(○は1つだけ)

1 1年未満 2.1	5 10年以上20年未満 15.0
2 1年以上3年未満 3.9	6 20年以上30年未満 16.8
3 3年以上5年未満 2.9	7 30年以上 50.4
4 5年以上10年未満 7.2	無回答 1.7

問 51 あなたのお住まいは (○は1つだけ)

1 持ち家(一戸建て) 33.8	
2 持ち家(マンションなどの集合住宅) 25.6	
3 賃貸住宅(一戸建て) 1.8	
4 賃貸住宅(アパート, マンションなどの集合住宅) 29.5	
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅 4.9	
6 社宅・寮 1.9	
7 その他(具体的に:) 0.7	無回答 1.9

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。

記入漏れや記入間違いがないか再度ご確認の上、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて **6月30日(土)** までに郵便ポストに投函してください。

平成 30 年度

市政に関する意識調査

平成 31 年 1 月発行

発行 福岡市市長室広聴課
福岡市中央区天神一丁目 8 番 1 号
TEL (092) 711-4067
FAX (092) 733-5580
E-mail: kocho.M0@city.fukuoka.lg.jp

この印刷物は再生紙を使用しています。